

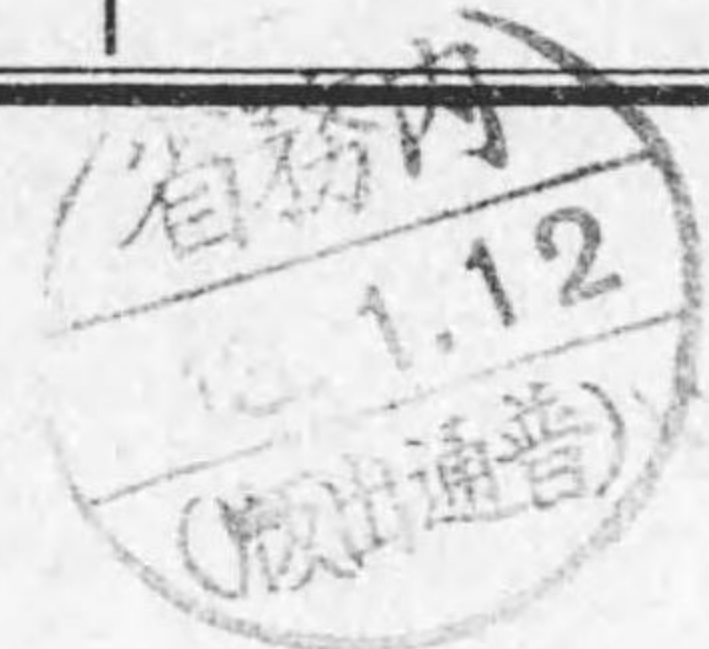
始



貨幣論

(二) 終

荒木光太郎 教授述



「帝大プリント聯盟」發行

昭和十二年四月—十月講義  
東京帝國大學 經濟學部  
法學部

第205  
114



貨

幣

論

(二)  
終

荒木光太郎 教授述

昭和十二年四月—十月講義

東京帝國大學 經濟學部  
法學部



「帝大プリント聯盟」發行

貨幣論 (二) 終

目次 荒木光太郎教授述

第二節	紙幣	(101)
第一項	紙幣ノ起源	(101)
第二項	紙幣ノ種類	(106)
第三項	紙幣ノ性質	(111)
第四項	不換紙幣	(113)
第五項	銀行券	(120)
第三節	預金貨幣	(127)
第一項	預金貨幣ノ貨幣タル所以	(127)
第二項	預金貨幣ノ造出方法	(128)
第三項	預金貨幣ト銀行ノ準備率	(131)
第四項	預金貨幣ノ起源並ビニ發展	(134)
第三章	鑄造貨幣ノ諸向題	(135)
第一節	貨幣單位ノ決定	(135)
第二節	貨幣ノ種類	(140)
第三節	品位ニ關スル規定	(141)
第四節	重量ニ關スル規定	(142)
第五節	公差ニ關スル規定	(143)
第六節	通用貨幣重量ニ關スル規定	(143)
第七節	貨幣ノ形状	(145)
第八節	貨幣ノ算則	(146)
第四章	グレシヤムノ法則	(147)
第五章	本位制度	(152)
第一節	本位制度ノ種類	(152)
第一項	拘束本位制	(154)
第一目	單本位制	(155)
第二目	複本位制	(158)
第二項	自由本位制(紙幣本位制)	(159)

第二節 本位制度論	(159)
第一項 金本位論	(159)
第二項 西本位論	(187)
第三項 國際金本位論	(191)
第四項 跛行本位論	(194)
第五項 紙幣本位論	(196)
第五篇 貨幣價值理論	(198)
第一章 貨幣價值	(198)
第一節 貨幣價值, 意義	(198)
第二節 價格と貨幣價值	(203)
第三節 物價——物價指數	(205)
第四節 貨幣, 对内價值と对外價值	(209)
第二章 為替相場(对外價值)	(211)
第一節 為替と外国貨幣	(211)
第二節 外国為替, 意義	(212)
第三節 為替相場, 決定	(214)
第一項 國際金借	(215)
第二項 法定平價	(218)
第三項 正貨輸送兵	(220)
第三章 本位制度と為替相場	(222)
第一節 金本位國對銀本位國	(222)
第二節 紙幣本位國ニ於ケル為替相場	(224)
第三節 西本位國	(225)
第四章 為替ニ関スル理論	(226)
第一節 購買力平價說	(226)
第二節 為替心理說	(230)
第五章 貨幣價值, 成立(对内價值)	(234)
第一節 貨幣價值ニ関スル諸學說	(234)
第一項 金本位說	(234)
第二項 流通論的貨幣學說	(236)
第三項 金屬學說	(237)

第四項 名目學說	(238)
第五項 貨幣價值, 成立	(244)
第六篇 貨幣價值變動理論	(250)
第一章 貨幣價值變動, 原因	(250)
第一節 貨幣數量說	(250)
第二節 貨幣價值變動, 理論	(255)
第三節 貨幣價值變動, 特殊原因	(257)
第二章 貨幣價值變動, 影響	(258)
第一節 对内價值變動, 影響	(258)
第二節 对外價值變動, 影響	(260)
第三章 对内價值と对外價值, 關係	(261)
第四章 貨幣價值安定政策	(262)
第一節 貨幣, 对内價值安定政策	
——物價安定政策——	(262)
第一項 割引政策	(263)
第二項 公開市場政策	(264)
第二節 貨幣, 对外價值安定政策	
——外國為替相場, 安定政策——	(265)
第一項 應急的政策	(265)
第二項 恒久的政策	(267)
第一目 為替, 裁定	(267)
第二目 為替管理	(268)
第三目 為替平衡會計	(269)
第三項 為替相場變動, 影響	
回連方法	(272)
第七篇 貨幣政策一般	(274)
第一章 物價統制	(274)
第二章 貨幣政策	(274)
第一節 インフレーション政策	(274)
第二節 デフレーション政策	(279)

第三節	レフレーション政策	(279)
	平價切下政策	(281)
	貨幣改革案	(285)
	最近ノ經濟事情	(288)
例	言	(298)

(以上) — 終 —

## 第二節 紙幣

### 第一項 紙幣ノ起源

日常取引量ノ増大、例ヘバインフレーションノ様ナ場合ニハ、硬貨ハソノ使用上不便ガツクナイ。之ヲ紙ニスレバ携帯ニ便利ダシ、ソレノ表示スル金額ヲ幾ラデモ多クスルコトガ出来ル。

紙幣ノ歴史ハ余リ古イモノデハナイガ、紙幣類似ノモノノ出現ハカナリ古イ。皮幣ハ紙幣ノ一種ノ類似物ト考ヘルコトガ出来ル。最初ノ中ハ一枚ノ皮ノ全体ガソノマ、デ交換ノ媒介物トサレテオタガ、次第ニ部分々々ニ分割サレ、ソノ一片ガ全体ヲ代表シテ、全体ノ有無ニ拘ラズ、交換ノ媒介物タル役目ヲ果スマウニナツタ。ニノ例ハ支那、ロシマニ見ラレル。日本ノ楮幣ハソノ文字ノ示ス如ク楮ノ皮ヲ作ソタモノデアツテ、後醍醐天皇ノ時代ニ発行サレタモノデアル。漢ノ武帝ノ時、白鹿ノ錢ヲ造ルトイフ記録ガアル、紙幣トイフモノハ日本及ビ支那ノ者ニモ存シタガ。之ハ紙ニ錢ノ型ヲ捺シタモノデ、流通

=用アルトイフヨリ、神ヲ祭リソレニ供ヘルタ  
メニ造ラレタモノデアアル。「カミゼニ」ト云  
フ。

ジョン・ロー (John Law) = ヨツテフラ  
ンスニ於テ発行サレタモノガ紙幣ノ本格的ナモ  
ノ最初デアアル。ローハスコットランド・エデ  
ンバラニシテ1717年金融業者ノ子トシテ生レ  
ノ4歳ニシテ父ヲ失ヒ、間モナク零落シタ。ソ  
ノ後一婦人ノタメニ決闘ノ結果、相手ヲ殺シタ  
ノヲ逮捕サレ、死刑ノ宣告ヲ受ケタ。死刑執行  
ノ直前獄ヲ破ツテ大陸ニ逃レ、フランスヨリオ  
ランダニ行キ當時商業ノ全欧的中心デアツクソ  
ノ地デ金融ノ研究ニ没頭シタ。後スコットラン  
ドニ歸リ、再ヒ又フランスニ渡ツテフランス王  
ルイ14世ノ信頼ヲ得、オルレアン公ノ寵愛ヲ  
受ケタ。当時ノフランス政府ノ財政難救済ノタ  
メ国立銀行設立ノ計画ヲナシタガ成ラズ Bank  
general ヲ創立シタ。7株ヲ5,000リーヴ  
ルトシテ、1,400株ヲ募集シタ。預金、手形  
割引ヲ扱フ外、1719年ニハ政府ヘ5,000万リ  
ーヴルノ支拂ヒヲ対償トシテ、紙幣発行ノ独占  
権ヲ握ルニ至ツタ。ソレニハ土地價格ヲ津浦金

トシタノデアアル。コノ紙幣ハ一時ヨク流通シタ  
ガ、ローカ退政サレタ後、濫発ノ結果ソノ價值  
ハ暴落シタ。之カタメニフランス人ハ甚クシテ  
憂キ目ニ逢ヒ、紙幣ヘノ信用ヲ失ヒ、後世ニ惡  
影響ヲ及ボシタ。ローハプロテスタントデアアル  
タメフランスカテ逐ハレタノデアアル。

我國ノ紙幣カ紀元ノ貨幣トシテ通用スルニ至  
ソソノハ徳川中期以後ノコトデアアル。紙幣発行  
者トシテ最も重要ナモノハ各藩ノ政府デアアル。  
幕札ハ前キ御カド藩ノ発行シタ紙幣デアアル。藩  
ハ先ソソノ発行ニソイテ幕府ノ許可ヲ受ケ、札  
座ニ於テ監登ヲナシ、札元ト称シテ藩内ノ(實  
幣資本家タル)商人ノ身ヲ確保ナモノヲシテ發  
行・引替ノ任ニ當ラシメタ。発行ニ際シテハ、  
一定額以上ノ取引ニハ課税ノ並用ヲ發禁シタ。  
又排ヒク有サントスル者ハ先ツ札場(札座)ニ  
金銀ヲ持參シテ、札ニ引キ換ヘネバナラナカツ  
ク、札元ニハ、ソノ作取ノ代リニ一定ノ運上金  
ヲ上納セシメ、又ハ御用金ヲ命ジタ。之ハフラ  
ンスガ大戦當時、銀行ニ對シテ為シタト同ジ方  
策デアアル。藩札ニハ一定ノ期限ヲ附シタガ、コ  
ノ制度ハ準備金ニ對シテ何等ノ制限ヲ行ハズ、

藩札ハ概ツテ不換紙幣トナツテキタカラ、札元  
ハ之ニヨツテ非常ナ利益ヲ得タ。發行期限ハ20  
万石以上ノ大名ハ20年、20万石以下ハ15  
年トナレタ。室永4年ニ藩札ノ流通ガ幕府、貨  
幣流通ノ妨害トナルノ故ヲ以テ一時紙幣ノ發行  
ヲ一般ニ禁止シタガ、享保年中再ビ許可スルニ  
至ンタ。從來ヨリ發行シテキナカツタ藩ニ對シ  
テハ新タニ發行スルコトヲ認めナイ方針デアツ  
タ。之ガタメ種々ノ名目ヲ以テ各藩ハ紙幣ヲ發  
行シタ。然シ流通範圍ガ制限サレテキルカラ、  
打歩ガ生ジ割引サレルニ至ル。ソノ対策トシテ  
平價引下ゲカ、札償シテ断行シ、又ハ新札ヲ發  
行シ旧札ト着シテ差ヲツケテ引替ヘル等、金銀  
貨沒收ノ手段トシテ行ハレタ。之ハ切捨テデア  
ル。

(註) 以上ハ正嚴「封建社会ノ統制ト開争」  
第一篇ニヨリ補フ。(註終)。

明治4年ニハ藩札ト引替ヘニ政府紙幣ガ發行  
サレタ。ソノ印刷ハドイツニ行ハレタ。之ヲ新  
紙幣トイフ。初メハ第一種ト第二種トカアツタ。  
後ニ原版ヲ買ヒ取り、大阪ノ紙幣局ニ印刷シタ。  
藩札切替ヘ當時、發行者タル藩ノ總數 244

(104)

換算高 3,850万円、 410.72万枚、 1.674  
種デアツタ。

之ニヨツテソレ以前ニ出サレタ太政官札ハ及  
古同然トナツタ。之ハ明治元年4月29日ノ布  
告ニヨリ、ソノ種類 10両、5両、1両、1匁  
ノ割合セテ4,800万円ノ額ヲ以テ發行サレタ  
ノデアツタガ、新紙幣發行ニヨリ之ト明治7  
年9月30日ヲ限ツテ、引換ヲ完了センメテレ  
ルコトニナツタ。新紙幣ハ一名金札ト云ヒ、ソノ  
發行目的ハ從來ノ紙幣ノ兌換ノ外ニ租税ガ未ダ  
政府ニ收メラレサル當時、国内平定ソノ他ノ費  
用ニ充テルタメデアツタ。尚民部省札モ紙幣ニ  
アル。之等旧紙幣ハ不換紙幣デアツタノデ、流  
通ハ困難デアツタ。即チ100円ニ對シテ之等旧  
紙幣ナラ120円トイフ打歩ヲ生ズルニ至ンタ  
程信用ヲ失ツタトイフ。コノニ於テ價值回復ノ  
政策ガ採ラレ、政府ハ發行高ヲ制限シ、尚新紙  
幣ヲ發行シ、明治5年ニ引換ヲ為スベキニ際  
告シタ。舊札モ多ク流通シタガ、エヲ防ギ得ヌ  
タメニ政府ハドイツニ注文シテ所謂新紙幣ヲ造  
ラセタ。即チドイツ公使ヲ通ジ、ソノ製造ハフ  
ランクフルト (Frankfurt) ニ行ハレタノ

(105)

デアル。

(註) コノ政府ノ政策ニヨツテ明治6~10年迄ハ紙幣ノ價值ハ回復サレヌガ西兩度ノ大ノ増発ニヨツテ更ニ下落シ去メタ。コノ紙幣インフレーションノ逆勢、ソレニ対スル政府対策及ヒソレ等ノ有リ最始約書續選程トシテ、歴史的意義ニツイテハ大内文衛「日本財政論」(経済学全集第22卷)S.43以下 風早ハヤニ「財政史」(日本資本主義発達史講座)S.20以下参照。

尚明治維新政府發行ノ紙幣發行ニツイテハ大内新編書S.22以下参照。(註終)

## 第二項 紙幣ノ種類

發行者ノ別カラ云ヘバニ種類ニ分ツコトガ出  
来ル。

### (1) 政府紙幣 (Government notes)

政府が発行スル場合ニハ經濟上ノ必要ニ應スルヲメデアル。又戦争ノ際ニハ一般ノ信用機關ニ対スル信用ガナクナルカラ、流通ガ滞滯スル

(106)

ノテ政府自ラ紙幣ヲ發行スル。英国政府ハ大戦當時 *Currency Notes* ヲ發行シタ。之ハイングランド銀行券デハナイ。大戦勃発直前迄英国デハ1ポンド、10シルリングノ金貨ガ流通シテ居リ、イングランド銀行デバ5ポンド以上ノ額ノ札ノミガ發行ヲ許可サレテキタノデアル。ソレ以下ノ小額ノ取引ハスベテ硬貨ヲ行ハレテキタノデアル。大戦勃発ト共ニ金貨ハ流通場裡カラ姿ヲ消シタ。大戦後1928年ノ改正ニヨツテ前記 *Currency Notes* ハイングランド銀行券ニ併合サレタ。

フランスデハ商業會議所ガ發行シタモノガマレ(コトテ実物ガ呈示サレタ)。又地理的制限ガ附サレテ發行ケレルノモアル。会社發行ノモノモアル。

一般ニ政府紙幣ハ兌換紙幣デアル。英国ノソレモ大戦中ハ兌換サレナカッタ。

### (2) 銀行券 (Bank notes)

之ハ現在イギリスノ国ニモ *Commercial Bank* デハナクシテ *Central Bank* ニヨツテ發行ケル。ソノ权利ハ独占サレテキル。カハル紙幣ハ硬貨ノ積リ纏カラ由來スル。本来ナラソノ發

(107)



行ニ對シテ利子ガ拂ハレルベキモノデアル。借用證文デアルニ拘ラズ、無制限ニ發行サレル虞レガアル。俗ニ云フ山中銀行ガ出現スル。即チ市中ニノミ流通スル銀行券ヲ過剰ニ發行シ、山嶽ノ出ル様ナ場所ニ本店ヲ持ッテ行ッテ、容易ニ兌換ガ行ハレナイマウニスル。カウイフ弊害ヲ防グタメニ發行權ヲ中央銀行ニ納メ、又ハ他ノ銀行ノ銀行券ノ出納ヲ中央ニ於テ管理スルニ至ソタモノデアル。我國ニ於テハ中央銀行タル日本銀行ガ原則トシテ發行權ヲ独占シ、特定ノ地域ヲ限ソテ朝鮮銀行・台湾銀行ノ紙幣發行ガ認めラレテキル。

兌換ノ有無 (Convertibility) = ヨソテモニ種類ニ分ケラレル。

(1) 兌換紙幣 (Convertible paper money)

本位制度ノ行ハレテキルトキハ英國ノ如ク地金ヲ以テ引換ヘラレルコトアリ。又日本ノ如ク鑄貨ヲ以テ引換ヘラレルコトガアル。又支店テ引換ヲナス場合ハ、本店カラ取寄セルタメニシテ待ッテクレト云フ場合ニアル。

(708)

兌換ノ目的ハ札ト本位貨幣トノ差ガ存シナイヤウニスルコトニアル。兌換ヲシテ何ヲスレカトイフコトヲ考ヘルト、昔ト今トテハ性質ガ異ル。ソノ氣持ハ紙幣ガ日常流通シテキルトキハ之ヲ本位貨幣ト兌換シヨウトハ考ヘナイ。兌換ガ停止サレテモ直チニ金ニ換ヘヨウトモ考ヘナイ。例ヘバ日本ノ場合ハ兌換ハ流通ヲ目的トスルヲテハナイ。兌換ヲスレバ地金ガ金ニ入ル。之ヲ外國ニ送ル。即チ兌換ハ對外的支拂ノクメニスルノデアル。之ノ外ハ紙幣ノ外トイフ計算ヲ以テ對外ノ支拂ニ充テルノデアル。紙幣ナレバ一定ノ比率ヲ以テ換算サレル。為替ノ場合ハ一定ノ幅ヲ有ッ變動ガアルガ、金ニヨルナラ運賃ヲ加算シテ、正額ヲ計算ガ行ハレル。即チ金現送デアル。但シ今ノ制度ハ之ト異ル。

要之、普通ノ金兌換ハ流通ノタメデハナク對外支拂ノタメデアル。1925年ノ英國ノ金ノ賣出義務モ對外支拂ノタメデアル。即チ現在ノ金本位制度ノ性質ハ昔ノソレトハ異ル。昔ノハ對内支拂ノ、現在ハ對外支拂ノタメデアル。

(2) 不換紙幣 (Inconvertible paper money)

(709)

之ハ最初ハ兌換紙幣トシテ発行サレタノガ大部分ヲアルガ。途中デ不換紙幣トサレタノデア  
ル。政府紙幣ハ多ク不換紙幣デア  
ルガ。政府ガ初メカラ不換紙幣トスル場合ハ一定ノ時期ガ來  
レバ兌換ヲ行フトイフコトヲ表明スル。大戦時  
大戦終了後2,3年ノ間ニ回収スルトイフコトヲ  
各国政府ハ表明シテ。不換紙幣ヲ発行シテ。之  
ハ流通上ノ信用維持ヲ目的トスルノデア  
ル。

不換紙幣ハ之ヲ人ガ受領ヲ拒ム場合ガアルカ  
ラ。政府ハ之ニ強制通用力 (*Zwangskurs*)  
ヲ附スル。

紙幣ニ於ケル素材價值ヨリノ分離

不換紙幣ノ場合ハソノ素材ト内容トノ關係ガ  
ナク。又貨幣トシテノ價值ノミヲ有ジ。素材カ  
ラハ離レテキル。即チ交換價值シカナイコトニ  
ナル。

金屬貨幣ノ場合ハ素材トノ關係ヲ伴ツテ來ル  
ノデア  
ル。金貨ハ貨幣デナグトモ地金トシテノ  
價值ヲ有ツ。銅貨ノ場合ニハソレガ貨幣トシテ  
有ツ價值ト金屬トシテ有ツ價值トハ離レテキル  
ガ。マハリ素材的價值ヲ有ツテキル。以上ノコ

トハ注意スベキコトデア  
ル。

貨幣ノ發展過程ハ即チ物品 → 金屬 → 紙幣  
デア  
ル。

或ル人ハ不換紙幣ノ性質ト兌換紙幣ノソレト  
ヲ區別スル。即チ兌換紙幣ノ場合ハ之ヲ金ニ代  
ヘルコトガ出來ルカラ。身替リ。代用物 (*Sub-  
rogat*) デアル。之ニ反シ。不換紙幣ノ場合ハ  
貨幣トシテノ独立性ガアル。トイフノデア  
ル。然シニ者ハ貨幣トシテノ機能カラ云ヘバ區別ノ  
必要ハナイ。

### 第三項 紙幣ノ性質

#### (1) 利益

##### (イ) 正貨ノ節約

紙幣ハ正貨ニ代ツテ流通市場ニ流通シ。之ニ  
ヨツテ正貨ハ中央銀行ニ集中センメラレ。一層  
有效ナル國際貸借決済上ノ機能ヲ盡スコトガ出  
來ル。

##### (ロ) 正貨鑄造費用ノ節約

地金制ノ場合ノミナラズ。本位制ノ行ハレル  
場合ニモ紙幣ノ流通ニヨツテ鑄造費用ガ節約ナ

レル。

(1) 携帯=便利デアル。

(2) 弊害

過剰発行ハ兌換紙幣ノ場合ニモ起ル。之ヲ防止スルタメ、三分ノ一準備法ハ発行高ノ最高限ヲ示スノデアル。屈伸準備法ヲ採ソテアル我國デハ昭和7年ノ改正ニヨツテ正貨準備額ニ対スル超過発行額ヲ從來ノ1億5000万円カラ10億円迄引上ゲルコトガ許サレタ。即チ非常口ガ之ニヨツテ明ケ放サレタフケテアル。

不換紙幣ノ場合ハ弊害ガ特ニ著シイ。

(1) 兌換紙幣ノ場合デアレバ、過剰発行ガ行ハレタトキハ、兌換ヲ要求サレルカラ、之ガ過剰発行ニ対スルーツノ警告トナルフケテアル。

(2) 不換紙幣ノ場合ハ *moral*ニヨツテ徳義上制限サレル。然シ制限外発行ハ次第ニ量カ増シテモ兌換ヲ行フノデナイカラ現実ノ不安ハナイ。只徳義上ノ問題ガ起ルノデアルガ、ソレニ制レテ漸次多量ニ発行サレルニ至リ、價値モ次第ニ下落スル。従ツテ今迄ヨリ余計ニ発行サレナケレバ、從來ノ程度ノ購買力ヲ有クナケル、斯クテ加速度的ニインフレーションガ

進行スル。コノ弊害ハ *moral*ノ制限ガテツテモ安心シテ発行出来ルトイフコトデ発行ガ容易ニサレル。然シコノ様ニ発行ガ行ハレルノハ戦争ノ場合ノ様ニ多額ノ金ガ入用ナ時デアル。之ヲ避ケルタメニハ公債ヲ日銀ニ引受ケサセテ金ヲ受取ルコトモ考ヘラレル。

(3) 過剰発行ノ結果、正貨ト紙幣トノ間ニ打歩ヲ生ズル。恰モ前述ノ大政官札ノ如ク、之ハ貨幣制度カラ云ツテ好マシイコトデハナイ。

然シ以上ノ様ニ弊害ニモ拘ラズ、紙幣ヲ廢止スル必要ハナイ。機軸ノ分担ガアルノデカラ少額ノ取引ハ備貨デ、多額ノ取引ハ紙幣ヲ以テナサレルノデアル。

政府紙幣ト銀行券

教科書参照 S 173. 紙幣ノ大部分ハ銀行券トシテ発行サレル。ニツノモノノ経済的性質ニ注意スベキデアル。

#### 第四項 不換紙幣

不換紙幣ハ兌換ノ規定ノナイ紙幣デアル。之

ハ前述ノ如ク初メハ兌換紙幣トシテ発行ナレタ  
モノデアル。即チ、(1)兌換ノナイコト、(2)強制  
通用カヲ特徴トスル。之ニ反シ、普通ノ紙幣ニ  
シテ信用アルモノハ強制的デナクモ通用スル。  
ソコデ大抵ノ場合ニハ不換紙幣ニナルト強制通  
用力ヲ附セシメルデアル。故ニ(1)ト(2)トハ結  
局同ジコトヲ云フコトニナル。

#### 不換紙幣ノ利害

不換紙幣ノ弊害トハソレ自体ニシテ云フノ  
デハナク、ソレガ如何ナル場合ニ発行サレルカ  
ニヨツテ程度ノ差が生ズル。大抵ノ場合ハ政府  
ノ財政ノ困難ヲ救フタメニ発行サレル。大戦時  
歐洲各國ノ政府ハ中央銀行ニ公債ヲ買ハセ、之  
ガテ紙幣ヲ得ル方法ニヨツタ。斯カル方法ニヨ  
ラズニ紙幣ヲ発行スル場合モ勿論アル。

不換紙幣ハ濫発ノ虞レガアル。ソノ結果悪イ  
影響ヲ及ボシ、及古同様ニナルコトガアル。

然シ便利ナ兵ハ発行カタマスイコトデアル。  
初期ノ明治政府ハ、徴税組織ガ未ダ期ハナカツ  
タタメ、太政官札ヲ発行シ、之ニヨツテ購買力  
ヲ増加スルコトガ出来タノデアル。之ガ民間ニ

流通シテ物價カ上レバ、政府ノ購買力ハ此ノマ  
マニナルガ、又新タニ発行スル。之ハヨイ方テ  
アル。

悪イ方ハ即チ濫発デアル。經濟界ノ危機、財  
政的危機、戦争等ノ場合ニハ、方法ガ簡單デア  
ルカラトウシテモ此ノ方法ニヨルノデアル。公  
債ガ発行サレテモ竟レナイタメニ政府ノ威信ガ  
ナクナルトイフ虞レノアル場合ハ特ニ恐リテア  
ル。

即チ公債発行ハ中央銀行ノ引受ケトカクフニ  
モ何カノ目安ガナケシハ不可法デアル。是ニ後  
公債発行ハ種々影響ヲ金融方面ニ及ボスノデ  
アル。

濫発シナイナラ不換紙幣モソノ價值ハ維持サ  
レ、必要流通量ニ止マツテホレバ價值ノ下落ハ  
延ラナイノデアル。

史上ニ於ケル不換紙幣ノ悪例ハ次ノ如クデア  
ル。

#### アッシニア紙幣 (Assignats)

フランス革命政府ガソノ財政窮乏ヲ補填スル  
タメニ発行サレタモノデアルガ、ソレニハソノ

價值下落ノ傾向ニ應ジテ通用ガ次第ニ強制サレ  
テ行ツタ。アツシニアノ後カラギロケンガ歩イ  
テ行クト謂ハレ 人ハソレヲ快フカ、殺サレル  
カノ強圧ヲサヘ受ケルニ至ツタ。然シ經濟上ノ  
力カ結局ニカ、ル強制ヲ受付ケルモノデハナイ。  
教科書 S 175 以下参照。靴一足ハ 4,000 livre  
ニモ上ツタ。

(註) 「大規模ナル国有財産ノ賣却並ビニ  
アツシニアノ發行カ呼ビ起シタ大仕掛ナ投  
機ノ有様ハ想像ニ難クナイ。又コノ賣却  
カ如何ナル要素ヲ革命ニ導キ入レルニ至  
ツタカモ容易ニ推測スルコトガ出来ル。  
ソレハ兎モアリ、國民經濟學者ヤ歴史家  
達ハ今日ニ至ル迄猶國家ノ緊急ノ必要ヲ  
満スタメニ他ニ方法ガナカツタモノデア  
ラウカト尋ネテキル。ダガ考ヘテモ兎ヨ、  
旧制度ノ犯罪、浪費、偷盜、戦争等ノ負  
担ガ革命ノ肩ニ重クノシカカツテキタノ  
ダ、旧制度ガ遺産トシテ残シテ置イタコ  
ノ莫大ナル負担ヲ背負ツテ出発シタ革命  
ハ、自ラソノ始末ヲツケネバナラナカツ  
タ。革命ハ既ニ勃発シタソレヨリモ尚一

層深刻ナルベキ内乱ノ危機ニ脅カサレテ  
キタ。他方又ソレハブルジョアシーヲ敵  
ニ廻ス危險ノ下ニアツタ。蓋シブルジョ  
アシーハ、自己ノ目的ヲ追求スルニ當ツ  
テ、同時ニ民衆ガソノ領主ヨリ解放サレ  
ルコトハ之ハ大目ニ見ルガ、一度ビ彼等  
カ国債ニ投下シタ資本ガ危險ニ陥レリト  
見ルマ、一切ノ解放ノ企圖ニ反対スルデ  
アラウカラテアル。革命ハコノニツノ危  
險ノ間ニ差シ控マレテ止ムヲ得ズ、国有財  
産ヲ担保トスルアツシニアノ計画ヲ採用  
シタノデアアル。(クロポトキン「佛蘭西  
大革命史」訳譯上巻 S 267)、(註終)。

#### グリーンバック紙幣

教科書 S 177 以下参照。車一台ノ紙幣ヲ持  
ソテ行カナケレバ車一台ノ品物カ買ヘナイトイ  
フ歎キガアツタ。

#### ドイツ帝国銀行紙幣 (Reichsmark)

敗戦ニヨツテ極度ノ財政的窮乏ニ陥ツタドイ  
ツ政府ハ紙幣インフレーションノ手段ニ訴ハタ。

即ち国内ノ凡ユル組織ヲ以テ紙幣ガ印刷サレタ。  
印刷所ノ33箇所、印刷機1783台、製紙工場  
18箇所、20,000人ノ工員ガ製造・監督・運  
搬・経営ニ従事シタ。1923年ノ末ニ、ソノ  
発行額ノ最大數ニ達シタ。即チ4,000,000,

000,000,000,000 マルクデア。新聞  
ヲ買フニモ新聞ダケノ量ノ紙幣ヲ持ツテ行カネ  
バナラナイ。新タニ発行サレタ新購買力ヲ有ツ  
紙幣モソノ発行ニヨリテ物價ノ騰貴シナイ中ニ  
敏速ニ買ハナケレバナラナイ。当時日本カラド  
イツニ行ツタ留学生ハ書物ヲ買フノニ糊一ツニ  
ソトイフ風ニ教ヘタ。

カカル状態ヘノ対策トシテ政府ハ公定相場ヲ  
定メヨウトシタガ、ソノ実現ハ全ク困難デアツ  
タ。貨幣價值ガ下落シテ行クト所有ハ貨幣カラ  
物ヘト移サレル傾向ガ起ツテ來ル。商人モ品物  
ヲ有ツテキルコトニシテ、直接自己ノ消費ニ必  
要ニ限リニ於テ物ヲ賣ルトイフ有様デアツタ。  
カクテ政府ハ強制的ニ物ノ賣買ノ時間ヲ定メタ。  
コノ時期ニハ物ヲ賣ル方ハ極メテスローモーニ  
振舞ツタ。時間ガ過ギルト賣ラナクナル。農作  
餓饉ト同シク、品物ハ有リ余ツテモ不足

ソテキルトイフワケデア。政府ハ賣リ借シミ  
スル者ニ罰金ヲ課シタガ、罰金ノ金分當ヲ巡査  
ガ持ツテ來テモ支拂ハズニ放ツテ置ケハ忍テ無  
價值ニナルトイフ状態デアツタデア。ル。

### ゲルンゼー島ノ紙幣

之ハ成功ノ例デア。同島ハ英佛海峡中ニア  
リ、面積65平方キロ、人口4万ノ小島デア。大  
戰當時金屬貨幣ガナクナツタノデ、之ニ代ル  
モノヲ造ラウトツタ。マーケット(市場)ヲ作  
ルニモ資金ガナイノデ、市價ヲ募集スル必要ガ  
アツタガ、之ニハ利子ヲ支拂ハネバナラナイ。  
ソコニ島内ニ於テ不換紙幣ヲ発行シタ。之ニヨ  
リテ建築屋ニ全ク支拂ヒ、材料ヲ調ヘタ。コレ  
以上トンドン出セハ紙幣ノ價值ハ下落スルカラ  
発行ハコノ限度ニ止メテ置クノデア。材料ヲ  
賣ツタ者ハ、自己ノ生活消費ノタメニ他ノ物ヲ  
ノ市場デア買ヒ、斯クテコノ紙幣ハ島内ニ次第  
ニ普及スル。市場ニ物ヲ賣ル商人ハ市場ノ使用  
料ヲコノ紙幣ヲ以テ支拂フ。カクシテ紙幣ハ市  
当局ニ回收サレルワケデア。全部ガ回收サレ  
タトキニ市長ハ之ヲ廣場ニ集メテ焼イテ終ツタ。

コ、ニ於テコノ紙幣ハ使命ヲ果シタワケデアル。  
コノ好結果ヲ見テ他ノ小サナ町モ之ヲ真似タ。  
之ハ正直ト人間ガ之ヲヤレバ、紙幣発行ハソレ  
ガ不換デアツテモ *inflate* スル弊害ハ起ラナ  
イコトヲ示ス。然シソレハ小サナ範囲ノ内デノ  
ミ出来ルコトデ、大キナ流通範囲デハ成功ハ疑  
問デアル。

## 第五項 銀行券

### (7) 通貨主義ト銀行主義

銀行券ハソノ発行独占権ヲ政府ガ中央銀行ニ  
賦シ、通用期限、発行金額ノ制限、準備金ノ規  
定等ヲ有スル莫カ政府紙幣ト異ナル。銀行券發  
行ニ關シテハ從來ニソノ理論ガ対立シテ來テキ  
ル。即チ通貨主義 (*Currency principle*)  
ト銀行主義 (*Banking principle*) トデア  
ル。通貨主義ハ数量説的ト考ヘテ基礎ニシテキ  
ル。即チ物價ノ騰貴乃至下落ハ通貨ノ増減ニヨ  
ツテ左右サレルモノデアルカラ。物價安定ヲ計  
ラウトスレバ、銀行券ノ發行ヲ人為的ニ統制ス  
ルコトニヨツテソノ濫發ヲ防ガナケレバナラナ

イトスルノデアル。

銀行主義ハソレトハ全然逆ノ立場ヲ採ルモノ  
デアル。ソレニヨレバ銀行ハ物價ノ変動ノ前ニ  
通貨ノ数量ヲ増減スルコトハ出来ナイ。物價ガ  
変動シテ、取引量ガ之ニ應ジテ変動シテ、初メ  
テ通貨ハ増減スルノデアル。ソレ故ニコノ立場  
カラハ、銀行券發行ニ關シテハ法律的制限ヲ設  
クルノハ正当テナク、一般的經濟事情ニソノ増  
減ヲ任セルベキトスルノデアル。

以上ノ二ソノ主義ガ行ツタ論争ノ端初ハ1797  
年ノ英蘭銀行券ノ兌換停止ニ關シテ起サレタ論  
議ニ飛スルノデアル。當時増発ニヨル銀行券ノ  
價值下落ニ對スル対策ノ為メ、政府ハ1810年  
金地金委員会 (*Bullion Committee*) ヲ  
組織シタ。同委員会ニヨツテ提出サレタ金地金  
報告ハ即チ前述ノ通貨主義ノ立場ヲ採ツタノテ  
アル。之ニ對シテ英蘭銀行側ハ物價騰貴ハ銀行  
券ノ價值下落ニ基クノテナク、商品側ノ供給不  
足ノ結果デアルト主張シ、銀行主義ノ立場ヲ採  
ツタ。議會ニ於テハ通貨主義ノ主張ハ敗レタガ  
1844年ノピール法例 (*Peel's Act*) ノ発  
令ニヨツテ、ソレハ結局勝ヲ制シタワケデアル。

而チ該條例ニヨリ英蘭銀行ノ券券制度ハ極度ニ制限サレタ。

ソノ後ヨーロッパ各國ハスベテ一定ノ発行規定ヲナシ、嚴重ニ発行ヲ監視スルコトニナツタ。英國ハソノ後1847年、1857年、1866年ノ恐慌ニ際シテ、コノ條例ヲ停止 (*Suspension of Bank Act*) ヲ行ツタガ、之ハ兌換券ノ停止ヲハナクテ、必要ニ應ジテ金準備ニ對スル発行ノ制限ヲ解イタモノデアル。現在、英國ノ発行規定ハ1928年ノ改正ニカハルモノデアル。該條例ニヨレバ一定ノ限度以上ハ保證發行ニヨリ発行スルガ、ソレ以上ハ不可トナレル。例ヘバ15億5,000万円ダケノ銀行券が出テキルナラ之以上ノ発行ハ絶対ニイゲナイトスル。ソレ以上ノ発行ヲナスナラ、條例ヲ破ラナケレバナラズ、條例ノアル以上ハ限度ヲ越エタ兌換券ノ発行ハ出来ナイ。コノニ於テ政府ハ保證發行ノ限度ヲ越エテ發行セシメルコトニナツタ。之ガ嚴重ツタタメ改正ノ必要ガ起リ、1928年ニ至ンテ日本ノ制度ト同様ナモノニ改メタノデアル。之ニヨンテ制限外發行ハ合法的トナツタ。日本チハ正貨準備、保證準備ノ外

ニ發行スルコトヲ許シテキル。之ニヨレバ必要ノ場合ニハ非常手段ニ訴ヘテ、必要ヲ充テスコトガ出来ル。之ハ伸縮準備法ト呼バレル。改正前ノ英國ノ制度ハ定額準備法ト云ハレル。

銀行主義ヲ採ルナラ、インフレーションノ起ル可能性ハ否定サレルコトニナル。通貨ノ制カヲハナシテインフレーションノ必要ハナイコトニナル。但シ恐慌ノ他ノ見通シニヨリ、銀行ト取引ヲ有スル者ガ必要以上ニ銀行カチ金ヲ借リル場合カアル。之ニ對シテ銀行ハ先ト見越テ準備スレバ金ヲ貸スコトニナル。見越シニ對シテハ悲觀論・樂觀論ガアルガ、コノ場合ニモ必ず銀行主義ノミガ当座マヲナイノデアル。

## (2) 発行制度ノ種類

発行制限ノ主義ハ色々アルガ、ニツニ大別サレル。伸縮準備法ト比例準備法トデアル。ドイツノ模ニソノヲ加味シタ方法モアル。

### (A) 定額以上全額準備法 (*partial Reserve Method*)

教科書S 18+ 参照。

### (B) 最高発行額制限法 (*Maximum Limited Method*)



フランスガ採用シタ制度デアルガ、ソノ最高額ハ次第ニ高マツテ行ツタ。大戦勃発ト共ニソレガ急激ニナツタコトハ勿論デアル。コノ制度ハ一寸具合カ悪イセウダガ、之ハカヘツテ銀行ノ当事者ニ危険ヲ速カニ感知セシメ規定ハナクトモ準備ヲ充分ナラシメル。フランステハ大戦前コノ制度ノ下ニ8~9割迄ノ準備ヲナツタコトガアルト云ハレテキル。準備規定ガアルト却ツテ必要以上ノ準備ヲナスコトガアル。カッセルハ1917年ノ金争奪ハ準備規定ノアルコトカモ懸シタモノダト云ツテキル。

(C) 比例準備法 (proportional Reserve method)

之ハ正貨ト発行額トノ比例、後者ニ対スル前者ノ割合(%)ノ最高額ヲ規定スルモノデアル。コノ割合ノ純粹ノ理論上ノ根拠ハナイノデアルガ、ソノ必キニヨリ経験上、経済上安定シテキルモノデ、コノ安定莫テハ兌換ノ請求サレルトイフコトハナイ。ダカラ請求ガナケレバ準備金ヲ少クシテモヨイカト云フニサウデハナイ。準備比率ニ対シテハヤハリコノ規定ガナイトヨリ以上ノ準備ガ必要トサレルノデアル。

ケインズハ、最高発行額制限法ハ、ソノイ方法デアルトシテ recommend シテキル。即チ紙幣本位論者テ下ニ、彼カラ見レバ、金準備ニツイテノ制限ガ何等存シナイトイフ莫クソノ理想ニ近ソイテイルト云フノデアル。

(D) 債券準備法 (Bond Reserve (Deposit) system)

資料第5ノ8ニ参照。

大戦前ハ大体ニ於テ (C) ト (B) トガ掛ラレテキタ。大戦勃発ト共ニ大戦国ハ一様ニソノ兌換ヲ停止シタ。ソシテ戦後ハ殆ソノスベテノ国ガ (C) ニ移ツテ行ツタ。コレニ対スル例外ハ英国ニ於テ日本ト同ジ様ニ方法ヲトルコトニナツタ。即チ通貨ニ義カラハナレタノデアル。即チ1944年ノ銀行條例以來屢々コノ條例ガ停止サレ、制限外発行タル非常発行ガ度重ナルニツレテ非常ガ何時ノ間ニカ非常デナクナツテ来タ。ソノ結果ガ1925年ノ金本位法 (Gold Standard Act, 1925) 及ビ1928年ノ通貨及ビ銀行法 (Currency and Bank Notes Act, 1928) トナツタノデアル。日本テハ日露戦後以後コノ非常発行ニ対スル制限ガ明ケ放シニ



ズ。(之ハ銀行券ト間違ヘラレ易イ)、*Giralgeld, Buchgeld, Scheingeld* .....ハン  
ディクセン。

### 第二項 預金貨幣ノ造出方法

預金貨幣ノ増加ハ通貨ト同ジク物價ニ影響スル。当座預金ヲスルコトハ貯蓄ノタメテハナクテ、購買力ヲ發揮スルコトヲ目的トスル。即チ当座預金ハ購買力トシテ存スルノダカラ、前者ヲ増ストイフコトハ後者ヲ増スコトニナルノデア  
ル。コノ意味デハナイガ、預金貨幣ハ交換ノ媒介トシテノ手段デアリ。ソノ矣デハ紙幣ヤ鑄貨ト同ジデア  
ル。預金貨幣造出ノ方法ニハ次ノニツガアル。

(1) 現金ヲ銀行ニ預ケ、同時ニ小切手契約ヲナス場合、

(2) 割引貸付ノ振替ニヨル場合、

之ハ銀行カテ金ヲ借り、同時ニ現金ヲ受取ラズニ直チニ当座預金トシテ預ケル。カクシテ預金利子トノ差引ニヨリ支拂利子ヲ少クスルコトガ出来ルシ。同時ニコノ当座預金ニヨツテ小切

手ヲ振出スコトガ出来ル。

銀行モ亦一時ニ現金ヲ出サナフテ済ムカラ、兩者共ニ都合ガヨイワケデア  
ル。斯クノ如ク当座預金ニハ二種アルガ、共ニ區別ナク購買力ヲ有ツノデア  
ル。日本デハ(1)ガ多イ。コノ当座預金ニヨル取引ハ便利デア  
ル。小切手帳ヲ取ラレテモ、サインガ合ハナケレバ支拂ハ拒絶サ  
レル。但シ持券人弗ヒデア  
ルカラ、サイン或ハ捺印シタモノヲ持ツテ歩クコトハ危  
険デア  
ル。

小切手ニヨル支拂ノ場合ハノ十万円ニノ千円モ手数ハ同ジコトデア  
ルカラ、ソノ支拂額ハ幾ラデモ多クスルコトガ出来ルワケデア  
ル。ソレデ銀行ハ一定ノ限度以上ニハ預金者ノ預金額ガ或ルバ  
ランスヲ保ツテキルコトヲ望ムノデア  
ル。ソシテコノバ  
ランスヲ保ツテキル限度デノ基金ヲ元金トシテソノ利子ヲ手  
数料ニ充テルノデア  
ル。コノ必要カラ人ニヨツテハ大キナ銀行ニ大  
部分ノ預金ヲナシ、近所ノ便利ナ地矣ニアル小サナ銀行ニハ大  
キナ銀行カラ月末ニナツテ必要ナダケ小切手ヲ振り出シ、少  
額ノ支拂ニ當テルコトガ行ハ  
レル。然シコノバ  
ランスヲ割ツタカ  
ラトモツテ小切手ノ支拂ヲ拒ムワケニハ行カナ

イ。

小切手ノ最低額ヲ決メル場合ガアル。或ル銀行デハ 60 銭ノ小切手派出ンガアツトイフ。然シコソナコトハ普通ニハナイ。或ル銀行デハ「何円以上」トシテ小切手ノ金額デ枚数ヲ制限シ。又ハ何円ニツイテハ何枚トシテキルトコロモアル。

一枚ノ小切手ニ使ハレル入件費ソノ他ノ費用ハ 5 銭デアルトイフ。小切手ハ場合ニヨルト濫用サレル場合ガアル。持参人辨ヒダカラ蔵セバ駄目ニナル。之ヲ防グ方法ハ線引ニヨルデアル。即チ自分ノ取引銀行ヲ通ジテテナケレバ支拂ヒヲ受ケルコトノ出来ナイ様ニスル。例ハバ線引キ小切手ノ拾得者ハ、コレヲ自分ノ取引銀行ニ預ケ入レルト、コノ小切手ハ手形交換所ニ於テ決済サレル際、ソノ本来ノ受取人ガ判明スルワケデ、拾得者ガ誰デアルカモソノ受取人ニ知レルワケデアレ。他ノ方法トシテハ銀行ノ名ヲ記シテ特別線引ガアル。之ニヨレバソレニ託サレタ各々ノ銀行ヲ通ジテテナケレバ支拂ヲ受ケルコトガ出来ナイ。従ツテコノ小切手ヲ遺失ンテモ安心ダガトコテモ通用スルトイフワケ

ハ行カナイ。

### 第三項 預金取扱ト銀行ノ準備率

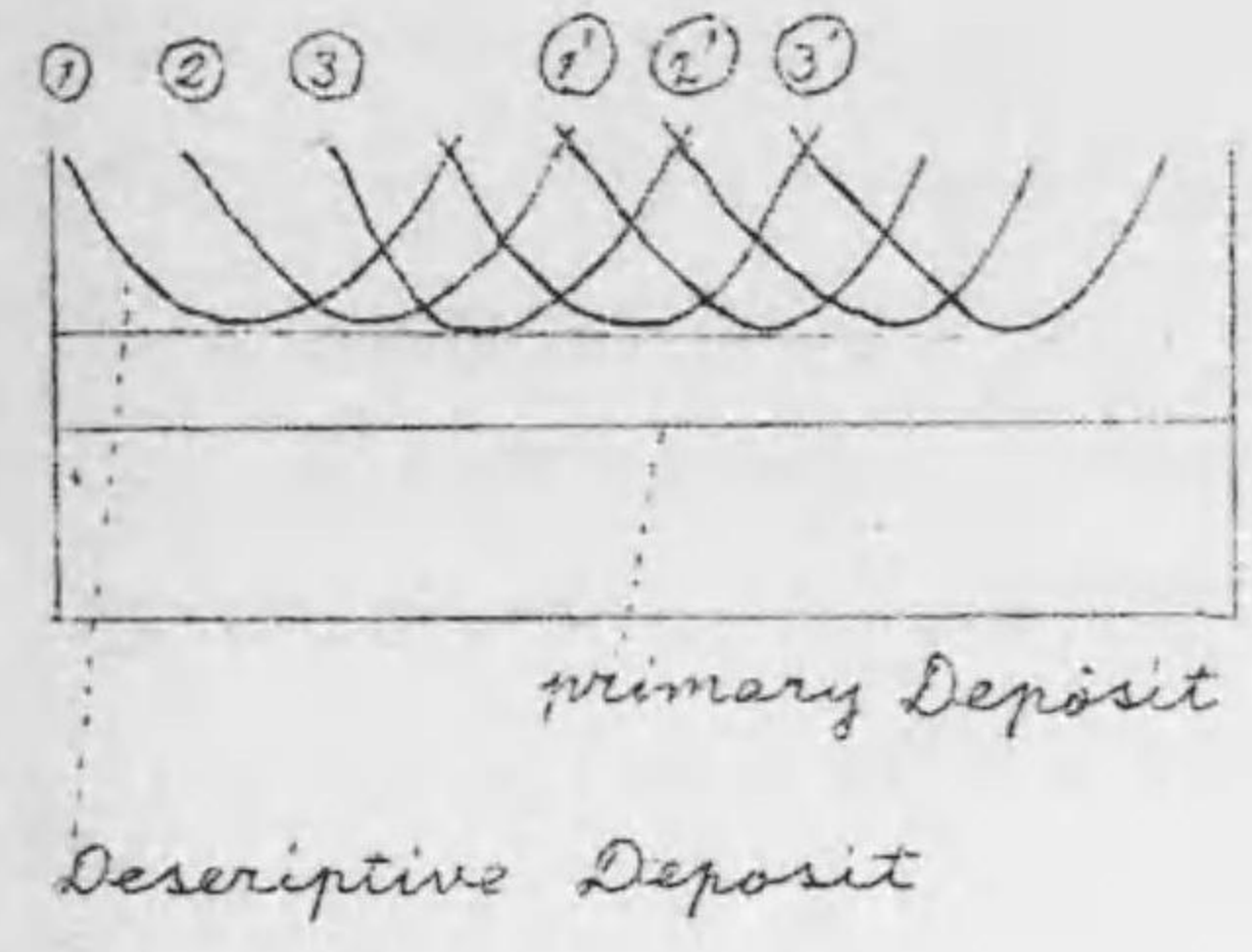
本来ナラ銀行ハ預ケ入レラレタ金額ノ全額ヲ準備スベキデアルガ、然レ銀行ノ破綻ハ信用ノ保全ヲナスコトニテカテ、一方ニハ信用ノ需要者ニ、他方ニハ信用ノ供給者ニ計シテ、両面的ナ仕事ヲ為スモノニテカテ、預金ノ全額ノ金ニ準備トシテ有ツテキルノチハナイ。

預金ノ最初ノ発達ハ金銀紐工匠ノ業齊ニ發スル。一般人ガ資金屬々貨幣ヲ携ヘテ、之ニ預ケルカ、コノ場合ニハ預ケ人ハ一定ノ保管料ヲ支拂フ。預ケ人ノ方カヲ考ヘレバ、安全デアルカラ仲々取リニ来ナリマシノ儘ニ放置シテ置ク。出シニ来ル人間ハ預ケ人ノ一部ニ過ギナクナル。従ツテ預ツテ置ク品物ノ量ハ一定ニ於テ一定シテ居リ、極ク一部分カ変動スルニ過ギナイ。ソノ割合ハ 2—3 割ニ止マルノデアル。ソコテ保管者ノ側テハコノマニニシテ置クコトハ無駄デアルカラ、必要ナ者ニコノ中カラ融通スルトイ

フコトカ考へ出サレタ。ソレハ一定ノ利息ヲ、取ル様ニナルト、コレハ儲カル商賣ナルコトガ分ツテ來テ、コハニ至ツテ成ルベク多ク金銀ヲ集メル必要ガ起ツテ、保管料ハ次第ニ引下ケラレ、遂ニハ無料トナリ、更ニ進ンデハ利子ヲ保管者ノ側カラ支拂ツテ集メルトイフニ至ル。コハニ近代ノ預金制度ガ創ツクンデアル。信用ヲ受ケル業務 (Passives Geschäft) ハ信用ヲ授與スル業務 (aktives Geschäft) ノ決定スルノカ *primitiv* ナ原則ナル。即チ短期テ預ツタ金ハ短期テ融通スル。長期テ預ツタ金ハ之ニ對應シテ長期テ貸付ケルノナル。短期預金モ一部分ハ長期預金ノ性質ノモノモアル。

然シ、兎ニ角、一定ノ額ハ準備金トシテ銀行ニ保有サレテキナケレバナラヌ。ソレガ幾何ナルカハ銀行ノ性質、場所等ニヨツテ異ルノナル。

之ニハニツノ原則ガアル。  
次ノ四ニ於テ預金者②ノ預金高ハ小切手ソノ他ノ支拂ヒニヨツテ或ル一定度迄減少スルガ、他ノ預金者②ハ之ト反対ニ預ケ入レニヨツテソ



ノ預金高ヲ増加スル。同様ニチ多数ノ預金者間ニ於テハソレゾレノ預金高ノ増減ハ或ル程度マデ互ヒニ相殺

サレテ、総預金高ノ一部分ノミガ変動スルニ止マルノナル。コノ部分ヲ *Descriptive Deposit* ト云ヒ、変動シナイ部分ヲ *primary Deposit* ト云フ。 *Descriptive Deposit* ハ全体ノ 5% ~ 20% ナル。然シ之ハ一般ニハ云ヘナイコトナリ。地方ノ貯蓄銀行等テハ *primary* ノ部分ガ多イ。準備金ノ率ハ *Descriptive* ノ線ヲ少ク越ニタ線ニ定メラレルノナル。

一般ニ銀行制度ノ發達ニ伴ヒ、準備金ノ率ハ次第ニ減少スル。手形交換ノ制度ガ確立サレル前ハ各銀行ハソレゾレ持ツテキル手形ヲ、他ノ銀行ヲ廻ソテ取り歩イタモノデアソク。カウイフ場合ニハ、如何ナル時ニ手形ノ支拂ヲ要求サ

レンガ分ヲナイカラ手許金ヲ相当持ツテキナケ  
レハナラナカソダ。

銀行ノ手代ハ、他ノ銀行ニ手形ノ決済ヲ為シ  
ニ行カナケレバナラナイガ、ニ人ノ手代ガ、例  
ヘハ相手方ノ銀行ノ小切手ヲソレソレ持ツテ途  
中テ逢ソツトキハ互ヒニ相殺シ合フトイフコト  
モ起ソテ來タ。遂ニハロンドンテハ市中銀行ノ  
利巧者ノ手代達カ或ルカフエーノニ階ニ毎日一  
定時刻ニ集ソテ相殺シ合ヒ、之ニヨツテ時間ト  
手数ヲ省クマウニナソタ。之ガ手形交換所ノ起  
リテアル。後ニ手形相殺ヲ専門ニスル建物カ造  
ラレ、コハニ組合銀行ノ手形交換制度カ確立サ  
レタ。而シテ相殺サレナイ部分ハ例ヘバ、日本  
テハ日銀ニ於ケル各銀行ノ預金ヲ以テ決済サレ  
ル。

#### 第四項 預金貨幣ノ起源並ビニ 發展

小切手ハ支拂取引ニハ便利デアル。カカル制  
度ノ發展ハノク世紀初頭ニ設立サレタアムステ  
ルダム銀行等ニ負ツテアル。當時ハ様々ナ順ノ

悪貨ガ行ハレタタメニ取引ノ不便カ大デアツタ。  
アムステルダム銀行ハコノ悪貨駆逐ヲ主要ナ目  
的トシ、銀行ハ預ケ入レラレル貨幣ヲソノ実質  
ニヨツテ評價シ、預金帳ニ記入スル。カクシテ  
商人達ハ實際ニ一々貨幣ヲ評量スル不便ヲ省ク  
コトカ出來、取引ノ多クハ預金貨幣ヲ以テスル  
ニ至ツタノデアル。アムステルダム銀行ノ場合  
ハ預金制度ノヨイ側面ヲ代表シテアルヲケテア  
ル。

### 第四章 鑄造貨幣ノ諸問題

#### 第一節 貨幣單位ノ決定

貨幣ハ一般的交換ノ媒介物トシテ機能スルカ  
ヲ、ソレハ又事物ノ價值表示手段トシテ用ヒラ  
レルノテアルガ、ソノ場合ニ表示ハ如何ナルモ  
ノヲ單位トシテ行ハレルカガ問題デアル。

我國ノ貨幣法第二條ノ規定ハ、純金量目750  
ミリグラムヲ以テ兩單位トシテアル。イギリス  
ハ標準金123 グレーンスケ47 1磅、フラン  
スハ10分ノ9品位ノ銀5グラムヲフラントシ、

ドイツハ改正貨幣法ニヨリ純金ノキログラムヲ  
20マルク貨幣139箇半、10マルク貨幣  
279箇トシテキル。

金屬ノ一定量(重量)ト貨幣單位トハノ關係ヲ有ツ。之ハソノ由來ヲ見レバ分ルコトデア  
ル。前述ノ貨幣ノ發生ノトコロヲ参照サレタイ。  
先ヅ物品貨幣ガ發生シテ、或ル場合ニハ交換價  
値アル場合ニハ使用價值ニヨリ、ソレゾレノ品  
物ハ馬何匹、牛何匹、ソノ米何升トイフ風ニ、  
即チ物ニソイタ單位ヲ以テ、交換サルベキ品物  
ノ價值ガ表ハサレタ。物品貨幣ノ最後ニ殘ツタ  
モノガ金屬トナリ、金屬ノ重量單位ガ客觀的交  
換價值ヲ表ハス標準トナツタ。之ガ同時ニ貨幣  
トシテノ單位ニ代ツタ。例ヘバ反物ノ反ハ金銀  
何匁トイフ風ニ金屬ノ一定量ヲ以テ表ハサレル  
コトトナツタ。磅、リーブル、イタリーノリラ、  
中華民國ノテール(兩)モ重量單位カラ出タ名稱  
ニアル。ダルク、フロラ等ハ金屬自体ノ名カ  
ラ出タモノデアル。13世紀ノ中頃、イタリヤ  
ノフィレンステ金貨ガ造ラレタガ、ソノ名ノ元  
ノ意味ハ「金」トイフ形容詞カラ來テキルノ  
デアル。ロシアノルーブルハ切断サレタ金屬ノ

ア片トイフコトカラ來テ居リ、インドノルピー  
ハ金ニ關係シタ名稱カラ來テキルトイフ。人名、  
地名カラ出タ單位ノ名稱モアルシ、古イ時代ノ  
モノテハ金屬ノ目方カラ來タモノガ多イ。

貨幣單位ト金屬單位トニハ以上ノ様ニ關係ガ  
アルガ、然シコノコトカラ直チニ貨幣單位ヲ以  
テ金屬ノ一定量デアルト考ヘテハナラナイ。何  
故ナラバ現今ノ貨幣ハソノ價值ヲ金屬ノ一定量  
カラ得ルノテハナクテ、寧ロ金屬ノ一定量ノ持  
ツ價值ハ貨幣ニヨツテ決定サレルカラデア  
ル。ピール(Peer)ハ、英國ノ磅ハ一定ノ量目ト  
一定ノ品位ヲ持ツ金屬ノ一定量デアルト云ツテ  
キル。

ソノ他ラフリン、ジエヴオンス、ウォーカー  
等モ貨幣ハ特定量ノ金屬ヲ内容トシテキルト定  
義シテキル。然シコトニ注意スベキハ貨幣ノ特  
定量ト貨幣ノ單位トノ關係デア  
ル。貨幣ノ内容  
ガ金屬ノ一定量ニヨツテ決定サレルト考ヘルノ  
ハ金屬學說的ニ誤リデア  
ル。逆ニ貨幣價值ガ金  
屬ノ一定量ヲ決定スルノデア  
ル。金屬ノ價值ハ  
貨幣ノ持ツ價值カラ受ケテキル。タカラゴ、テ  
ハ金屬ノ一定量ヲ以テ貨幣ノ單位ヲ表ハスカラ

ト云ツテ、ソノ内容全部ノ價值ガ金屬ニヨツテ決定サレルノデハナイ。

然ラハ 單位トハ如何ナルモノカ。單位トハ價值ノ單位デアルトイフノハ誤リデアル。仮ニサウダトシテモ、ソレハ極メテ不完全ナ云ヒ方デアル。例ヘバ円ガ價值ノ單位ダト云フナラソレハ不完全デアル。價值尺度デアルトイフモ誤リデアル。眞實ハ貨幣ノ數量單位デアル。1円ニ円トイフ計算ノ單位デアルト云ハネバナラナイ。即チ、或ル品物ノ價值ヲ表ハストキ、之ダケノ物ハ貨幣ノ之ダケノ數量ニ相当スルモノダトイフコトデ、決シテ價值關係デハナイ。

又1磅ハ日本ノ1円ノ10倍デアツテ非常ニ大キイ。フラン、マルクハ円ヨリ小サイ。ドルハ円ノ2倍。トイフ風ニ國々ニヨツテソノ大イサハ異ル。ソコデコノ單位ハトノ程度ニ於テ定ムベキカガ問題デアル。或ル學者ハソノ國ノ國民經濟上ノ程度ニヨリ定ムベキダトスル。ツマリ單位ヲ大キクトレバ贅澤ニナルトイフノデアル。一物ノ價值ハ、單位ニ引キツケラレル。日本ノ円タクハ段々安クナツテ、遂ニ1円トイフコトニナル。外国ノ例ヲトレバアメリカハ50

セント、フランスデハ7フラン、トイフ様ニソノ貨幣單位ニ直接ニ關係ガアル。品物ノ價值ノ場合デモ70銭ノ生産費ガカ、レバ之ヲ7円トイフ風ニ。又サブヲ出ストキニ、フランノ1單位デハバキクナル。日本デモ100銭白銅ヲニツ出サナイテ500銭銀貨一ツ出スコトニナラウ。タカラコソノ場合ニハ2分銀貨ガアルハ便利デアラウ。然シ單位ニ引キ上ゲラレルト共ニ逆ニ單位ニ引キ下ゲラレル場合モ考ヘラレルカラニツノ場合カ中和サレテ然ヒ、結局單位ノ大小ト急慢ノ程度ニ取引上ノ問題トハ直接ニ關係ハ存シナイダラウト思フ。

金本位制ヲ次メルトキハ先ツ貨幣ノ單位ヲ決メナケレバナラヌ。サウイフ場合ハ單位ノ決定ガ重要デアル。單位ノ名称ニハ人名ヲトツタモノモアル。グアテマラノケーサルハソノ例デアル。ボリウイアノスーフハ、同國ノ建設ニ功ノアツタ人ノ名デアル。土地名ヲ付ケクモノモアル。日本ノ円ハ明治ノ新貨幣ガ造ラレタトキ、ソノ形ハ從來ノ角形ニ小判形ニ對シテ、円イカヲサウイフ名称ヲ得タモノダトイフ。又一説ニハ慈禧ノ円銀カラ來タモノダトイフ。香港カラ



機械ヲ取り寄セテ作ツタトキ、ソノ出来上ツタモノノ大イサガ、香港ノモノト同ジデアツタイフガ、日本ノ四銀貨ガ洋銀ト同ジデアルカハドウモハツキリシナイ。之ニ就イテハ山崎博士ノ「貨幣瑣話」ヲ見ラレタイ。

## 第二節 貨幣ノ種類

貨幣ハ交換ノ媒介物デアルカラ、取引ニ便利ナ様ニ造ラレネバナラナイ。一定ノ便利ナル方法ヲ支拂ハレネバナラナイ。コノ要求ニ應ズルタメニハ種々ノ單位ノ貨幣ガ必要デアル。ソシテ之等ノ單位ハ或ル数量ヲ纏メル單位ナノデアル。例ヘバノ錢ト70錢トノ間ニ5錢ヲ造ルトイフ風ニ。即チ單ニソノ單位ヲ以テ計算ソ得ルトイフバカリデハイケナイノデアル。ソコデ昔ハ20錢銀貨ガアツタガ、之ハ70錢2枚デ間ニ合フトイフノテ廢止サレタ。25錢貨ガアツテモヨイデハナイカトイフ議論モアル。問題ニナルノハ7圓鑄貨デアル。支那ニハ1元トイフノガアル。然ソ7圓ハ紙幣ガアルノダシ、又金貨ハ實際ニ流通シナイノダカラ、金ヲ以テ7圓

ヲ造ル必要ハナイ。即チ本位貨ノ單位デアルモノヲ硬貨ヲ以テ作ル必要ハナイ。ツマリ種々ノ單位ノ間ニハ完全ニ代替性ガアルカラ本位ノ單位ヲ硬貨ヲ以テ造ル必要ハナイトイフコトニナツタ。ドイツデモ、フランスデモ、本位ノ單位ヲ表ハスモノハスベテ補助貨デアリ、僅カニイギリスノ7磅金貨ガ例外デアル。

## 第三節 品位ニ関スル規定

貨幣ヲ鑄造スル場合ニハ、ソノ純分ヲ以テスルノテハナク、雜分ヲ混ヘル。即チ品位ヲ算シテ鑄造スルノデアルカラ、コノ品位ノ規定ガ必要デアル。鑄造貨ニ不純分ヲ混ヘルノハ技術上ノ理由カラデアル。大戦前ノ金貨ハ柔カテ磨滅シ易ク、流通スルニ從ツテ速カニ通用最輕量目ニ達シタ。銀モ柔カデハ磨滅ノタメLossガ非常ニ多イ。カカル理由カラ純分ヲ用ヒルコトハ不便デアル。コノ柔軟性ニ目ヲツケテ金銀貨ヲ袋ノ中ニ入レテ振り廻シ、ソノ磨損ニヨツテ金銀粉ヲトルコトガ行ハレタコトモアル。鑄貨ノ磨損ニ刻マレタギナギザハコノ磨損ノ程度ヲ免

ルニヨイ。

品位ニ関スル規定ガナイト、内容ガ不定トナリ。コトニハ貨幣ノ対外的支拂ヒニ対シテ差異ヲ生ジ。之ヲ通シテ国内ノ貨幣ノ本位ニ間接ニ影響スル。之ニヨリ貨幣ノ代替性ヲ生ズル虞レガアル。

補助貨ニハ名目價値ト素材ノ實際價値トニ差ヲ付ケテオカナケレバナラナイ。日本デ大キイ50錢銀貨ヲ造ソタトキ。之ヲ鑄造シテ地金ガ賣ツタガ得タトイフコトニナツタ。之デハ補助貨ノ役目ハ果サレナイ。日常デハ補助貨ハ一番必要デアル。英國デハ銀貨ハ1000分ノ550ニ。我國デハ1000分ノ850カラ750ニ減ラシ。尙大キサモ小サクシタ。之ニヨリテ鑄造シテ防グノデアル。從ツテ余程銀地金ガ高クナラナケレバ。鑄造シテ儲ケルコトハ出来ナイ。之デモ補助貨デカラ不都合ハナイ。

#### 第四節 量目ニ関スル規定

貨幣ノ相互ノ代替性ヲ保持スルタメニハ。品位ト共ニ量目ノ規定ガナケレバナラナイ。機械

(142)

ヲ用ヒテ鑄造スレバ、相当正確ナモノヲ造ルコトガ出来ルガ、結局人間ガ造ルノダカラ、差ノ出テ來ルノハ止ムヲ得ナイ。絶対ニ正確ナモノガ出来ルトシテモ、多クノ時間ト費用トヲ要スルコトニナル。日本デモ5円ノ金貨ノ枚ガ7枚ナイ場合ガアル。7枚ノ場合ハ兎モ角モ。多数ノ場合ニハ。ソレハ相当ノ差トシテ表ハレテ來ル。國際間ノ取引ハ地金取引デアルガ。毎片ノ場合ト1000枚ノ場合トイフ風ニ重ノ規定ガナサレル。銀貨ノ規定ハ之ヨリ稍々緩イ。

#### 第五節 公差ニ関スル規定

技術的ニ許シ得ル量目ノ差ノ範圍ヲ公差トシテ法律的ニ規定スル。即チソノ品位、量目上ノ範圍内ニ止マル偏差ヲ有スル貨幣ハ正当ナル流通力ヲ有スルモノトセラレルノデアル。

#### 第六節 通用最整量目ニ関スル規定

規定ノ量目品位ヲ有ツ貨幣デモ流通シテキル

(143)

間ハ次第ニ磨損ヲ生ジテ、結局貨幣價值ノ下  
落ヲ來タスコトニナル。ジエヴオンスハ金貨ノ  
流通壽命ハ20年テアルト云ツテキル。補助貨  
ノ磨損ノ程度ハ、流通速度ガ多イカラ、モツト  
甚ダシイ。シリング貨ノ非常ニ磨リヘツタノヲ  
私ハ見タコトガアル。ヴィクトリア女王ノ肖像  
ガ殆ンド形バカリテ、少シクソレガ高ク手触リ  
テ感ゼラレタニ過ギナイモノデアツタ。グresham  
ノ法則 (*Gresham's Law*) = ヨルト、  
悪イ貨幣ノミガ流通ンテ、カクシテ間接ニ信用  
ガ失ハレル。ソシテ磨損ガ或ル一定ノ程度ニ來  
タ場合ニハソレヲ貨幣ト認メズニ之ヲ新シイモ  
ノト引キ換ヘルトイフコトヲ規定シタ。我ガ貨  
幣法第17條モコノ通用最輕量目ニツイテ規定  
シテキル。教科書S 212 参照。

通用最輕量目以下ニ磨損シタ貨幣ノ処分ニツ  
イテ問題ガアル。英國デハ之ノ磨損シタ貨幣ハ  
通用シナイトイフコトヲ規定ンタダケデアツタ。  
即チ之ヲ持ツテキル者ハ損ヲスルトイフコトニ  
ナル。後ニハ割引テナケレバソレハ通用シナイ  
トイフコトニシタ。之デモ取引ハ大ニ妨ゲラ  
レルコトニナル。コノ於テ各國ハ規定以下ニ

磨損シタ貨幣ハ政府ガ新鑄ノモノト無料テ引換  
ヘルコトトシタノデアル。例ヘバ磨損ノ程度ガ  
10円金貨デ50銭トイフ場合、政府ガ之ト新  
シイモノトヲ引換ヘレバ、政府ハ50銭ヲ負担  
スルワケデアル。英國ハ最初ハコノ制度ヲ採ラ  
ナカツタノデアルガ、1870~190年間ノ経  
験ニヨリ、政府ガ磨損分ヲ負担シナイトキハ悪  
貨ノミガ流通スルコトニナルコトヲ知り、1890  
年逆ニ造幣規則ヲ改正シテ、國家ノ負担トナス  
コトヲ規定シタ。

然シコノ規定ヲ悪用シテ新シイ鑄貨ヲ政府ガ  
ヲ賣ンテ來テハ磨リ減ラシ、又之ヲ取替ヘニ持  
ツテ行クト云フコトモ考ヘラレルガ、コノ規定  
ハ斯カル逆取リノタメノモノテハナイ。カカル  
悪意、故意ニ基ク利用ヲ防グタメニ、我ガ貨幣  
法第13條ノ規定ガ設ケラレテキル。

## 第七節 貨幣ノ形狀

鑄造貨幣ノ形狀ニハ古來種々ナモノガ存スル。  
豆銀ト云ツテ掘ノモノモアル。然シ今日テハ、  
諸國ノ採用スルモノハ殆ント圓形ニ限ラレ、円。

イ形ヲ示セバ、金トイフコトヲ表ハス様ニ四形ハ貨幣ノ一般的ナ形状トナツタ。四形ハ磨損ヲ防ギ、又最大ノ面積ヲ持テ得ルモノナノデアリ。

貨幣ノ大イサハ、取引ノ必要ニ應ジ、適度ノモノデナケレバナラナイ。ロシアノ白金貨ハ金屬デアリ莫ハ申シ分ナイガ、非常ニ小サイ。持ソテモ夫ハレル様ナモノテハ駄目デアリ。之ハ白金ノ産地カ限ラレテキルトコロカラ来ルノデアリ。國際貨幣會議デ白金貨ヲ本位貨トスルコトニ賛成シナカッタ理由、一ツハ形ノ小サイコトニヨルノデアリ。又大キイ方ノ限度ヲ云ヘバ普通ニ考ヘテ50錢銀貨以上ノ大キサデハイケナイ。ポケットニ入レテ膨ランデキルヤウデハナラナイノデアリ。

#### 第八節 貨幣ノ算則

日常ノ取引ニ於テハ、貨幣單位ニヨル計算ヲ以テスルト分數ヲ生ズルガ如キ小取引ガ生ズルカラ、一ノ貨幣單位ト他ノ小單位トノ關係ヲ明カニシテオカナケレバナラナイ。十進法ノ我國カラ見レバ、英國ノ12~20トイフ進ミガハ非

常ニ不便ニ見エルガ、彼等自身ニソノキハ大シメ不便テハナイ。ソノ證據ニハ彼等ハ7ポンド何ペンストイフ風ニ極メテ自然ニ算出スルノデアリ。国情ニヨリ、歴史的傳統ニヨリ又ソノ他ノ因縁ニヨリ、算則ガ定マルノデアリガ、單位相互間ニハ完全ナル代替性ガ存スルノデアリ。

#### 第四章 グレシヤムノ法則

交換ノ媒介物トシテノ貨幣ト、一般財貨トノ間ノ差異ハ色マアルガ、ソノ一ツガグレシヤムノ法則 (*Gresham's law*) ニモ現ハレテキル。一般商品デアレハ悪貨ノモノハ商品トシテノ價値ハ良貨ノモノヨリ少クナル。ソシテ良貨ノ商品ハ悪貨ノモノニ比シテヨク流通スルノデアリ、トスルガ、貨幣ノ場合ハ之ト異ル。例ヘバ我々が綺麗ナ札ト穢レタ札トヲ持ツテキルトスレバ、我々ハ綺麗ナ方ヲ財布ニシマヒ、穢レタ方ヲ出シテ使フデアラウ。取引ノ相手モ、ソノ札ガ強制通用力ヲ持ツテキルノデアリカラ、綺麗ナ方ヲヨコセトイフワケニハ行カナイノデアリ。従ツテコノ悪貨ノ札ヲ受取ツタモノモ亦

之ヲ他人ニ渡スノデアル。サレバ悪貨ノ貨幣ノ  
方が貨幣トシテノ役割ヲ果スコトニナル。反之  
商品ノ場合ハ良貨ノモノガ商品トシテノ役割ヲ  
盡スノデアル。

丁度、一般商品ト同ジ様ニ貨幣モ良イモノガ  
淘汰サレテ残ルト云ツタヘモアル。然シ貨幣ノ  
場合ニハ自由競争ニ委セテオクコトガ一般消費  
者ニハ必ズシモ利益デハナイノデアル。

以上ノ如キ貨幣ノ現象ハ夙ニ16世紀ニ  
(1558)英国人トーマス・グレシヤム(Sir  
Thomas Gresham, 1519~1579)ニ  
ヨツテ、法則トシテ云ヒ表ハサレタトコロデア  
ル。彼ハアントワープ(Antwerp)ニ駐在  
シテ、英国財務官ノ様ナ役割ヲシテキタ。商人  
ノ子デアリ。当時英国ノ貨幣ノ質ガ悪化シ、対  
外價值ハ下落シ、為替相場ハ下落シタ。彼ハソ  
レハヘンリー8世(Henry VIII)ニヨツテ貨幣  
ガ改悪サレ、悪貨ガ良貨ヲ駆逐シタ結果デア  
ルカラ、コノ状態ヲ元ニ復スタメニハ悪貨ハ除去  
サレネバナラヌトイフ建白書ヲ政府ニ対シテ提  
出シタ。グレシヤムノ法則ハコノ建白書ノ中ニ  
示サレタトイフガ、又一説ニハエリザベス

(148)

(Elizabeth)女王ノ出シタ布令ノ中ニ初メ  
テソレカ示サレタトモ云ハレテキル。又、ハリ  
ストイフハガ経済学辞書(1960年)ニ出シタ  
宣言ニモ出テキルトモ云ハレル。

グレシヤムノ法則ノ行ハレル條件

- (1) 同一額面ノ二種以上ノ存在、
- (2) 是等ノ貨幣ハ素材價值ヲ異ニスルコト、
- (3) 素材價值ヲ利用シ得ル事情ノ存在。

コノ三ツノ條件ガ該法則ノ實現ニハ必要デア  
ル。(1)(2)ノミニ足ルトイフコトハナイ。例ハ  
バコニニツケルト白銅トノ5分貨ガアルトス  
ル。コノ場合ニツケルノミガ流通スルカトイフ  
トサウテハナイ。モウツ(3)ノ條件ガナケレバ  
ナヨナイ。又5分ノ金貨、札、5分ノ銀貨ガ  
アルトスル。コノ場合ハ内容ヲ異ニスルニ拘ラ  
ズ、並ビ流通スルノハ、コノ法則ヲ利用スル材  
料カナイカラデアル。然シ金ノ流通禁止、戦  
時恐慌ガアルカモ知レナイトイフ時ニナルト、金  
貨ハ先ノ第一ニ流通カヲ去ル。即チ(3)ノ條件  
ガ現ハレテ来ルカチデアル。クカラ悪貨、良貨  
ガ共ニアリサヘスレバ、スグニコノ法則ガ起ノ

(149)

ト考ヘルノハ誤リテアル。

コノ法則ノ云ヒ表ハシニハ *drive out* トイフ言葉ガ使ソテアルガ、之ヲ何カ積極的ナカヲ有ソト考ヘルノハ誤リテアル。之ハ尙分ノ方カヲ退キ去ツテ行クト考ヘルベキテアル。

#### クレシヤムノ法則ノ発現ノ形式

(1) ソノーツハ輸出テアル。外国ニ貨幣ヲ輸出スルトイフノハ、地金トシテ輸出スルコトデアアル。例ヘバ磨リ減ソタ 10 円金貨ト磨リ減ラナイ 10 円金貨トガアレバ、外国ニ輸出サレルノハ後者ノ良貨ノ方デ、悪貨ノ方ハ国内ノ流通ニ残サレル。又 (2) 貯蔵 (3) 戦争 (4) 恐慌ノ場合ニハ勿論良貨ガ流通カラ去ルノデアアル。現在ノ様ニ金貨ガ全然流通シテキナイ場合ハ仕方ガナイガ、大戦前ノ様ニ金貨ガ他ノ貨幣ト併ンゲ流通シテキタトキニハ、大戦ガ起リサウダトイフ氣配ガアレバ、人々ハ先ヅ何ヲ藏ヒ込マウトスルヲウカ。即チ、先ソ金貨ヲ藏ヒ込マウトスルノデアアル。1 磅ノ金貨ハ直チニ容ヲ消ソタ。コノ場合一番利用サレタノハ良貨デ、従ソテ又、1 志ノ銀貨ガナクナラナイデ、ソノ金貨

カナフナツタ。

(4) 剝切 之ハ良貨ガソノ價值ヲ減ジテ悪貨トナル場合デ、通用スル最輕量目マテ減テスノデアアル。前述ノ如ク袋ニ金銀貨ヲ入レテ振り廻ストイフ手段ガトラレル。コノ場合ニハ良イモノガ姿ヲ消ストイフノテハナク、悪イモノニ身ヲ惹シテ流通スルノデアアルガ、法則発現ノ一形式デアアル。

(5) 打歩ノ発生 良貨ト悪貨トガアツテヤムヲ得ナイ場合ニシテ良貨ガ使ハレルトキ、悪貨ハ良貨ニ對シテ打歩ヲ生ズルニ至ル。新旧ノ貨幣ガ共ニ流通スルトキハコノ現象ガ生ジ易イ。例ヘバニツケル。白銅貨ガ共ニ通用シテキルトキニツケルガ高クナルト、白銅貨ハ之ニ打歩ヲ生ズルトイフコトカアル。

安政年間ノ日本カラノ小判ノ流出ハクレシヤムノ法則ノ発現ノ着シイ实例デアアル。教科書 S. 218 以下参照。アメリカノ駐日公使ガコノ現象ヲ兎兼ネテ幕府ノ役人ニ忠告ソタタメ、同量同貨主義ニヨル金銀取引ハ禁セラレ、一先ヅ金ノ流出ハ止メラレタノデアアル。

之マデノトコロカラ貨幣ト商品トノ差異ハ次

ノ種類 = 分ケテ云ヒ表ハサレル。

- (1) 機械上ノ差異
- (2) 貨幣價值上ノ差異
- (3) 流通状態ノ差異
- (4) グレシヤムノ法則

## 第五章 本位制度

### 第一節 本位制度ノ種類

貨幣制度 = ハ色々アルガ、本位ヲ如何 = 定メ  
ルカ = 依ツテ、ソレハ種々 = 區別サレル、ソコ  
デ貨幣制度ト本位制度トハ同様ノ意義 = 解シテ  
ヨイ。然ラバ、ソノ區別トハ如何ナルモノカ。  
私ハ先ツ本位ガ金屬ト關係ヲ有スルカ否カ = 依  
ンテ大別シタイ。



拘束本位制度  
ハ金屬ノ一定量  
= 關係セシメテ  
レテキルモノヲ  
アル。例ハバ、  
金銀ノ何オン  
ストイフ風ニ、  
不換紙幣ヲ兌換  
ノ停止シタ紙幣  
ハ、ソノ規定ハ  
存シテモ實現ス  
ル效力ハ持タナ  
イ。法律家ニシ  
テコノ規定ノ效  
力ハ停止サレテ  
キナイノダカラ  
金本位ハ停止サ  
レテキナイトイ  
フ者モアルガ、  
經濟上カラ見レ  
バ、實際的ニハ  
效力ハナイノダ

カラ。金本位トイフヲ得ナイノデアル。

### 第一項 拘束本位制

之ハ金屬ノ一定量ト關係セシメラレテキル本位制テ、コノ金屬本位制ノ場合ニハ金屬ノ分量ニヨリ鑄貨或ヒハ兌換券ノ發行ガ限ラレテキル。即チ金屬ニ縛ラレテ (*gebunden*) キルカラ拘束本位制ト呼バレル。金屬ニ縛ラレテキルトイフコトニヨツテ、コノ本位制ハインフレーションノ場合ニハ一ツノ役目ヲ果スノデアル。ココニ拘束本位制ノ拘束タル所以ガ表ハレル。縛ラレテキル金屬ガ一ツデアルカ、ニツデアルカ、或ハ一ツノ金屬ニ關係シテキルカ、ニツノ金屬ニ關係シテキルカニヨリ單複ガ分レル。一ツノ場合ハ如何ナル金屬デアルカニヨリ更ニ分レルガ。複本位ニハ金銀或ハ金銀銅本位ガアル。然シ大抵ハ金銀本位デアル。ソレガ又如何ニ關係セシメラレテキルカニヨリ、平行本位制ト兩本位制トニ分レル。前者ハ金銀ノ比價ガ市場比價ニヨツテ定マルニ反シ、後者ニ於テハ、ニツノモノノ比價ハ法律的ニ一定サレテキルモノデア

v.

### 第一目 單本位制

#### 第一 金本位制

##### 甲 金貨本位制 (*Gold Coin Standard*)

之ハ金本位制ノ最モ原始的ナモノテ、從來ノ大抵ノ諸國ハコノ制度ヲ採ソタノデアツタ。即チ1774年迄続イタカラ、約100年ノ歴史ヲ持ツケテアル。イギリスハ大戰後回復シタ金本位制ヲ1937年再ビ停止シタ。國民ハ傳統ヲ捨テルコトヲ好マナイタメ、本位制ガ再ビ回復サレルノヲ望ンテキルガ。ソノ後開モナク回復サレルト云ハレタガ、未ダニ回復シナイ。イギリスノ金本位制ハ長イ歴史ヲ持ツガ、ソノ最初ハ金貨本位制デアツタ。

日本モソノ貨幣法ニ金貨本位制タルコトヲ規定シテキルガ、金貨ガ流通シタコトハ實際ニハナイ。

##### 乙 金核本位制 (*Goldkernwährung*)

之ハ本位ガ金ノ一定量ト關係シテキルコトハ前者ト異ラナイガ、金ハ啗地金ノ形ニ於テノミ



保存セラレ。實際ニハ流通シナイモノデアアル。  
之ニモ受ニ種々ノ種類ガアル。1925年ノイ  
ギリスノ改正デハ。金貨ハ造ヲナイコトニナン  
クガ。依然トシテ紙幣ト金トノ一定量トハ関係  
セヨメラレテキルデアアル。ソコデ從來ハ金貨  
ヲ以テ兌換ナレタガ。之レ以後ハ兌換ハ金地金  
ヲ以テナサレ。札ヲ出セハソレニ相当スル金地  
金ヲ渡サレルデアアル。故ニ之ヲ金地金本位制  
トイフ。

金本位制ハ次ノ様ニ分タレル。

(イ) 金為替本位制 (Gold Exchange Standard)

対外支拂ノタメ、金ノ需要ニ対シテ。地金モ  
金貨ヲモ其ヘス。一定ノ相場ヲ以テ金貨拂為替  
ヲ賣出ス制度デアアル。一休兌換スルトイフコト  
ハ普通ノ場合ハ。外国ニ対スル支拂ヒヲ目的ト  
スルデアアル。外国ニ支拂ヒヲスルトイフコト  
ハ支拂者自身ハ金ヲ必要トシナイガ。相手ガ金  
ヲ受取レバヨイトイフコトデアアル。従ツテ金ノ  
需要ニ対シテハ金ヲ以テ支拂フゾトイフ為替ヲ  
出セバヨイコトニナル。金為替ハ或ル場合ニハ  
高ク。或ル場合ニハ安イ。金ト一定ノ関係ヲ持

続シテキルコトハ出来ナイカラ一定ノ相場ヲ保  
タル必要ガアル。

コノ制度ハ銀本位国ガ金本位ニ移ルタメノ過  
渡的ノ手段トシテ採ラレタモノデ。対内的ニハ  
銀本位デアリ乍ラ。対外的ニハ金本位ト同様ノ  
関係ヲ維持スルモノデ。従ツテ傳統的ノ金貨本  
位制トハ異ルガ。尚金本位ノ実質ヲ具ヘ得ルノ  
デアアル。印度、海峽植民地等ハ之ニ屬スル。

(ロ) 金地金本位制 (Gold Bullion Standard)

前述ノ如ク之。イギリスガ1925年以來採  
用シタモノデアアル。

(ハ) 金為替準備制

大戦後。ヨーロッパ各國ハ大戦前ノ金本位ヲ  
金地金本位制トイフ形デ回復シタガ。大戦ニヨ  
ル金ノ備在化ノタメ。各國ノ金ハ蓄シク不足シ  
タ。コノニ於テ金ノ分量ニヨツテ縛ラレテキタ  
ノデハ通貨ノ不足ヲ来ス。ソレデ金ニ金核ヲ加  
ヘタガ。ソレデモ不足シタトコロカラコノ制度  
ガ生レタデアアル。之ハ印度ノ金為替本位制ト  
類似シテキルガ。印度ニ於テハ政府ハ法定比率  
ニヨル金為替ノ賣出ガナサレルニ対シテ。大戦

後ノ本制度ニヨレバ金兌換ニ対シテハ金為替・  
金地金・金貨ノ何レヲ以テスルモ中央銀行ノ任  
意ナル。

### 第二 銀本位 (Silver Standard)

—省略—

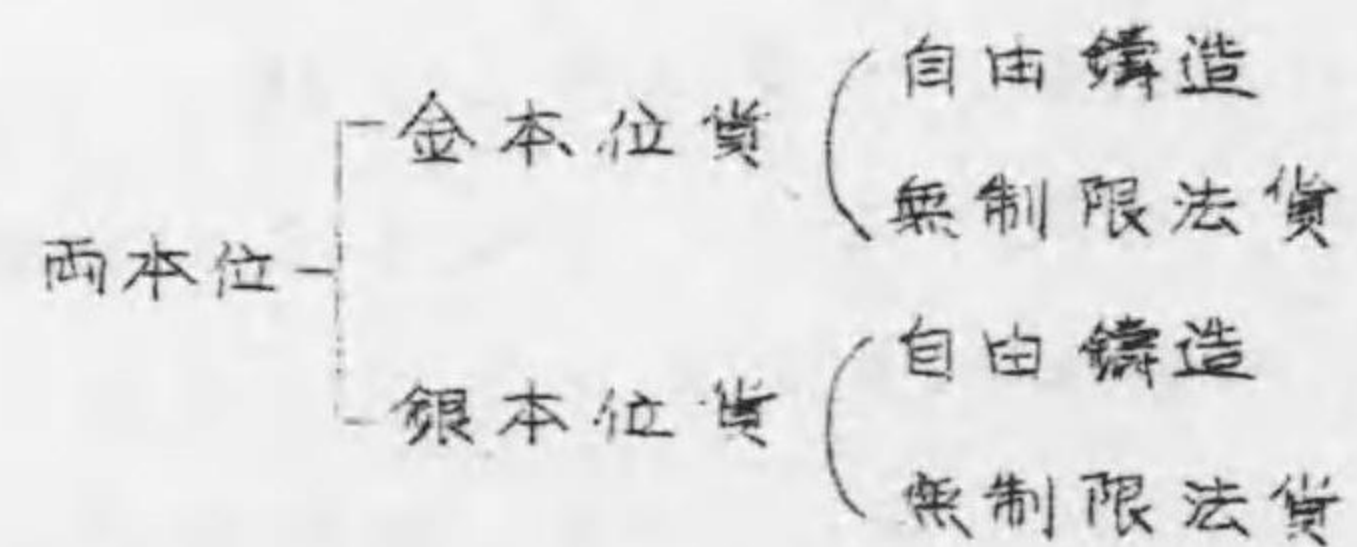
## 第二目 複本位制

### 第一 平行本位制

金銀ノ間ノ比價ハ全ク市場比價ニ依ラシメル。  
1863年英國ガ採ツタ制度ハコノ一例ナル。

### 第二 両本位制 (Bi-metallism; Doppelwährung)

金銀共ニ Standard money ナル。金ヲ造レ  
バ金本位貨ガ出来、銀ヲ造レバ銀本位貨ガ出来  
ル。



コノ場合ハ完全ナル両本位制ナルガ、若シ  
銀ノ自由鑄造ガナクナレバ、跛行本位制トナル。

(158)

### 甲 完全ナル両本位制

### 乙 不完全ナル両本位制 (跛行本位制)

教科書S. 236 以下参照。

## 第二項 自由本位制

(紙幣本位制)

本位ガ金屬ノ一定量ト何等關係セシメラレス。  
従ツテ金屬ニ縛ラレテキナイトイフ義ニ於テ自  
由ナル。コノ制度ノ下ニ於テ国内ニ流通スル  
紙幣ハ何等兌換ノ義務ハナイ。

## 第二節 本位制度論

### 第一項 金本位論

日本ノ金本位制ハ英國ノソレニ倣ツタモノナル。  
即チ我國ノ貨幣法第7條ノ規定ハ金貨ハ  
ソノ額ニ制限ナク法貨トシテ通用スルトシテキ  
ル。ドイツ、イタリー、アメリカ合衆國モ同様  
ノ規定ヲ有シテキル。金本位制ノ發展セルモノ  
トシテ金本位制ガアル。戦後ドイツハソノ中

(159)

ノ金為替準備制ヲ採リ、イギリスハ金地金本位制ヲ採ルニ至ツタモノデアリ。オーストリア、日本ノ如キニ於テハ大戰前ト雖モ、金貨ハ現実ニハ流通シテキナカツタノデアリ。然シ、金ノ有ツ働キニハ変リガナク、ソレ故金本位制ニハ金ノ流通ハ本質的ナコトデハナイ。金ハ流通ノ必要ナク、而モソノ機能ニハ変リハナイノデアリ。カクテ高イ費用ヲカケテ金貨ヲ鑄造スル必要ハナクナルワケデアリ。

金核本位制ハ *Goldkernwährung* ト云フ外ニ、*Goldwährung ohne Goldumlauf* トモ云フ。又金本位ニシテ實ハ紙幣ノミガ流通シテキルトイフコトカラ *Goldwährung mit papier* トモ呼バレル。フランスブルグ (*Lansburgh*) ハ *Goldrandwährung* 或ハ *Goldstorkwährung* ト云ツテキル。之等ハスベテ *Goldkernwährung* ト同ジデアリ。

金核本位制ハ前述ノ如クミツノ區別ガアル。1925年ノ英國新金本位制ハ金ノ自由鑄造ハ英蘭銀行ニノミ許シ、ソノ代リニ同行ニ金ノ無制限ノ買入義務ヲ負ハシメルモノデアリ。コノ場合ハ金ハ流通シナイデ、紙幣発行ノ準備トシ

テ、金庫ノ中ニ存スルトイフ意味デ、*kernwährung* ト云フコトガ出來ル。

金為替本位制ハ金ノ不足ノタメニ金為替ガ兌換準備トシテ金ニ代ハルモノデ、之モ金本位制トシテ考ヘラレル。印度ハ1899年ニ至ツテ銀本位ノママテハ今マデヨリモ合計十銀ヲ支拂ハネバナラナカツタメ、ソレヲ避ケルノニコノ制度ヲ採ツタ。印度ニハ銀ガ豊富デアリ。例ヘバ、シヤンデリヤハ銀製テ、一ツデ間ニ合フモノヲニツモニツモ取り付ケルトイフ有様デアリ。バーン (*Hahn*) ノ計算ニ依レバ、インドノ銀ノストックハ19億オンス或ハ20億オンスト評價ナレテキル。又腕環、頸飾リトシテ用ヒラレルカラ、結婚シーズンニハ多ク需要サレル。金モ相当アル。英國ガ印度テ金ヲ集メタトキモ相当出タ。ヨツテ英國ハ印度ニ於テ新金鑄ヲ密見シタト云ハレタモノデアリ。印度銀價ノ暴落ニコツテ蒙ル損失ヲ避ケテ、印度ヲ金本位制ニスル方法ハナイモノデアラウカト、考案ガメケラサレタ。ソレニハ銀ノ使用ヲ止メルコトハ先ツ避ケネバナラヌ。コノニ對内的ニハ銀ヲ依然トシテ無限ノ貨幣トシテ對外的支拂ニ

ハ金ヲ以テスル制度ガ成立シタノデアリ。對外  
支拂ヲナサントスル者ハ印度政府ニ一定ノ銀ヲ  
提供スル。之ヲ引換ヘニ印度政府ガ商人ニ與ヘ  
ルモノハ金爲替デアリ。故ニコノ制度ガ印度ノ  
*Goldstandardwährung* ト云ハレルワケデアリ。  
之ニヨツテ印度ノ銀ハ依然トシテ使用サレ、ソ  
ノ下巻ヲ免レタ。

1929年ノ佛領印度支那ノ場合ニモ銀ヲ急  
ニ賣リ出サナカッタ。依然トシテ国内ノ流通ハ  
銀ヲ以テ行ハレ、中心ニ金ガ存シテ之ガ對外的  
支拂ニ使用サレタノデアリ。之ニモ金本位制ト  
云ハレル。人ニヨツテハ中間本位制トイフ名称  
ヲ用ヒ、金本位制トハ別ノモノトシテキルガ私  
ハ之ヲ深クナシ。

金爲替本位制ト金爲替準備制トハ區別ナルベ  
キデアリ。印度ノ場合ニハ国内デハ從來ノ銀ヲ  
通用センメタノデアリ。唯、銀ノ自由鑄造ヲ禁  
シタ。ソレハ安イモノヲ以テ値ノ高イモノヲ造  
ル爲用ヲ恐レタカラデアリ。對外ノ支拂ニハ一  
定ノ値段ニヨル逆印紙券ヲ以テスルノデアリ。  
ノノダメニハ金ノ準備ガナケレバナラヌ。日本  
デモデル爲替ニ對シテハ準備金ヲ有タホハナラ

ヌ。日本ハ好景氣時代ニハ英國ニ在外資金ヲ持  
ツタ。ソレト同ジ様ニインドニ在外資金ヲ英國  
ニ持ツテキルノデアリ。英國ハ之ヲオツクワ  
(Ottawa)ニ持ツテ行ツテ藏ヒ込シテキルノ  
デアリ。

金爲替準備制ハ之ト異ル。国内的ニモ金ハ法  
貨デアリ。只準備ノ一部ガ不足スルカラ、之ヲ  
爲替ヲ以テ補フノデアリ。兌換ニ對シテハ在外  
資金ヲ持ツ必要ハナシ。金爲替本位制ハ、ソノ  
規定ノ如ク(教科書P. 228)對外支拂ヲナサ  
ントスル者ニ對シテハ、政府ハ金爲替ヲ與ヘル  
ガ、金爲替準備制デハ金貨・金地金・爲替ノ何  
レカヲ銀行ノ任意ニヨツテ與ヘルノデアリ。コ  
ノ点ニ於テ異ルカラ、二者ヲ一纏ニスルコトハ  
出来ナイ。一方ガ他方ニ發展シタモノチハナイ。  
寧ロ金爲替準備制ハ金地金本位制カラ發展シタ  
モノデアリ。

以上ノ如ク、金本位制ハ金貨本位制ヲ含メテ  
四ツノ形式ヲ持ツノデアリガ、金貨本位制ハ最  
モ原始的ナモノデアリ。而シテ次第ニ經驗ガ積  
マレテ、種々ノ形式ガ発達シタ。

大戰後アメリカ、フランスニ世界ノ金ノ半分

以上ガ集ツテ、ソノ他ノ国チハ金カ不足シタ、  
ソノタメニ金準備ノ一部ヲ金為替ヲ以テ補フコ  
トニナツタ。之ハ各国ガ止ムヲ得ズシテ採ツタ



制度テアル。之ニ  
依ツテ中心ハ金貨  
本位制カラ金地金

本位制ニ移リ、更ニ金為替本位制ニ移ツタ。  
コ、ニ於テ金ノ重要サガ減ツテ来タノテアル。  
コノコトハ前ニ金屬貨幣ニ於テ、名目ガ実價カ  
ヲ去ツテ行クトイフトコロヲ述ベタ。

問題ニナルノハ金為替本位制テアル。中間本  
位制トイフ人モアル。發展ノ順序トシテ金貨本  
位 → 金地金本位 → 金為替準備制トイフ風ニ  
考ヘラレル。金貨本位制ハ金貨カ国内ニ流通ス  
ルノヲ目的トスル。金貨ヲ造ルノハ只造ツテ遣  
クノテナク、金ノ價值安定セル流通ノ為メテアル。  
地金本位ニナツテ、ソノ意義ガ對内的カラ  
對外的ニ移ツタ。即チ金ノ機能ノ發展テアル。  
金ノ本位ノ機能ハ對外又拂ヒニアル。金為替本  
位制ハ金本位制ノ機能ヲ有ツモノテアルカラ  
中間本位ト云ハズニ、金本位ノ実價ヲ持ツモノ  
トスル。

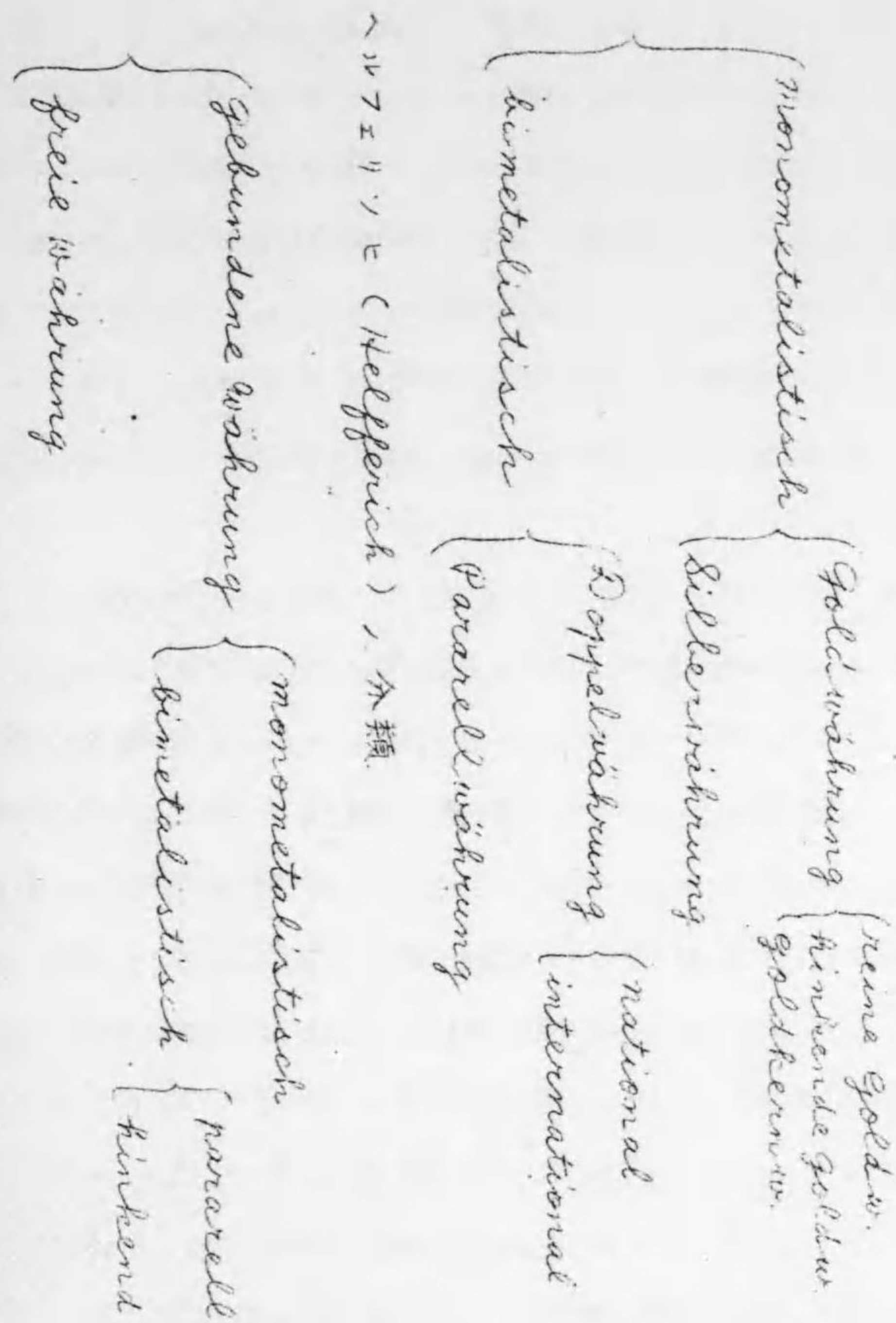
然シ、實際カラ云ヘバ銀本位カラ金本位ニ  
シタ場合ノ過渡的ニ制度テアル。之カラ之ハ金  
貨本位制ノ前ニ加ヘラルベキテアル。以上ガ金  
本位ノ形式上カラ觀テ介類テアル。

インドノ金為替本位制ハ為替ノタメノ本位制  
金為替準備制ハ兌換ノタメノ本位制テアルトイ  
フ考ヘカラ。之ニ對シ地金本位制ハ金塊本位制  
(Gold Bullion Standard Gold-  
barrenwahrung) トモ云ハレル。之ヲ試験  
ニ出シタラ金銀本位制ト解シツ人ガアツタ。或  
經金本位ハ金塊ニ通ズル。

銀本位制ニハ理論的ニハ銀地金本位制、銀為  
替準備制ガ考ヘラレル。カソテ上海ニハ銀準備  
ガナツレタコトカアル。事實ニ於テハ現在ニハ  
銀本位ハ存在シナイト云ヘル。純粹ノ銀本位制  
ハ過去ノモノトナツタ。両本位制ニ於テ、金銀  
ノ比價ガ法定サレテキハ、例ヘバ1803  
年ノフランノ如ク、金1ニ對シテ、銀7.75トイ  
フ風ニ規定サレテキハ、完全ナル両本位  
制テアル。然シ法定ノ比價ノ外ニ市場ノ比價ガ  
定メラレル。市場ノ比價ガ定メラレルトキハ完  
全ナル平行本位制テアル。然シ銀ハ19世紀ヲ

通シテ段々下落シタ。此價カ 1:15  $\frac{1}{2}$  カラ  
 1:20 へ変ルトスレバ、即チ銀ノ安イトキ銀  
 ヲ以テ金ヲ買ヒ、ソノ反対ノ場合ハ金ヲ以テ銀  
 ヲ買フトイフ思惑ガ盛ニ行ハレル、カ、ル比  
 價ノ変動カラ、金銀ノ何レカガ備シテ流通スル。  
 市場此價ガ法定比價ト一致シナイ場合ニハトチ  
 ラカガ備シテ流通スルノデアル、銀カ安クナツ  
 タトキニハソノ反動トシテ金ガ安クナル。交代  
 本位制ト云ハレル所以チアル。ノコチ銀ノ自由  
 鑄造ヲマメテ、銀ノ安イトキニ之ヲ買ソテ高ク  
 ナツタトキニ之ヲ鑄造スルトイフコトヲ防クコ  
 トガ考ヘラレ、コ、ニ 跛行本位制ガ出来上ルノ  
 デアル、故ニ金本位制ヲ、金貨本位制、金核本  
 位制、跛行本位制ニ三分スルコトガ出来る。跛  
 行本位制ハラテン貨幣同盟ノ諸国ニ於ケル如ク  
 両本位制ニシテ、銀貨ノ自由鑄造ヲ禁止シタ場  
 合ト、1871年ノドイツノ如クターレル  
 (Taler) 銀貨ガ金本位トナル場合トニ出来  
 タ。

カール・ディール (Karl Dill) ノ本位制  
 ノ分類ハ次ノ如クテアル。



然シコハ、云フ拘束 (gebunden) ハ、色々ノ意ニトヲレル。例ヘバ、モラル (moral) ノ拘束トイフ如キ。然シコノ場合ハ全然金トノ関係ヲハナレテキル。或ハ為替関係ヲ通ジテ金トノ関係アリトイフコトモ考ヘラレル。然シサウイヘバ、銅貨デモ何デモ関係ガアルコトニナル。バケツデモ手拭デモ金トノ関係アルトイフコトニナル。

之ヲ要スルニ、以上述ベタ種々ノ制度ノ中ニハ、一ノ發展傾向ノ跡ヲ尋ネルコトガ出來ル。

貨幣ノ証券化ノ傾向。所謂貨幣制度自体ノ抽象化デアアル。貨幣ノ流通ハ最初ノ貨幣制度ノ状態デアツタガ、色々ノ貨幣カ依然トシテ流通シテ各貨幣ノ文換比率ハ市場比率ニヨリ定メラレタ。之ハ所謂一種ノ平行本位制デアアル。即チ市場ニ存スル價值關係ハ各貨幣ノ貨幣ニヨリ媒介サレタ。然シ之等ノ通貨ガ漸次統一サレ出來上ツタモノハ金銀両本位制デアアル。公定ノ比率ニヨリ両本位制デアアル。コノ制度ニ於テハ金銀ノ比率ハ法定サレ、本位貨ハ金銀トイフニ種々ノ金屬ニヨリ代表サレル。然ルニ銀價ノ変動甚シキヲメ、19世紀ノ後半ニ於テ銀本位

貨ニ対スル自由鑄造禁止カナサレ、1860年代ニ於テ銀貨ハ不完全ナル本位貨トナツタ。跛行本位制ノ成立。遂ニ金屬ハ色ニ統一サレ、貨幣本位ハ金本位トナツタ。斯クノ如クシテ金屬ト本位トノ關係ハ漸次少數單一ナモノニ集中サレル傾向ヲ出ツタ。然ルニ一方1876年英國ニ源ヲ發シタ金本位制ハ歐洲大陸ノ両本位制ト跛行本位制トニ対立シタ形ニアツタガ、遂ニ跛行本位制ハ金本位制ニ合流シ、貨幣制度ニ於テ今迄用ヒラレタ他ノ種類ノ金屬ヲ漸次排除スル傾向ガ明カトナツタ。

之ヲ要スルニ、貨幣制度ニ於テモ金屬ヲ離レテ漸次抽象化シテ行ク傾向ヲ認メルコトガ出來ル。又更ニ金本位制ノ変遷ヲ見ルナラ、之モヤハリ實質カテ抽象ヘノ傾向ヲ示ス。貨幣制度ニ於ケル金屬排除ノ傾向ハ遂ニ金ヲシテ最後ノ貨幣金屬ヲラシメ、コノ金本位制自体ニ於テモ金ノ排除トナツテ現ハレテキル。

コハ、云フ金本位制ヲ、金貨、金為替、金地金、金為替準備ノ四ツニ分ケルト。第一ノ金貨本位制ハ大戰前ノ英、ドイツ、ソノ他日本デモ採ツタモノテ、コノ制度ノ下テハ金貨ヲ現實ニ

鑄造シテ之ヲ流通セシメル、所謂金屬流通本位制デアル。

然ルニ第二ノ金為替本位制ニ於テハ金貨ハ流通セズ、所謂金貨ノ流通セザル (*ohne Gold-umlauf*) 金本位制デアル。従テ對外支拂ニ於テノ金本位制トイフベキデアル。

第三ノ金地金本位制ニ於テハ金貨ヲ單ニ鑄造シナイノミデナク、金貨ヲ流通ニ不必要ナモノトスル制度デアル。金為替本位制ニ於テモ金貨ノ鑄造ハシナイケレドモ、金貨ヲ不必要ナモノトスルノテハナク、金本位ニ至ル過渡的の制度トシテノ意義ヲ有スル。然ルニコノ第三ノ英國ガ1925年ニ採用シタ金地金本位制ニ於テハ金貨ノ流通ノナイノミナラズ、初メカラ金貨ノ流通ノ必要ヲ認めナイモノデアル。コノ見出サレル傾向ハ貨幣發展ノ傾向ト同様ナモノデアル。換言スレバ金本位カラ金ノ排除セラル、傾向カ明カニ看取サレルノデアル。

第四ノ金為替準備制ニ至ツテハ、ソノ基礎ヲ金ニ持ツコトハ変リハナイガ、ソノ金準備ノ中ニ於テ漸次不完全ナル外國ノ金拂ヒノ為替ヲ以テ、金準備ノ中ニ含マシメ、從來ノ金貨、金地

金制ニ代ラウトスルノテアル、コノ制度ノ目的トスルトコロハ歐洲大戰後ノ國際的金ノ爭奪ト金ノ偏在ニヨリ各國カ金ノ集中ニ苦シメテ結果コノ結局ヲ切り抜ケルコトニアリ、ソノ策トシテコノ制度ガ達成サレタトハ申シテラ、ソノ結果カラ見レバ金本位制ニ於テ金ハ一層排除サレル傾向ヲ強メターツノ現象ト考ヘ得ル。カクノ如キ金本位ハ將來ノ貨幣制度ニ重要ナル示唆ヲ與ヘルモノデアル。將來ノ貨幣制度ハトシテ形ヲトルカ、ソレハ何等カノ形テ金ト關係ヲ有ツコトハ明カデアルケレドモ、抽象化ハ益々強マルダラウ。

#### 金本位制ノ機能

金ノ一定量ト貨幣トハ關係ヲ有スルトイフガ、ソレガトライフ形テ關係シテキルカ、ソコニ一定ノ規定ガ必要デアル。金本位制ト云ヘバ既述ノ四ツノ種類ヲ含メテ考ヘルコトガ出ズルガ、コノ四ツニ共通ナモノトシテ、金本位制ハトライフ機能ヲ具ヘテキルカ。

(1) キヤナン (*Ed. Cannan*) ハ、(i) 金ノ自由鑄造、(ii) 金ノ自由輸出、(iii) 金ノ自由熔解





(二) 紙幣・銀行券ノ金  
 へノ兌換ノ完全ヲ  
 挙ゲテモル、(イ)ハ即  
 ち、金ノ一定量トノ

貨幣交換ヲイフノデアル。(ロ)(ハ)ハ貨幣ノ方カ  
 ラ何時モ金地金ニナリ得ルコトヲ云フ。上ノ  
 図ノ如ク、金地金ト金貨幣トハ共通ナル水準ヲ  
 モツケテアル。又金ヲ対外的ニ持ち出スコト  
 が出来ルカドウカヲ考ヘホバナラヌ、即チ、(二)  
 ノ兌換トイフハ国内的テナク、対外的意義ヲ有  
 ソノデアル。対外的ニ持ち出スコトが出来ナケ  
 レバ兌換ノ意味ハナシ。

(三) ホートレー (Hawtrey) ハ金本位ノ擁  
 護者デアル。(イ) 中央銀行ノ内国紙幣ノ兌換ノ義  
 務。(ロ) 他ノ金本位国ノ金貨ヘノ轉換。(ハ) 中央銀  
 行ノ金地金買入制度。(イ)、(ロ)ハ共ニ自由鑄造ノ  
 意味デアル。外国ノ金貨ハ何時モ本国ノ貨幣  
 トナリ得ルシ。又ソノ逆デアル。(ハ)ハ英国ガ  
 1925年ニ採ツタ制度デアル。コハニ於テハ  
 金貨ハナイガ、買入業務ハ金ノ自由鑄造ト同シ  
 役目ヲスルノデアル。彼ハ又金本位制ノ法制的  
 特色トシテ、(イ)金地金ト金貨幣トノ間ノ自由+

ル相互轉換。(ロ)貨幣單位ノ重量及ヒ名位ノ法定  
 制度ヲ奉ゲテモル。

(3) グレゴリー (Gregory) ハ London  
 School of economics ノ教授デアリ。主ニ  
 ドイツノ書物ニモツテ研究シタ人デアレ。英国  
 ノハ一級ニ自国ノ書物ニモツテキテ、サウテナ  
 イ場合モフランスノ書物ヲ使フカラ、彼ノ如キ  
 ハ英国ノ學者トシテハ珍ラシイ。彼ハ「貨幣ト  
 勘定單位トノ間ノ關係」ノ存在ヲ以テ金本位制  
 ノ特色トナシ、ソノ規定トシテ、(イ)勘定單位ト  
 「物」ノ一定量トノ關係。(ロ)兌換制度ヲ奉ゲテ  
 モル。即チ本位トシテノ金 (Standard  
 Gold) ノ一オンスナラ一オンスガ、幾テノ價  
 格ニ相当スルカトイフコトガ決メラレテモルコ  
 トヲ示ス。

(4) ケーンス (Keynes)

(5) ヘルフェリヒ (Helfferich) ニ著共  
 ニ前ト稍、同様ニ規定ヲ奉ゲテモル。

(6) カッセル (Cassel) ハ金本位及討論者  
 デアリ。"Downfall of gold standard"  
 トイフ本ヲ著イテモル。"Money and Fo-  
 reign Exchange after 1914"ハ購買力

低下ヲ説クコトヲ有名ニナツタ本デア。金本位制度ハ純金2分ガノ由ト定メテキルガ。為替相場ヲハノポイントノ變動ハ始終アル。コノ位ノ變動ハヤムヲ得ナイガ。定モ角モ金本位制ニ於テハ国内ノ通貨ノ價值ハ金ノ一定量ト結び付ケラレテキル。ソノ保證ハ、(1)金ノ所有者ノ金ノ自由輸出入及ビ自由鑄造權、(2)金貨ノ所有者ノ自由輸出入及ビ自由溶解ノ権利デア。ソノイフ。スニエテソテハ1920何年カニ金ガ多ク入り過ギテ、中央銀行ハ金ヲドンドン買ハナケレバナラナカッタ。カウナレバソレニ應ジテ紙幣ヲドンドン発行シナケレバナラナイカラ、インフレーションヨシナル。ソコニ金ノ買入業務ハ停止サレタ。日本カラ云ヘバ之ハ羨マシイ話デア。金ガ過多ニナソタカラト云ツテ金ノ値段ヲ安クスルコトハ實際問題トシテ出来ナイノデア。

(7) ムリナルスキー (Mlynarsky) ハ次ノ條件ヲ規定スル。

(1) 中央銀行発行ノ兌換券ガ、無限ニ金貨又ハ金塊ニ兌換可能ナルコト。(2) 金ノ自由輸出入。(3) 国内ニ於ケル金ノ流通。(4) 於テハ兌換ハスルガ。僅カ5円、10円ノ金額ハ兌換シナイト

(174)

イフ制度ヲ持ソテキルモノモアル。ソレハ政策上ノ理由ヲ有ツカラデア。例ヘハ滿洲ノ中央銀行ニ在來ノ紙幣ヲ兌換ヲ請求ソテ來ルモノガアツタガ、少額ノモノニ對ソテハ兌換ヲ為サヌコトトシタ。ソコニ大勢カ一掃ニナツテ兌換シタ後、銀行ノ前デ金前ヲ取ルトイフコトニナリ。コノ規定ハ効果ガナカソタ様デア。

(8) マクミラン委員会 (Macmillan Report) 之ハ1931年ニ出タ有名ノ報告書デア。英國ノ金事情ヲ研究スルニハ是非見ナケレバナラナイモノデア。之ニ英國ノ事情ヲ余リ明ラサマニ報告シタノデ。英國ハ不利トナソタト云ハレテキル。英國ハ1913年ニ金本位ヲ停止ソタノデアツタガ、ソレ迄ハ金本位制デアツタ。大戰<sup>後</sup>回復シタガ1931年6月オーストリアノ Kreditanstalt カ危機ニ瀕シ、ソレハ遂ニ Danaten Bank ヲ破産センメタ。之ニヨツテ英國ノ貸付ハ焦付キ、英國ノ本位制ハ危イトイフコトニナツテ來タ。英蘭銀行ノ總裁ハ金本位停止ヲ余シタガ、之ニ對ソテハコノ報告書カ興ツテカガアツタトイフ。同報告書ハ英國ガ短期ノ資金ヲ以テ長期ノ方ニ廻シテキルノダトイフ

(175)

コトヲモ明カニシタ。

(9) 国際聯盟金購買力委員会。コレハ1930年頃ニナサレタ第1回、第2回ノ中間報告ヲモ含ムモノデアリ。金ガ非常ニ不足ヲ告ケテキルタメ、ソレヲ補フ方策ヲ考テルコトカ目的デアリ。金本位ノ定義ノ一ツトシテ、完全ナル法貨トシテ金貨ガ自由ニ流通スルコトヲ挙ゲテキルノハ、古イ状態ノコトヲ云ツテキルトスヘキデアリ。

以上ノ如ク金本位ニ関スル諸学者ノ意見ハ多種多様デアリガ、ソレハ金本位制自体ノ変化ニヨルデアリ。即チ既ニ述ヘタ様々種々ノ本位制ノ諸形態ガアルノデアリガ、ソノ外形的ニ共通ニ基準ヲ求メルナラ、金本位トハ貨幣ノ單位ノ價值ガ常ニ金ノ一定量ノ價值ト關聯セシメラレテキル貨幣制度トイフコトガ出來ルダラウ。

コノ制度ノ下ニ於ケル硬貨ニツイテノ條件ハ

(1) 自由鑄造制度。又ハ

(2) 中央銀行ニ於ケル一定値段ニヨル金ノ無制限買入義務ヲ舉ゲルコトガ出來ル。

軟貨タル紙幣ニツイテノ條件ハ

(1) 金貨、金地金、金為替兌換

(2) 金貨、金地金、金為替ノ中央銀行ニ於ケル一定値段ニヨル無制限賣出義務

現在テハ金貨ハ造ラレナイカラ賣立ト云フ方が適當デアリ。

金本位ガ停止サレテキルカドウカヲ判断スルタメニハ金ノ輸出ガナサレルカドウカヲ見レバヨイ。大戦中英國ハ金ノ輸出ヲ禁シタ。コノ場合金ノ兌換ヲナシテモ、金ヲ国外ニ持テ出スコトハ禁ゼラレタカラ、コレニヨツテ金本位制ハ停止サレタト云ハナケンバナラナイ。又金輸出ヲ許シテモ金兌換ヲ停止シタ場合ハ、以上ノ定義カラ形式的ニ金本位ヲ判断シ得ル。

金本位制ノ対内關係ニ於ケル意義

対内關係トハ即チ国内ノ物價ニ對スル關係デアリ。国内ニ對スル貨幣ノ價值ハ安定シタモノテナケレバナラナイ。價值ノ安定シタ貨幣ヲ維持スルコトハ国内物價安定ノ最モ確實ニ手段デアリ。国内的價值ノ安定ノタメニハ、相当量ノ通貨ヲ供給スルコトガ必要デアリ。通貨ノ不足ノ場合ハ、過剰ノ場合ト同ジク物價ハ動搖スル。ドイツハ大戦後ノ物價騰貴ニ對スル対策トシテ

Renten mark を作り、之をヨツテ物價ハ安定シタガ。ソノ発行量ハ一定量ニ限定サレタ。ソレ以前ハ 1 マルク = 1 兆マルクトイフ風ナ下落振リテアツタ。

コノ場合ハ貨幣單位ノ基礎安定トイフコトガ目的デアルカラ、量ヨリモ、安定シテ持ツコトノ出來ル貨幣ガ要求サレタ。潤澤ナル供給トイフコトハ第二ニデアツタ。25年ニハ別ノ Reichs-mark = ヨツテ代ラレタ。ソノ資金ハ Diskont Bank = ヨツテ造ラレタノデアル。

ソマリ金本位制ニ於テハ物價ノ安定トイフコトガ第一ノ目的トナル。然シコノ目的ガ金本位制ニヨソテ違セラレルグラウカ。金本位制ノ擁護者ハ之をヨツテ價值安定シタモノヲ供給シ得ルトナシテキル。

(A) 金本位制ニ於ケル貨幣價值ノ安定ヲ説クモノ

何故ニ金ノ價值ガ安定シテキルカニ就テハ

- (a) 金ノ有ツ特質ニヨルト説明スルモノト
  - (b) 金ノ生産費ニヨルト説明スルモノトカアル。
- 一休世ノ中ニ金ノ供給トイフガ、ソレハ新シク生産ケレタモノガ供給トナツテキルノデアラウ

カ。金ハ常ニ金造ノモノガ供給トナツテ現ハレテ來ルモノデアルカラ、ソノ値段ハ金ノ新シク生産量ガ決定スルノデハナク、金造ノ金ノ量ガ決定スルノデアル。之ハ恰度英國ガインドニ金鑛ヲ發見シタトイフコトニモ見テキル。即チ今迄ニ存シテ金ノ量ガ常ニ新シク金ノ供給デアルトイフコトデアル。

インドガ銀本位カラ金本位トナル。ソノ肩スル銀ハ国内ニ使ハレルカ、ソノ一部ハ金ニ代ラナケレバナラナイ。金本位ノ場合ハ換々ニ銀カ金ニ代ルノデアルガ、コノ場合モ既存ノ銀カ新シク供給ノ形ヲトルノデアル。

年々ノ金ノ生産高ハ今迄ノ金ノ約 20 分ノ1デアルガ、現在ニハ 6%デアル。

1936 年度世界金生産高 3,500 万オンス  
内譯

アメリカ 371 万オンス

南アメリカ 1,134 万オンス

ロシア 735.6 万オンス

カナダ 342 万オンス

その他 771 万オンス

標準高 52800 万オンス

内洋	アメリカ	32,200 万オンス
	フランス	32,200 万オンス
	イギリス	740 万オンス
	ベルギー	2,700 万オンス
	オランダ	1,400 万オンス
	スイス	1,000 万オンス
	ドイツ	80 万オンス

貨幣価値ノ基礎ヲ金屬ニ求メテキルノハ、メタリストノ考ヘ方テ、之ハ誤リナラズト思フ。他ノ論拠タル金ノ生産費ノ一定トイフコトハ、三トシテ労働力等モ今モ同様ニ算サレルト見ルノデアリ。之ハゴエウオンス等ノ云フトコロデアリ。

然レソノ理由如何ニ拘ラズ、金ノ價值安定ヲ以テ、貨幣価値ノ安定ノ基礎トシテキルカラ、之モ同様ニメタリスト的考ヘ方デアリ。コノ説ハ他ノ場合ヲ説明出来ナイ。紙幣ノ價值ハソノ素材タル内容ニヨツテハ説明出来ナイ。50 銭ノ紙幣ノ素材ハ50 銭以下デアリニ拘ラス。何故50 銭トシテノ貨幣価値ヲ有ソカ、紙幣ニナルトソノ内容素材ニヨツテハ全然説明が出来ナ

クナル。

(15) 自然的貨幣調節作用

完全ニ金本位制ノ維持シテキル一国内ノ物價が騰貴シタ場合ニハ、コノ国ニ對スル輸入が促進ナレ、之ニ對シテ輸出ハ阻止ナレル結果、外國ノ支拂勘定が増加スル。依ツテ手形ノ需要が増シテ、ソレニヨツテソノ国ノ貨幣ノ對外價值ハ下落シ、外國為替手形が昂騰スル。コノニ至ルニ至リ、金ノ流出リフレーション現象が起リテ、漸カニ流出ニヨリ国内通貨ノ收縮が行ハレ、ト今度ハ反対ノ運動が起リ、貿易關係ハ再び均衡ニ返リ、金ノ流出が行ハレルニ至ル。之ガ金本位制ノ調節作用ト云ハレルモノデアリ。實際ハサウ容易ニコノ調節が行ハレルモノデハナイ。

コノ調節が行ハレルタメニハ一定ノ條件クナレバナラズ。即チ金ノ自由ニ流出入ガナラレハナラズ。然レソノガ何時モ斯カル調節作用ヲ行フト出来ナイ。之ニ截断ガ本ノ金本位ヲ回復シテカラ、国外ヘノ金ノ流出ハ盛トナツタガ、結局最後ノ時ニ至テ再び輸出禁止ヲセバナラナラズ。日本銀行ノ入ノ幣ニヨリトアノニ至ルニ至リ、金ガトシテ出ルカ分ニテニタノタガ、遂

金本位ノ停止ヲ行フノダトイフ。1931年9月ニハ英國カラハトニ金ガ出タ。之ハ輸出貿易ノ收縮カラ起ルノモノナク、人為的ニ取付ケニ便シクシテ、之ノ流出ヲ止メテ見テキルコトハ出来ナイカラ、英國政府ハ遂ニ金本位ヲ停止シテアル。之ハ經濟以外ノ政治的原因ニモヨリテアル。

日本ハ昭和5年7月ニ金ヲ解禁シタガ、之ノ後ノ經濟交動ニヨリテ20億圓アツタ国内及ビ在外資金カ多量ニ流レ出タ。之レガ再ビ入ラズル迄放置シテ置クコトガ出来ナクナリ、再禁止ガ間モナク行ハレタ。

1933年ニハアメリカハ金保有カ實際ニ不足シタカラテハナク、民間及ビヨーロッパ諸國カラ取付ノモノニ金ガ流出スルヲラウトイフ見透シヲ付ケ、金保有ヲ確保スルクメニ金本位ヲ停止スルニ至ツタ。金本位ハ維持シタイガ金ノ流出ハ避ケナクハナラナイトイフ所屬シタ現象ガ起キタノテアル。

以上ニ見テ、金本位制ニヨリテ必ズシテ国内物價安定ヲ調節ガ行ハレシモノナク、且ニ国内經濟關係ニ限ラズ、金本位制度

以外ノ影響ニ於テモ、貨幣價値安定ヲハカルコトガ出来ル、金本位制ハ国内關係ニハ輪廻ヲ與ヘテ、

### (2) 信用統制ノ消極的統制

縱シ金本位制ハ国内經濟ニ對シテハ、消極的統制ヲ遺スコトガ出来ル。之レハ即チ信用統制テアル。若シケーンズノ云フセウニ管理通貨(Managed Currency)ガ行ハレバ、金本位制ノ意義ハナクナルノテアルガ、金本位制ニアツテハ金ノ數量ニヨリテ通貨ノ數量ガ制限ナレル。現在ニハ通貨ハ紙幣ト預金貨幣ガ主トシテ、之レヲ鑄貨ハ流通シナイ。從ツテ前二者カ金ニヨリテ、之ノ量ガ制限統制ナレル。

英海峽銀行カ10億テアルトキ、之カ不足ヲ以テ、資金ノ需要ヨリ多ク供給ナレホバナラヌ。從ツテ金本位ハ恐慌ニシテインフレーションガ起ラザルニシテ、之レニナツテドレノデアリ。故ニ金本位ハ国内的ニハ大シテ大キニ意義カナイトイフコトニナル。ケーンズノ云フ統制貨幣テアル。統制スルコトガ出来ナケレバ金ハ必要ナラナイトイフコトニナル。之カラ金ノ国内的意義ハ他クマテ消極的テアル。

金本位制ノ対外関係ニ於ケル意義

現在ノ国民経済ハ極メテ国際的ナル。個人ノ生活サヘモナウナル。外国ノ影響カ国内ニ作用シテ來ル。外国テ何カ突発的ナ事件ガ起ルト、ソレハ直チニ国内ニ影響ヲ及ボスナル。例ハバ、エチオピアニ戦争ガ起キルト日本ノ米價ガ変動スルトイフ風ニアメリカノ米價ガ変動シタト云ハバ、ソレハ直チニ日本ニ影響スル。昔ノ様ニ鎖國ノ時代テアレハ兎モ然。通貨ノ事カテ見テモ、ノ影響ハ同様ナル。対外的影響ハ為替相場ヲ通ジテ及ボサレル。通貨ノ問題ハ国内ダケノ問題トシテ片附ケルコトハ出来ナイ。国内的ニハ Managed Currency ハ意義ヲ有クナイガ、対外関係ニ於テハ重大ノ關係ヲ有クナル。外国カラノ影響ヲ除去スルコトハ出来ナイ。

国内的貨幣價值ト対外的貨幣價值トハ同ジ様ニ上下スルケレドモ、ソノ影響ハ両方面カラ來ル。為替相場ヲ通ジテ外国カラノ影響ヲ受ケルカラ、完全ニ国内的安定ヲ圖ラウトスレバ、外国カラノ影響ヲ遮断スルコトヲシナケレバナイ。有ラテモ銀キク如クテナケレバナイ。

(187)

セロノ影響ヲナケレバナラヌ。即チ為替相場ノ安定ガナケレバナラヌ。例ハバ子供ノ害物ハ子供カ家ノ中ニキルトキハヨイガ、子供カ学校ヘ行クト一般的ニ影響ヲ受ケナケレバナラナイ。窓ヲ開ケバ窓際ニ居ル子供ハソノタメニ風邪ヲ引クコトモアリ、家ノ中テノ心遣ヒハ無駄ニナレタラウ。コノ様ニ貨幣ノ国内價值ノ安定ヲ如何ニ圖ラテモ、対外関係ニ於テソレガ変動スルトキハコノ努力モ無駄ニナル。或ル場合ニハ国内ノ物價ヲ犠牲ニスルノカトイフ及問モ來ルワケナル。対外價值ガ安定シナケレバ対内價值ニ安定スルコトハ出来ナイナル。

今ニ國際間ノ取引決済方法ヲ見ルト、世界各國ノ主要ナモノニアンテハ、金カ最後ノ決済手段ナル。何故ニ金ハ斯ク用ヒラレルカ、ソレハ一ノ歴史的存続事實デアツテ、ソノ根拠ハ貨幣ノ発展史ニ求メラレヌハナラナイ。金ハ斯クノ如ク國際的貨幣ナルガ、ソレハ一ノ商品ナルト云フコトカ出来ル。商品ノ價值ト量トニハ一定ノ關係カアルナルガ、金ハコノ事ニ於テ他ノ何レヨリモ優レテキル。故ニ茲ニ今日ノ國際的性質ヲ有クニ至ラシクナル。コノ事

(188)

ハ白金・銀ハ欠乏ガアル。前者ハ少ナシ、  
後者ハ多過キルノテアル。丁度ヨイ程度ニ不足  
シテキルモノデナケレバナラナイ。

各国ガ金ノ上ニ貨幣制度ヲ置クコトハ同一ノ  
手段ノ上ニ立ツコトニナル。ソレゾレノ国ノ貨  
幣ハ金ノ一定量トシテ表示ナレルカ故ニ。ココ  
ニ法定平價ガ成リ立ツワケチアル。貨幣ガ対内  
的ニ影響ヲ受ケテモ、対外的ニ安定シテキル場  
合ハ、国内物價ハ之ニヨソテ好影響ヲ受ケルコ  
トニナル。

之ヲ要スルニ。今日ノ様ニ国民經濟ガ國際的  
ニ緊密ニ關係シ合ツテキル場合ニハ對外的ニ價  
値ノ安定ヲ保チ得ル金本位制ハ貨幣制度トシテ  
重要ナモノデアル。斯クシテ、金本位制ハ對外  
的ニ金本位制トナル。之ハ金地金、金為替本位ト  
ナルニツレテ益々ノノ意義ガ明カニナツテ来ク。  
〔以上テ夏休ミ前ノ講義終了〕。

〔9月ノ3日月曜日ニ休暇明けノ最初ノ講  
義ガ行ハレタガ、コ、デハ直接教科書ニ関  
セズ、最近ノ經濟立法ニ関スル解説カナサ  
レタ。ソノ内容ハ主トシテ後篇（特ニ第6  
〜8篇）ニ關聯シテキルモノ故、参考ノ便

(156)

宜カラ、之ヲ最後ニ載セルコトニシマシタ。  
〔諒承。〕

## 第二項 兩本位論

兩本位制ノ特質ハ次ノ如キモノデアル。

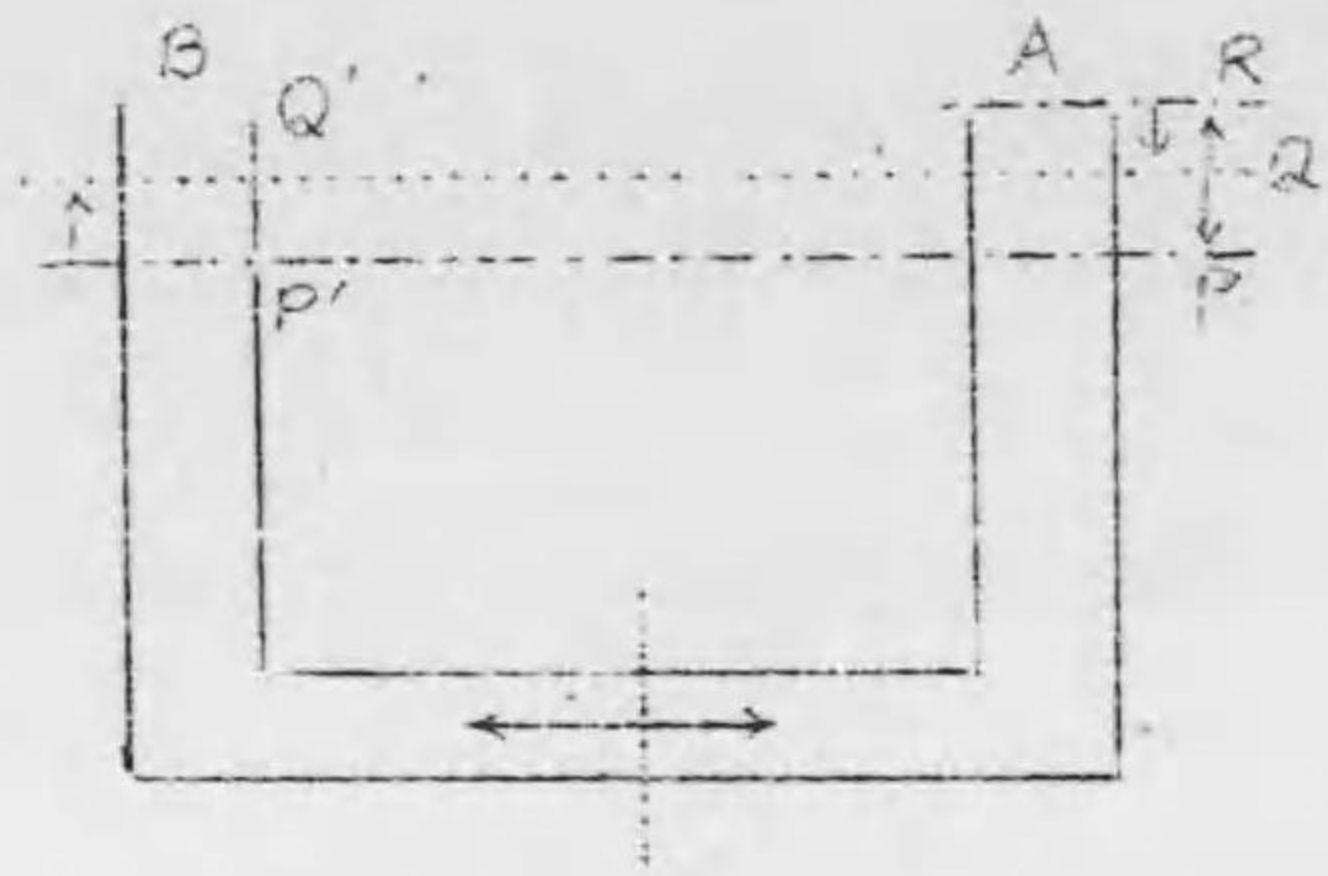
### (1) 確正作用

兩本位制ハコノ作用ニヨツテ、他ノ何レノ本  
位制ヨリモ一層安定セル價值ヲ維持シ得ルト云  
ハレル。即チ一人ヲ持チ上ルトコロノモノヲ二  
人ヲ持チ分宛持チ上ルコトニナル。金本位  
制ニ於テ受ケル種々ノ影響変動等ヲ金銀両方ガ  
分ケテ負担スルノデアル。金本位ナラバ金ノミ  
ノ影響ヲ受ケテホレバヨイ。トコロガ兩本位チ  
アレハ金銀両方ノ影響ヲ受ケナケレバナラナイ。  
貨幣制度自体ノ影響トシテ、從ツテ貨幣制度全  
体ノ受ケル影響ヲ金銀ニヨツテニ分スル。影響  
ノ強度ハ之ニヨツテ軽減サレルワケチアル。及  
西ニ於テハソノ度數、非常ニ多イ。ソレハ影響  
カ及方カラホルカラデアル。

金銀兩本位制ニ於テ金銀ノ割合ガ一定シテキ  
レバ、例ハハ、19世紀ノフランスノ場合ノ如ク

(187)





法定比價  
 1:15  
 イア如ク一  
 定シテキレ  
 ハ上ノ標ナ  
 補正作用ハ

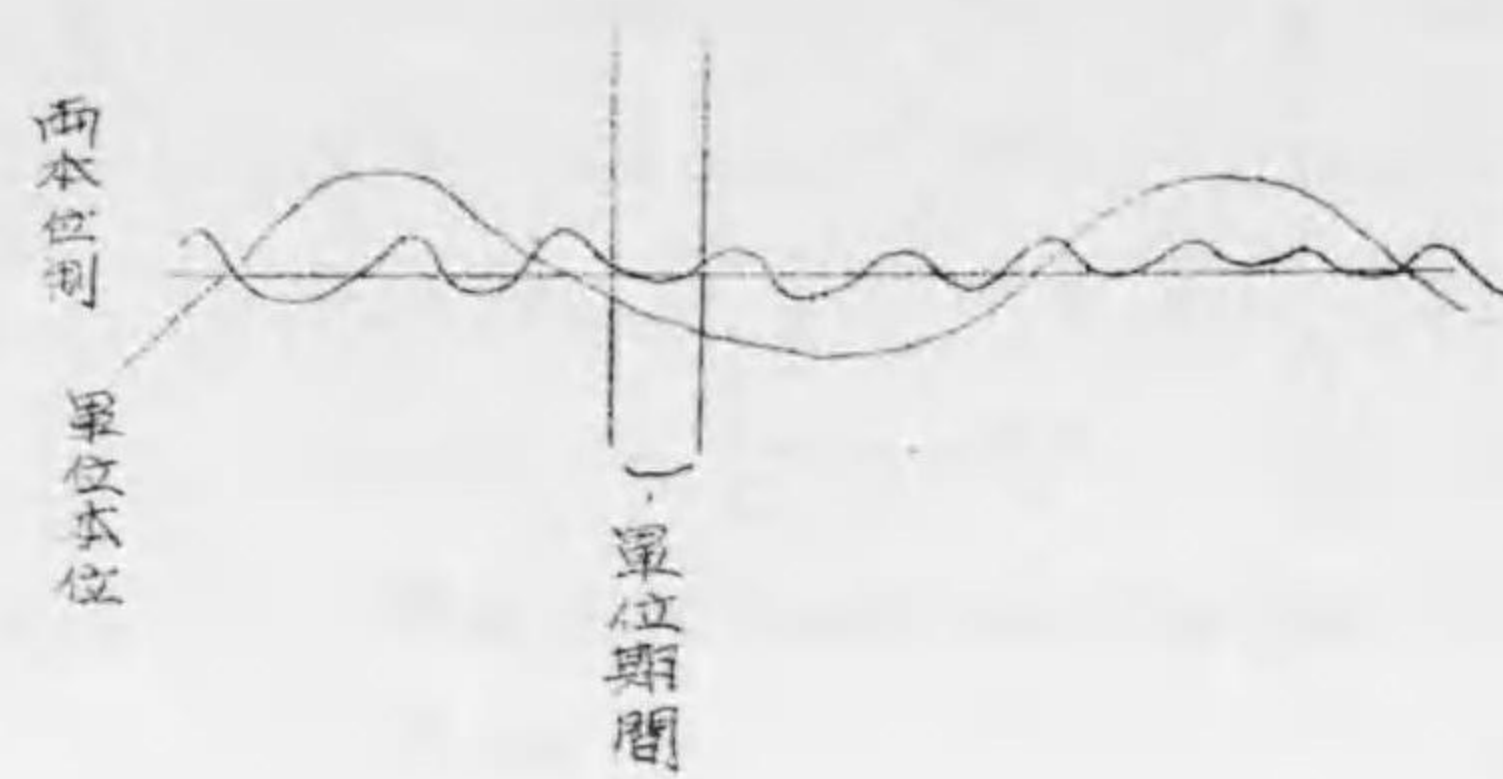
行ハレラウカ。コノ場合ニハ西方ニ自由鑄  
 造ガ許ナレテキル。即チ銀ヲ持ツテ行ケバ法定  
 比價ニヨツテ銀貨或ハ金貨ニ鑄造シテ賣ル。  
 之ヲ要スルニハ本位制ガ完全ニ維持ナレテキレ  
 バ金銀ノトチラカニ偏ル。例ヘバ法定ノ比價ハ  
 1:15デアツテモ、市場比價ハ1:20チア  
 ルトスレバ、市場ヲ安ク銀ヲ買ヒ之ヲ法定比價  
 ヲ以テ銀貨ニ代ヘ、更ニ金貨ニ換レバ、金ヲ  
 安ク手ニ入レシコトガ出來ル。コノ金貨ヲ以テ  
 銀ヲ買フナラバ、之ニヨツテニソノ比價ノ差ガ  
 ケ多ク銀ヲ得ルワケデアリ、ソノ結果ハ銀ニ對  
 スル需要ガ増シ、銀ノ値カ上リ、之ニヨツテ銀  
 ノミヲ本位貨トスル場合ニ比シテ値下リヲ或ル  
 程度ニ止メテ之ヲ抑制スレコトガ出來ルワケア  
 ル。金貨カ例ヘバ1:15カラ1:15トナ  
 レバ前ト反動ノ現象ガ起ル。何故カカルコトカ

是レカト云ヘバ、勿論ソレハ法定比價ト市場比  
 價ト一致シテキナイコトニヨル。然シソレヲ  
 一致サセルト云フコトハナカナカ困難デアリ。  
 貴財カラ云フトドチラカニ偏ラナケレバナラナ  
 イ。ソノ意味テ偏ツタ本位制デアリ。銀ガ安ク  
 ナレバ金ガ買ハレ、ソノ反動ガ起ル結果今度ハ  
 銀ガ高クナル。コノ様ニ金銀兩方面カラ絶エズ  
 刺戟ヲ受ケテキルノデアリ。例ヘバ、輕覺ラ  
 ヲシク有タナイ場合ハ刺戟ヲ受ケル程度ハ少イ。  
 ニフノ融面ヲ有テハ度數ケ多イコトニナル。

經濟上カラ之ヲ見レバドウデアラウカ。例ヘ  
 バ、貨幣價值ガ一割減ルスレバ、金本位スハ銀  
 本位トシテハ一割ノ減少トナルガ、両本位制ノ  
 場合ハ五分デ済ムト云フワケデアリガ、金銀兩  
 方面ノ変動カラ頻繁ニ影響サレル。

動産取引ハ何ナ年トイフ長イ期間ニ亙ルガ、  
 日常取引ハ月末トカ月ニ回ノ回数ヲ行ハレル。  
 長イ取引テモ半年カセイビ一年デアリ。コノ  
 一年ヲ單位トスレバ、貨幣價值ノ変動ハコノ場  
 合ドウイフ影響ヲ有ツカ。金本位制ナレバ、假  
 令今ソノ貨幣價值ノ変動ガ大ナリトシテモ、一  
 ケ年トイフ單位期間ノ変動ハ、変動ノ插ク大キ

ナ波動ノ一部ニ過キナリカラ、ソレハ大ナル影響ヲ與フルモノテナイト云ヘル。



然ルニ、  
両本位制  
ニ於ケル  
如キ、小  
カナ変動  
ガ起ル場  
合ニハ取

引賣買ニ故障ヲ来タスコトガ考ヘラレル。從ツテ商取引ニ投機的性質ヲ帯ビシメルコトニナル。

### 2. 貨幣素材ノ不足ノ補填

各國ガ皆一様ニ金本位制ニ移ルトキニハ、金ノ供給ガ不足トナリ、價值ガ異常ニ騰貴シ、ソノ結果ハ物價ハ暴落スルコトニナラウ。コノ場合ニハ銀ヲ本位貨トシテ併用スルコトニヨツテ、コノ変動ヲ防グコトガ出来ル。然シ金ノ供給不足ニ對シテハ種々ノ救済方法ガ考ヘラレル。又金生産自体ガ絶対ニ増産不能ナルワケデナイ。テアルカラ以上ノ理由ヲ以テ両本位制ヲ采認スルコトハ出来ナイ。

(190)

### 3. 銀ノ救済

各國ガ金本位制ヲ採用シタ結果、従来ノ銀貨ガ廢貨トナツテ、貨幣用ノ銀ノ需要ガ減少シタコトハ云フマデモナイ。ソノ結果ハ銀價ノ暴落トナリ、銀ヲ多量ニ所有スル國ハ不利トナツタ。コトニ銀價下落ノ防止ノ役割ヲ有サセル爲ニ両本位制ガ、此等ノ國ニ對シテ、採用スベキコトガ提議サレタ。1933年ノ世界經濟會議デハ金ノ素材ヲ銀ヲ補フコトガ提唱サレタ。然シ金ノ産額ハ世界全体デハ決シテ不足シテモナイ。アメリカ等デハ金價値ノ引下ケ論サヘアル。

### 第三項 國際両本位論

両本位制ヲ行フニハ、之ヲ一國ノミガ行ツテハ充分ナル特色ヲ發揮スルコトハ出来ナイ。多數國ノ強イ聯合ニヨツテノミ目的ヲ達スルコトガ出来ルトイフ点ニ國際両本位制ノ理論的根據ガアル。

銀ハ1921年 89ペンスト云フ高値ヲ呼ンダケ、同年内ニ又下落シ、32年ニハ14ペンス

(191)

台トナリ、53年=ハノ8ペンストナツテキル。  
34年=ハ再ビ昂騰シテ来タ。コノ昂騰ハ複本  
位論者ニ反サレタ結果、アメリカガ中心トナツ  
テ、銀買上政策ヲ行ツタカラデアル。

オーストリアノ哲学者エドアルト・ジューズ  
(Edward Juss)ハ1877年「金ノ将来」  
(Die Zukunft des Geldes)ナル書物  
ヲ著シ、ノノ中デ、銀金ハナクナル。又金銀ノ  
悲觀スベキ状態ヲ述ベテ、當時ノ人々ニ大キイ  
衝動ヲ興ヘタ。之等ノ事情ニヨツテ両本位制ノ  
採用ガ盛ニ唱ヘラレタ。特ニ銀ヲ多ク所有シ  
テキル國ノ参加ニヨツテ遂ニ國際貨幣會議ガ開  
カレタ。

### 國際貨幣會議

第一回ハ1878年アメリカノ主唱ノ下ニパリ  
ニ於テ開催サレタ。参加國ハアメリカヲ首トシ  
テ、イギリス、フランス、ドイツ、スイス、ベ  
ルギー、ノルウエー、ロシア等デアル。コノ會  
議デハ英独ハ金本位制変更ニ反対スル立場カラ  
自余ノ國ニ対立シタ。ソノタメニ具體的ニ決議

(192)

ハ何等行ハレナカツタ。

第二回ハ1881年4月アメリカ、フランス  
ノ聯合提唱ノ下ニパリニ開カレタ。之モ同様  
何等ノ決議ヲモ行ハズ、解散シタ。

第三回ハ1892年11月延期ヲ重ネタ後、  
ブラッセルヲ開カレ、銀ニ對シテ一般的需要  
ニヨリ開カウトイフ政策ニツイテ協定ヲ得ヨウト  
シタガ、之モ未決ニ終ツタ。

カクノ如ク數次ノ會合ヲ行ヒタルニ拘ラズ  
恣ク失敗シタ。

### 國際貨幣會議失敗ノ原因

ソレニハ先ヅ理論的ニ欠陥ガ考ヘラレル。前  
述シタ様ナ種々ナ欠陥ハ兩本位制自体ノ中ニ本  
來含マレテキルコトハ否定出来ナイ。

又實際上ノ実施ノ困難ヲ惹キ起ス問題トシテ  
ハ、

- (1) 各國利害ノ衝突
- (2) 法定比價決定ノ困難
- (3) 金産額ノ増加

等ヲ挙げルコトガ出来ル。

(193)

#### 第四項 跛行本位論

先ニ述バタ様ニ市場比價ト法定比價トノ不一致ニヨツテ、コノ両本位制ハ金銀ノ何レカニカタヨル。跛行本位制ハ両本位制ノ交態ト見ラレルガ、次ノ様ナ特色ガアル。

(1) コノ本位制ニ於テハ金貨ノ自由鑄造ガ認めラレナイカラ、銀ガ変動シテモ、ソレカラ影響ヲ受ケナイ。

(2) 両本位制カラ金本位制ヘノ過渡手段ト見ルコトガ出来ル。銀ヲ多量ニ保有スル場合ニハ金本位ニ、直接ニ轉換ハ銀ノ暴落ヲヒキオコスカラ、銀ヲ尙本位貨トシテオキ、ソノ下巻ヲ防グノテアル。之ハ印度ガ1925年ニ採ツタ制度デアル。

然シ、跛行本位制ハ、金本位制、金銀両本位制ノ長所ヲ持ツト共ニ面方ノ短所ヲモ併セ持ツノデアル。

(1) 完全ナル両本位制ノ場合ニハ銀ノ自由鑄造ガ行ハレルノデアルカラ、補正作用ガ働クガ、コノ跛行本位制デハ当然ニコノ作用ガ欠除スル。

(194)

(2) 人ニヨツテハコノ制度ハ中間本位制トシテ分類スルモノモアル。即チコノ制度ハアウマデ過渡的手段デアル。

両本位制ノ特色ヲ欠キ、又同時ニ金本位ノ特色ヲモ有シナイノデアルガ故ニツノ永久的ナ理想的制度デアルト云フコトハ出来ナイ。

#### 金為替本位制トノ比較

(1) 發生ノ過程。金為替本位制ハ數本位國ガ、金本位ニ移ル場合ノ過渡手段デアルニ對シテ、跛行本位制ハフランスヲ中心トスルラテン同盟諸國ノ如キ両本位又ハ金本位カラ生ズルモノデアル。

前者ハインドガ前世紀末ニ採ツタ所デアル。南米ノ諸國モ亦、コノ後コノ制度ヲトツタ。ソノ他海峽植民地ノ諸國。

1931年ノ報告ニヨルト支那ノ本位制ハ上海ヲ中心トスル金本位制デアルトイフ。然ツテ現在ノ支那ノ銀本位ハ *nominal* ナモノデアル。

(2) 跛行本位制ノ場合ハ、本位貨ニツイテハ金銀両本位貨ガ行ハレル。金為替本位制デハ、

(195)

国内ニ於イテハ銀貨が去貨デアリ。對外支拂ニハ金地金ガ用ヒラレルカラ、金貨ノ使用ハ必要デナイ。

(3) 在外資金ノ存否トイフ点カラ云フト、金為替本位制ニオイテハ金本位國宛ノ金掛手形ヲ賣出スタメニ、ソノ振込國ニ於ケル支拂資金トシテ常ニ在外資金ヲ要スル。例ヘバ、印度ノ例ヲ見ルト、1899年ノ状態ヲトレバ、印度カラ英國ニ支拂ヲ為ストキハ、ロンドン宛ノ金掛ノ為替ガ必要ナノデアル。手形ハロンドンデ、割引スルノデアルガ、在外資金ガナケレバ印度デハ為替ヲ無制限ニ賣出スコトハ出来ナイ。

破行本位制ニオイテハ對外的ニ為替ヲ賣ルノデナイカラ、在外資金ハ必要デナイ。

### 第五項 紙幣本位論

不換紙幣ハ端初ニハ將來金屬ト<sup>引換ラ</sup>ナスベシトイフ約束ガアルノデアルガ、結局ハソノ兌換ガ行ハレザルニ至リ、不換紙幣制度ハ金銀ト關係ノナイ制度トナツタ。ユノ制度ハ、他ノ本位制度トハ異ツタ作用ヲ有ツ。金屬ニヨツテ拘束サ

レナイコトカラ、イロイロナ問題ガコノ制度ニオコル。即チ、金屬ニヨツテ保証準備ガナサレナイカラ、増発、濫発ニヨツテ、インフレーションヲ惹キオコシ、又為替ニ對スル關係ニ於テ複雑ナル問題ヲオコス。

## 第五篇 貨幣價值理論

### 第一章 貨幣價值

之カラ貨幣價值ノ変動ヲ論ズルノデアルガ、ソレニハ、價值ノ理論ガ前提トサレル。問題ハ動的デアルガ、ソノ前提ハ靜的デアル。

#### 第一節 貨幣價值ノ意義

我々ガ一定量ノ貨幣ヲ以テ物ヲ買フコト云フコトハドウイフコトデアルカ、ソレハ貨幣ヲ以テ價值ヲ有スル商品ヲ買フコトデアル。従ツテ貨幣ハ交換能力ヲ有スルトイフコトニナル。即チ、客觀的ニ成リ立ツ交換價值デアリ、貨幣ノ有ツ購買力デアル。(貨幣ハ購買力ヲ有ツノデアツテ、購買力ヲ有フノテナイ。間違フ人ガアルカラ免ヲ付ケナケレバナラヌ。)

然レ、貨幣ノ價值ニ、一般商品ノ場合ニ於ケルガ如ク、之ヲ主觀的・客觀的ノニツニ區別シテ考ヘル必要ガアル。

#### 主觀的價值

例ヘバ、コ、ニ一円トイフ金ガアルトシテ、之ヲ金持ノ人が有テバ、左程ノ價值アリトハ云ハレナイガ、金ヲ余リ持タナイ人ニトツテハ、大キナ價值ガアル。コ、ニ主觀的ノ價值ガ貨幣ニツイテ考ヘラレル。

又コ、ニ *Portrait* ガアルトスル。之ヲ賣レバ、アル他ノ商品ノ價值ト引換ヘガ行ハレル。コノ場合、*portrait* ガ交換場裡ニ於イテ、ドレダケノ交換能力ヲ有ツカト云フコトガ問題トナル。ソレト同ジ様ニ、我々ハ一定量ノ貨幣ニ對シテドレダケ他ノ商品ガ得ラレルカトイフ評價乃至ハ判断ヲ行ヒ、コノ判断ノ中ニ貨幣ノ中ニ主觀的ノ交換價值ガ成リ立ツワケデアル。即チ貨幣ノ主觀的交換價值 (*subjektiver Pauschwert*) トハ貨幣ノ一定量ニ對スル主觀的ノ判断デアル。

而シテ貨幣ハ又我々之ヲ以テ商品ヲ買フタメニ使用スルモノデアルカラ使用價值ヲ有ツト考ヘラレル。コノ貨幣ヲ使用スルコトヨリ我々が享ケル福祉ニ對シテ評價サレルトキハ、即チ貨幣ノ主觀的の使用價值 (*subjektiver Gebrauch*)

chwert) カ成リ立ツノテアル。

貨幣ニ於ケル使用價值ト交換價值トノ一致、  
我々ハ上ノ様ニ一般商品ノ場合ニ倣ツテ、貨幣  
ノ使用價值ト交換價值トヲ區別シタノテアル  
ガ、然レニ貨幣ガ使用價值ハ、ソレガ使用サレル  
コトニヨツテ、他ノ商品ト交換サレルトイフ交  
換能力ニ存スルノデアルカラ、換言スレバ、貨  
幣ヲ使用スルトハ、他ノ商品ト貨幣トノ交換ヲ  
行フコトヲ云フノデアルカラ、貨幣ニ於イテハ、  
交換價值ト、使用價值トハ一致スルコトニナル。  
從ツテコレカ一致スル時ニハ、貨幣ノ客觀的價  
値トハ結局客觀的交換價值ヲ云フ、カクテ貨幣  
ニ於イテハ客觀的交換價值ト主觀的交換價值ガ、  
價值ノ主要ナル形態デアル。殊ニ重要ナルハ客觀  
的交換價值デアル。何故ナレバ、貨幣ヲ以テド  
レダケノ商品價值ヲ買ヒ得ルカトイフ評價ヨリ  
現實ニソレト交換サレル商品ガ幾何デアルカト  
イフ貨幣ノ有ツ交換能力ガ重要デアルカラ、貧  
乏人ニハ一日ノ食ハ高ク、金持ニハ低イガ、ソ  
レヲ以テ現實ニ買ヒ得ル品物ノ量ハ兩者共ニ同  
シテアル。

(200)

## 貨幣ト商品トノ差異

(1) 機能上 貨幣ノ本質ハソレガ、他ノ一  
般商品ノ交換媒介手段タルノ機能ニ存スルノデ  
アルニ反シテ、商品ハ結局ニ於イテ、欲望満足  
ノ爲メニ使用サレ、消費サレルトイフトコロニ  
目的ガアル。

(2) 價值理論上 一般財貨商品ノ價值ハ我  
々ノ欲望満足ニ對シテ、ソレト關係セシメラレ  
テ評價サレルニテアルガ、貨幣ノ主觀的價值ハ  
ソノ客觀的交換價值ヲ前提トシテ之ニヨリテ成  
立スル。即チ、貨幣ト一般財貨トノ、コノ價值  
理論上ノ差異ハ、(1)ニ述ベタ機能上ノ差異カラ  
當然來ルモノデアル。

(3) 請求權ノ性質上 貨幣ノ請求權ハ商品  
ノソレトハ異ル。普通ノ商品ノ場合デハ、ソノ  
請求權ヲイクラ増シテモ商品ソノモノガ増スト  
云フコトハナイ。即チ、パンニ對スル請求權ヲ  
イクラ増シテモ、パンソノモノガ増シタコトニ  
ハナラナイ。反之、貨幣ノ場合ハ、ソノ請求權  
ヲ増セバ、ソレダケ、貨幣ソノモノガ増スコト  
ニナル。紙幣ノ法律的解釈モコノカラ出テ來ル

(201)

ワケデアル。

貨幣ト商品トヲ比較シテミルト。普通ノ商品ニ於イテハ、ソレガドレダケニ賣ラレルカガ問題デアリ。ソレハ商品ノ客観的價值ヲ逆ツテ、主観的の使用價值ニ至ラネバナラナイ。反之、貨幣ノ場合ニハ主観的の交換價值、言ヒ換ヘレバ、貨幣ヲ以テ現実ニ物ヲ買フコトが出来ルカトイフコトヲ前提トシテキル。ソコニハスデニ客観的の事實ガアリ。ソレニ対シテ我々ノ主観的の判断ガ成リ立ツノデアアル。

商品ノ價值ハ、ソレガ有シテキル主観的の使用價值ニ至ラネバナラナイガ、貨幣ハ、商品ノ終局点デアアル。客観的の交換價值カラ出発スルノデアアル。貨幣ノ場合ニハ、交換能力ヲ選擇スルコトカラ、ソノ價值ガ判断サレル。然ラバ、貨幣ハ何故客観的の價值ヲ有ツカトイフコトハ貨幣論ノ重要ナ問題デアルゲ、ソノコトハ今措クトシテ、貨幣ト商品ノ場合ニハ、價值論ノ上ニコノ様ナ差異ガアルノデアアル。

## 第二節 價格ト貨幣價值

現代ノ經濟ハ交換經濟デアアル。自分ヲ作ツタモノヲ使フノデナク、使フモノハ他カラ買ヘラレタモノデナケレバナラス。ソレハ採奪ニヨツテハナク、一定ノ交換規律ニヨツテ興ヘラレルノデアアル。コ、ニ交換サレルモノノ間ニ交換比率ガ成リ立ツ。例ヘバ、米一升ニ對シテ、肉半斤ト云フ風ニ。コノ場合、肉ハ客観的の交換價值ヲ有スルト考ヘラレ。肉ノ一定量ガ、他ノ使フサレルモノニ對スル交換ノ能力ヲ有ツノデアアル。

トコロガ、現在ノ我々ハ商品對貨幣トイフ關係ヲ以テ交換ヲ行フ。即チ貨幣ヲ介シテ為ス迂回交換デアアル。從ツテ、商品ノ有ツ客観的の交換價值、他ノ商品ニ對シテ有ツ交換能力ハ貨幣ニヨツテ表示サレテキル。六ヒ換ヘレバ米ニ對スル肉ノ客観的の交換價值ハ貨幣ニヨツテ六ヒ表ハサレル。商品ガ貨幣ニヨツテ表ハサレルコトカラ、貨幣ノ表示スルモノハ客観的の交換價值トナルノデアアル。ソレハ價格 (Preis) トイフ觀念ニヨツテ表ハサレル。



トコロガ、コノ價格ガ上ツタトカ、下ツタト  
カ云フコトハ何ヲ意味スルカ。之ヲ以テ直チニ  
貨幣ノ價值ノ變化ト觀ルコトハ出來ナイ。價格  
ハ商品ノ客觀的交換價值ノ、貨幣ニヨツテ表示  
サレタモノデアラカラ、價格ガ變動スル場合ニ  
ハ、貨幣ノ側ノ變動ト、商品ノ側ノ變動トノ二  
ツノ場合ガ併セ考ヘラレル。

例ヘバ、帽子ガ10円カラ15円ニ昂ツタト  
スレバ、ソレガ、原料ヘノ需要ガ増シテ生産費  
ガ高クナツタコトニヨル場合モアリ。又、商品  
價值ノ變動ニヨラナイコトモアル。即チ、例ヘ  
バ流行ニヨツテ需要ノ側ノ變動ガオコリ、ソレガ  
商品價格ノ變化トシテ表ハレルト云フコトモアル。  
更ニ、商品ノ客觀的交換價值ノ變動ガ少シ  
クナイノニ、商品ノ價格ガ、10円カラ15円  
ニ上ルトイフコトモアル。ソレハ貨幣ノ側ノ變動  
ニヨルノデアル。トイフノハ價格トハ貨幣價  
値ニヨツテ表ハサレタ商品ノ客觀的交換價值ヲ  
アルカラ、コ、ニ表示トイフノハ丁度一定ノ標  
準ヲ以テ一定ノ長サヲ測ルト同ジデアル。測ラ  
レルモノノ客觀的長サニハ變化ガナクモ、  
測ルモノノ長サガ變化スレバ、ソノ表示ハ變化

スル。例ヘバ、コノ札ノ長サ自体ヲ延バスコト  
ニヨツテ、コノ札ノ長サトシテ表示サレルモノ  
ノヲ延バスコトガ出來ルガ、ソレハ商品ノ生産  
費ガ増シテ、商品自体ノ客觀的交換價值ガ増大  
スル場合ト同ジニ考ヘラレル。トコロガ、北方  
札ノ長サ自体ヲ延バサズニ、例ヘバ、3尺ノ札  
ヲソノマ、ニシテ、3尺5寸ノ札ニスルコトガ  
出來ル。ソレハ物差ノ標準ヲ変ヘルコトニヨツ  
テ行ハレル。タトヘバ、今マテノ尺ヲ四尺ニ  
変ヘルトイフ風ニ、札ト物差トノ關係ハ丁度商  
品ト貨幣トノ關係デアル。

カクノ如ク、價格ハ、貨幣ノ面ト商品ノ面ト  
ヲ有ツノデアラカラ、價格ノ變動モソノ面ト  
ヲ觀ナケレバナラヌ。

### 第三節 物 價

#### — 物價指數 —

モウ一ツ考ヘネバナラヌハ、物價トイフコト  
デアル。ソレハ種々ノ商品ノ價格ヲ綜合シテ  
相対サレタモノデアルト云ハレル。公ソテ、帽  
子マ米ガ上ツタカヲ云フテ、物價ガ上ツタト

ハ云ヘナイ。ソレ故物價ト云フ、ハ概念的、相  
象的ナモノデアアル。

物價ハ総合的觀念デアラナラバ、價格ノモツ  
ニ面ガ考ヘラレヌベナラス。然シユノ両面ヘノ  
全般ニ対スル影響ヲ考ヘルト、物價ハ價格ノ綜  
合觀念デアルカラ、例ヘバ物價騰貴ヲ惹キ起ス  
クメニハ、一方商品側ノ面ニ於ケル原因ガナク  
テハナラス。Aノ商品ハ生産費ノ昂騰、乃至需  
要ノ増大、トイフ風ニ、他方貨幣ノ側ノ原因ガ  
考ヘラレヌベナラス。

トコロガ、物價問題ハ、普通ニハ貨幣問題デ  
アル。トイフノハ、商品側ノ問題ハ個別的デア  
ルノニ、貨幣側ノソレハ一般的、全般的デア  
ルカラデアアル。

例ヘバ、物價ヲ下ゲルトスルナラバ、コノ場  
合、先ツ商品側ノ物價ノ変動ノ原因トナツテ  
キルモノヲ下ゲルコトガ考ヘラレル。商品ノ生  
産費ノ低下、合理化等ニヨツテ、アル商品ノ價  
格ハ下ゲラレル。トコロガ、Aバカリデナク、  
BモDモトイフ様ニ、商品全般ノ價格ガ下ゲラ  
レヌベナラス。ソウテナイト物價ヲ下ゲタユト  
ニナラナイ。即チ、各商品ノ特殊性ニヨツテ、

夫々ノ方策ヲ以テ、物價ヲ下ゲナケレバナラス。  
デ、アルカラ、コノ方策ハ個々のデアリ、複雑  
デアアル。

對之、價格問題ヲ貨幣問題トシテ取リ上げレ  
バドウナルカ。

價格ハ客観的交換價值ヲ貨幣價值ニヨリ、表  
示シタモノデアアル。即チ  $P_1, P_2, \dots$  カラ個  
々ノ商品ノ價格  $C_1, C_2, \dots$  ノ商品價值  
 $m$ ヲ貨幣價值トスレバ、

$$P_1 = \frac{C_1}{m}, \quad P_2 = \frac{C_2}{m}, \quad \dots \quad P_n = \frac{C_n}{m} \quad \text{デ}$$

アル。而シテ物價ハ價格ノ総合デアアル故、

$P_1, \dots, P_n$ ノ列ヲ以テ表ハサレル。

$m$ ハ夫々ノ物價表示ニオイテ共通大イサデア  
ル故、コノ系列ニオイテ、貨幣價值ヲ上げ下ゲ  
スルト、ソノ影響ハ全般的デアアル。即チ、物價  
問題ハ之ヲ貨幣問題トシテ解決スルトキハ、極  
メテ容易デアリ、便利デアアル。理由ガコトニ存  
スル、サレバ、インフレーションヲ起セバ、物  
價ハ上リ、ソノ反対ヲ行ヘバ、物價ハ下ル。

#### 物價指數

トコロデ、物價ハ概念的、概念的ナモノデア

ルナリ、之ヲ何トカ具体的ノモノトシテ表ハサ  
ナケレバナラス。ソノ手段ガ物價指數 (Index  
Number of prices) デアル。即チアル一  
定時期ノ物價ヲ基礎トシテ、ソノ前後ノ物價ヲ  
百分比ヲ以テ表ハスノデアル。之ニヨツテ物價  
ノ上下ノ傾向ヲ一定ノ標準ニ基イテ知ルコトガ  
出来ル。

然シ、スベテノ商品ノ價格ヲ綜合スルコトハ  
困難ナルカラ 代表的ノ商品ガ、ソノウケカ  
ヲ選ハレ、之ニヨツテ物價ノ傾向ヲ大体ニオイ  
テ示ルノデアル。從ツテカクシテ計算サレタ物  
價指數ノ上下ガ正確ニ貨幣價值ノ上下ノ程度ヲ  
表示スルノデナイカラ。代表タルベキ商品ノ選  
取ニハ慎重ナ手續ニカ要ルノデアル。非常ニ多  
クノ商品ヲ採ル場合ニハ、個々ノ特殊性ハ相  
殺サレ、流行品デアルトカ、需要カ増シタトカ  
ニヨル商品價格ノ昂騰或ハ他ノ商品ガ、スタレ  
タリ、需要ニ減少ニヨル價格低落等ハ大體的ニ觀  
察サレタルトキハ相殺サレレ。從ツテ、物價指  
數ニ表ハサレル價格上下ノ原因ハ 又貨幣ノ側  
ノ原因トシテ考ヘルコトガ出来ルワケデアル。  
即チ貨幣ガ變化スレバ、商品價格ハソノ影響ヲ

一様ニウケル。

尚、物價指數ノ作成ニツイテハ次ノ標ナ事項  
ニツイテ注意シナケレバナラス。

- (1) 計算ノ基礎タル商品ノ選択。
- (2) 商品ノ價格ノ種類。種々ナル理由カラ、  
コノデハ卸賣相場ガ基礎トサレル。
- (3) 平均數ノ計算方法。一般ニハ算術平均方  
法ガ用ヒラレル。
- (4) 商品ニ付、「重要サ」(Importance)  
ヲ附スル場合、單純ナル算術平均デハ個々  
ノ商品ノ全般ノ商品量中ニ占メル位置ノ重  
要サガ無視サレルノデ、コノ欠點ヲ補フタ  
メニ加重平均方法カトラレル。
- (5) 基準年ノ決定方法。
- (6) 商品價格ノ種類ト採取ノ時期。

#### 第四節 貨幣ノ対内價值ト 対外價值

貨幣ノ價值トイフノハ、結局貨幣ノ商品ニ対  
スル購買力ヲ云フノデアルガ、コノ貨幣ガ国内ニ  
於イテ有スル購買カト、外國貨幣ニ對シテ有ス

ル交換能力ニヨリテ、貨幣價值ハニツノ面ニ區別サレルワケデアル。

普通ニ貨幣ノ價值、即チ購買力ハ国内商品ニ対スル購買力ヲ指シテ云ハレルガ、外国貨幣ニ対スル側面ト區別スルトキハ、貨幣ノ対内價值デアリ、之ハ物價ニヨツテ表示サレル。

今日ノ經濟ハ世界經濟デアルカラ、一國民ノ經濟モ決シテ封鎖的、孤立的デアルコトハ出来ナイ。ソレデ、国内ニ流通スル貨幣ハ対内價值ヲ有スルト同時ニ必ズ、ソノ対外價值ヲ有タナケレバナラナイ。即チ、諸國民ノ間ノ經濟交通カラ、價格債務ノ關係、彼ツテ支拂關係が生ズル。コノ場合、一國ノ貨幣ハ、外国貨幣ニ対シテ一定ノ價值關係ヲ有ツコトニナリ、コトニ貨幣價值ハ対外價值トシテ表ハサレルノデアル。

而シテ、國際間ノ支拂交替ハ外國為替ニヨツテ行ハレル故、事實上一國ノ貨幣ノ対外價值ハ対外為替相場トナツテ現ハレル。

然シ、コノ対外為替相場が必ズシモ貨幣ノ対外價值ヲ正確ニ表ハサナイ。トイフノハ為替相場ハ、投機、先見越ニヨツテ変動スルカラデア

ル。

貨幣ノ対内対外價值ハ以上ノ概ニ區別サレルガ、然シ二者ハ決シテ、バラバラナ、相互ニ無關係ト動キ方ヲスルモノテハナイ。双方が互ニ無關係ナラバ、問題ハ頗ル簡單デアル。一方ノ價值ノ上下ハ必ズ他方ノ上下ニ影響スルモノデアルカラ、物價安定政策が、唯貨幣ノ対内價值安定ニノミカキルトモハ完全ナル效果ヲ發揮サセルコトハ出来ナイノデアル。

## 第二章 為替相場 (対外價值)

### 第一節 為替ト外國貨幣

貨幣が対内及ビ対外ノニツノ價值ヲモツコトハ前述ノ通りデアル。而シテ対内價值ハ国内商品ニ対スル購買力デアリ、之ハ物價ニ表ハサレル。対外價值ハ人々ニヨツテ意義ヲ異ニスルガ、外国貨幣ニ対スル購買力ト云ツテヨイ。ソレハ為替相場ニ表ハサレル。ソレハ又將來ニ対スル豫想々、金利ノ關係ニヨツテモ上下スル。

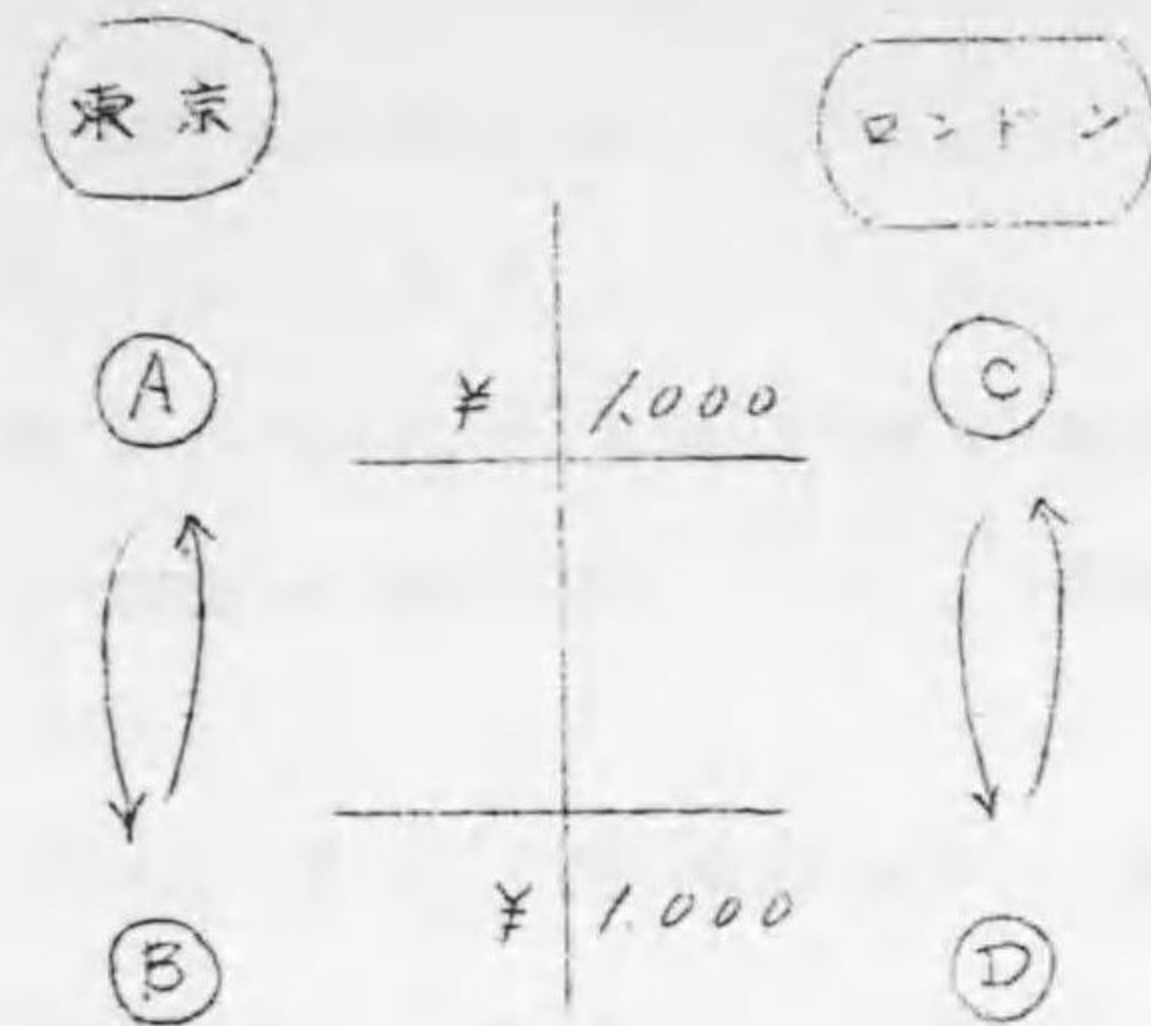
國際間ノ貸借ノ決済ハ爲替手形ニヨル外、金地金、金貨ノ現送々、有價証券等ニヨツテモ、行ハレルガ、一般ニ、現在行ハレル方法ハ之迄ニモ度々述べタ様ニ爲替手形デア、從ツテ外國ニ支拂ヒヲスル者ハ、外國爲替手形ヲ購入スルガ故ニ、外國貨幣ト自國貨幣トノ價值關係ガ結局外國爲替手形ノ價格、即チ外國爲替相場トナツテ現ハレルノデア、

### 第ニ節 外國爲替ノ意義

法律的ニ定義スレバ、爲替 (Bill of Exchange, Wechsel) ハ振出人甲ガ支拂人乙ニ對シテ受取人丙又ハソノ指図人ニ一定金額ノ支拂ヲ命ズル指図証券ト云フコトデア、ケ、然シソノ、經濟的意義ヲ尙顯ニスルナラ、勿論カウイフダケテハ不充分デア、

爲替ハ貨幣ニヨル交換經濟ガ相当ニ發達シタトコロデハ、カナリ古クカラ行ハレタモノデ、西洋ノミナラズ、日本ニモ既ニ徳川時代ノ初、ニ大阪、江デノ商人ノ間デハ現金輸送ニヨラサル債權債務ノ決済方法トシテ一般ニ用ヒラレテ

オクノデア、外國爲替ノ場合ヲ考ヘテミルトソノ原理ハマハリ同様デア、



例ヘバ、東京ノAガロンドンノCニ對シテ1,000円ノ債務ヲ負ヒ、一方、ロンドンノDガ東京ノBニ對シテ1,000円ノ債務ヲ負ツテホルトスル。コノ場合、先ヅニソノ債務ノ決済ハA、C及ビB、D間ニ別ニ行ハレルノガ原則デア、ウガ、若シコレヲ現實ニ行フニハ、東京、ロンドン間ニ二重ノ現金輸送ヲ以テセヌバナラナイ、之ハ種々ノ点カラ煩雜デア、不便デア、ルカラソレヲ除クコトガ当然考ヘラレル。即チ東京ノAナル債務者ハソノ債務額1,000円ヲロンドンノCニ支拂フ代リニ、東京ノBニ支拂ヒ、ソノ

代償トシテ ロンドンノ Dニ対シテ、同地ノ C又ハソノ指図人ニ、7,000円ヲ支拂フベシトイフ支拂命令書ヲ作ラセル。之ニヨツテ、Aハ同地ノ Bカラ、Bガロンドンノ Dニ対シテ有ツ債権ヲ買ヒ取ルコトニナル。而シテAハCノ支拂命令書即チCノ為替手形ヲロンドンノ Cニ送付シテ、Cヲシテ同地ノ Dカラ債務額ヲ受取ラセルノデアル。

然シ、國際間ノ債権債務額ハ必ズシモ一致シテキナイコトハ勿論デアルカラ、Cノ為替手形ニヨル決済ハ為替銀行ノ業務ヲ通ジテ行ハレルノデアル。

以上ノ操作ニヨツテ、實地間ニ於ケル債権債務決済ガ極メテ合理的ニ行ハレルノデアル。

### 第三節 為替相場ノ決定

ソレテハ、為替相場即チ外國為替手形ノ値段ハイカニシテ定マルカ。ソノ決定ハ國際貸借關係ガ前提トナルノデアル。

## 第一項 國際貸借

(International Indebtness)

先ヅ國際貸借關係ノ成立スル各國ノ本位制度ヲ考ヘナケレバナラナイガ、之マデノ貨幣制度トシテ 1925年カラ 32年マデ金本位制ニヨツテ採用サレテ未ダ金本位制ガ、最終ノモノデ之ヲ極限ト考ヘルコトガ出来ル。

國際貸借トハ、一國ヲ中心トシテ、ソノ國ノ金ノ出入スル關係ヲ云フノデアル。然ラバ、國際貸借ニ於ケル「貸シ」トハ如何ナルコトヲ意味スルカ。ソレハ性質ソ如何ヲ向ハズ、ソノ國ニ金貨幣ガ入ツテ来ルコトヲ云ヒ、逆ニ「借リ」トハ、ソノ國カラ金貨幣ノ流出スルコトヲ、總称スルノデアル。従ツテ外債ノ募集ニ應ジテ、債権國トナツタ國カラ金貨幣ガ出テ行ク場合デモソレハ「借リ」ト称セラレル。故ニ、通常ノ貸借概念ト國際貸借ノ概念トハ區別サレル。

### 國際貸借ノ起因

ソレテハ國際貸借ハ何ヲ起因トシテキルカ。

ソレニハ次ノ様ナ諸原因ヲ挙ゲルコトガ出来ル。

(1) 貿易上ノ収支 (輸出 輸入)

輸入ハ借方ノ 輸出ハ貸方ノ 起因トナル。

(2) 貿易外ノ収支

之ハ國ノ経済事情ニヨツテ異ナリ、例ヘバ、観光事業、或ヒハ海運事業ガ、コノ種類ノ収支ノ重要ナ原因デアルコトモアル。

(A) 経常的原因

(1) 海運関係収支。コノ内容ヲナスモノハ貨物運賃、旅客運賃、備船料等デアソテ、自國船ニテ外國貨物ヲ運搬スルトキハ收入トナリ、外國船ニ運搬ヲ依頼スルトキハ支出トナル。

(2) 保険関係収支。外國保険会社トノ間ノ保険料、保険金ノ支拂ヒモ國際貸借ノ原因デアル。之ハ國ニヨツテハ相当ナ大キナ額ニ上ル。

(3) 海外事業関係収支。自國人ノ海外ニ於ケル事業ノ収益又ハ出稼人ノ自國ヘノ送金ハ貸方ノ原因デアリ。自國內ニ於ケル外國人ノ事業利益、勞務收入、ノソノ本國ヘノ送金ハ借方ノ原因トナル。

(4) 有價証券ノ賣買

(5) 証券ノ利子、配当ノ支拂

(6) 金利ノ高低ニヨツテ左右サレル資金

ノ移動

(1) 海外公館 並ビニ旅行者ノ消費

(2) 手数料、口銭ノ収支

(B) 臨時的な原因

(1) 公債募集、投資関係收入

元来ノ性質ハ貸金トナルモノガ、借方ノ原因トナリ、借金トナルモノガ、貸方ノ原因トナル。

(2) 賠償金

(3) 戦争関係費用

以上ニアゲテ諸原因ニヨツテ、國際貸借ハ決定サレルノデアルガ、コノ貸借関係ニオケル借方、貸方ノ何レカ大トナルニ依ツテ、為替相場ガ変動スルノデアル。即チ、貸方ガ増スト、貨幣ノ對外價值ト、為替相場ト上ル、反之、支拂勘定ガ赤字トナリ、借方ガ増スト、外國手形ニ対スル需要が多クナリ、自國ノ對外價值ト為替相場ハ下ル。一ポンドノ手形ガ 10円デアツタモノガ、10円50銭デナケレバ買フコトガ出来ナクナル。

要之、貨幣ノ對外價值ハ、國際貸借ノ如何ニヨツテ変化スルモノデアツテ、貸方ノ増加ハ、

対外價值ノ騰貴トナリ 借方ノ増加ハ対外價值ノ下落トナツテ現ハレル。

然シ、コノ問題ハ片付ケガ、一體トノ程度ニソレハ上下スルノカ。無秩序ニ変動スルノテハ勿論ナイノデアツテ、金本位國相互間デハニツノ制限ヲ受ケルノデアアル。即チ、(1) 法定平價、(2) 正貨輸送点、(1)ハ変動ガ一定ノ基準ヲ中心トシテ行ハレルコトヲ意味スル。然シ上下ガ大キクナレバ、コノ基準ノ利用價值ハ大シテナイ。コノ上り下りノ制限ガ他ニアル。即チ、イクラ上ツテモ、又イクラ下ツテモ、ソレ以上ニハ上ラズ、ソレ以下ニハ下ラナイトイフ制限ガアル。ソレハ(2)ノ正貨輸送点デアアル。換言スレバ、変動ノ中心ハ(1)デアリ、変動ノ幅ヲ決定スルモノハ(2)デアアル。

## 第二項 法定平價

法定平價ノ意義、法定平價 (*Mint par*) トハ、各國ノ貨幣法ノヨツテ規定サレル貨幣單位ノ有ツ素材價值 (= 純分) ノ比率ヲ云フ。

例ヲ以テ示スト、我國ノ貨幣法第二條ニヨル

(218)

ト「純金ノ量目 750 ミリグラムヲ以テ價格ノ單位トナシ、之ヲ四ト稱ス」トアル。英債ノポンドノ貨幣法上ノ金ノ量目ハ標準金 (12 分 1/10 名位) 123 グレーン 2744 ニ相当スル。従ツテ、之ニヨツテ、両貨幣ヲ純金トイフ共通ノ標準ニヨツテ、ソノ價值ヲ比較スルコトガ出來ル。標準金 (*standard gold*) ト純金 (*pure gold*) トハ異ル。標準金ノ純分ヲ計算スレバ、純金ノ値ガ出ルノデアアル。法定平價ハ純分ニヨツテ定マル。平價切下ケノ場合ハ別デアアル。

コノ法定平價ハ為替相場ノ上デハ極メテ重要ナル意義ヲ有ツモノデ、金本位國向ノ為替相場ハスベテ之ヲ中心トシテ変動スルノデアアル。ト云フハ外國為替ハ元來金ノ現送ヲ省ク手續便法デアアルカラ、ソノ相場ハコノ標準相場タル兩國向ノ法定平價ヲ基準トスルコトハ勿論デアアル。

金本位國ト銀本位國同ノ法定平價ハ始終変動スル。即チ、平價ハコノ場合ニハ標準トシテノ用ヲ為サナイ。ツマリ異フタ *standard* 1 國ノ同テハ法定平價ハ存シナイノデアアル。

(219)



### 第三項 正貨輸送点

元来カゴ云フト、外國ニ支拂ヲスル人ハ以上ノ法定平價ノ比例ヲ支拂ハバヨイ。ノポントヲ支拂フ人ハ、9円76銭3厘ノ金ヲ送レバ、英國ノ受取人ハ、9円76銭3厘ヲ以テ金貨ニシテ貰ヘバ、丁度ノポントナルカラデアル。故ニ之ガ為替計算ノ支拂關係ノ一極ノ基礎トナツテホル。

トコロガ英國デ、手取シタトキハ、9円76銭3厘デアレバヨイノデアルガ、日本デハソノ額ダケデハ足リナイ、即チ更ニ荷造費、運賃、保険料、手数料等ヲ之ニ加ヘテ支拂ハナケレバ、ノポントノ支拂ヲ済マヌコトハ出来ナイ。

$$\begin{aligned} \text{主ノ} &= (\text{法定平價}) + \{ (\text{荷造費}) + (\text{運賃}) + \\ & \quad (\text{保険料}) + (\text{手数料}) + (\text{金利}) \} \\ &= (\text{法定平價}) + (\text{輸送費}) \end{aligned}$$

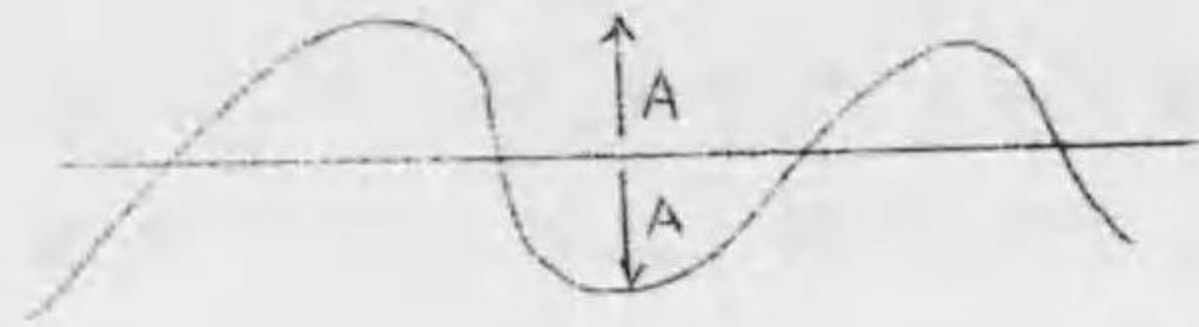
從ツテ、ノ費用ガ重要ニナツテ来ル。如ガコノ荷造費ハ通幣ノ場合一定シテホル。

運賃モ、戦争デモ起ツテ、輸送航路ガ危険デアルトキハ高フナルガ、普通ニハ一定シテホル。

保険料モ、手数料モ、金利モ夫々一定シテホル。故ニ費用項目ハ一定期間中ニハ確定シテホル。ニヲムトスレバ、コノAヲ現送費ト云ヒ、總額ノ何%ニ当ルカト云フ見当ハツク。從ツテ、コノ若シ(法定平價+A)以上ニ為替相場ガ変動シタナラバ、實際ニ金ヲ現送スル人々ガ出テ来ル。カクシテ為替変動ニハ上限カ存在スル。

又為替相場ガ安クナツタ時モ、ソレニハ一定ノ限度ガ存スル。若シ(法定平價-A)以下ニ為替相場ガ下リクナラバ、例ハバ、日本ニ英國宛ノ為替手形ヲ賣ル人ガ居ナクナル。ノポント為替手形ヲ英國ニ送り、英國デ、ソレト引換ヘニ *bill* ヲ買セ、ソレヲ日本ニ送ツテ貰ツテ始メテノポントナル。如ガ9円76銭3厘カラAヲ差引イテ考ヘヌバナラヌ。今Aニ等ノトスレバ、手取りハ、8円76銭3厘トナル。今8円76銭3厘以下ニナツタトスルト、手形ヲ賣ル人ハ居ナクナル。8円トナツタトスルト、日本デハ英國宛ノ手形ヲ賣ラズニ、ソレヲ英國ニ送り、先方カラ金ニ替ヘテ、ソノ金ヲ送ラセレバ、現送費ヲ差引イテモ尚、8円76銭3厘トナツテ、86銭3厘ダケ儲ケルコトニナル。故

ニ為替相場ハ安クナソテモ、ソレニハ限界ガ存  
スルノデアル。



之ヲ正貨輸出点 (gold point) トイフ。  
而シテ上限ヲ正貨輸出点 (goldausfuhr-  
punkt) 下限ヲ正貨輸入点 (goldein-  
fuhrpunkt) トイフ。

### 第三章 本位制度ト為替相場

以上ニ述ベタトコロハ金本位國相互間ニ於ケル  
為替相場変動ニ関スルモノデアルガ、本位ヲ  
異ニスル國ノ間ノ為替ハドウイフ変動ヲ示スカ  
ヲ考ヘテ見ネバナラヌ。

#### 第一節 金本位國對銀本位國

例ヘバ、(金本位停止以前ノ) 日本ト中華民

國トノ間ノ如キ金本位國ト銀本位國トノ間ノ為  
替相場ハ金銀比價ニヨツテ決定サレルノデアル。  
假リニ銀價ガ下落スルモノトスレバ、コノ時ニ  
ハ金本位國ニ於ケル銀本位國宛ノ銀為替手形ノ  
價格ハ下落シ、反対ニ銀價ガ騰貴シタ場合ニハ  
銀為替手形ノ價格ハ騰貴スル。即チ、銀為替手  
形價格ノ高低ノ程度ハ銀價ノ高低即チ金銀比價  
変動ノ程度ニ一致スルモノデアル。従ツテ前ニ  
モ述ベタ様ニ、コノ兩國間ニ本位貨ノ法定比價  
ト云フモノハ成リ立タナイノデアル。勿論銀相  
場ト金本位國ニ於ケル銀本位國宛ノ銀為替手形  
ノ價格間ニハ多少ノ差ハ出テ来ル。然シソノ動  
キハ常ニ双方程度ヲ同ジクスル。

若シ銀價ガ下落シテモ、銀為替手形ガ同様ノ  
程度ニ下落シナイ場合ニハ金本位國ニテハ銀為  
替ノ需要ガナク、銀地金ヲ以テ銀本位國ニ対ス  
ル支拂ガ行ハレルデアラウ。ソレハ、銀地金ニ  
ヨル支拂ノ方が有利デアルカラデアル。反之、  
銀相場ガ騰貴シテモ、銀為替ノ騰貴ガ之ニ伴ハ  
ナイ場合ハ人々ハ先ヅ銀為替ヲ買込ミ、之ヲ銀  
本位國ニ送ツテ銀本位貨ニ換ヘ、ソノ銀本位貨  
ヲ銀地金トシテ昂騰セル金銀比價ニヨツテ賣却

シテ、金ニ代ヘル時ハ、最初 銀為替ヲ購入シ  
タ時ニ買シタヨリモ以上ノ金ヲ取得シテ利益ヲ  
得ルコトナル。

### 第二節 紙幣本位國ニ 於ケル為替相場

不換紙幣ノミノ流通スル所謂元金ノ紙幣國並  
ビニ金本位國ガ金兌換又ハ金輸出ヲ禁止シテ、  
金本位ヲ離脱シタ後ノ、事實上ノ紙幣國ニ於ケ  
ル為替相場ハ金ノ國際貸借ノ關係ニヨツテ変動  
スルモノデアツテ、何等他ノ制限ヲ受ケルモノ  
デハナイ。即チ、法定平價ヲ中心トシテ、上下  
ニ正貨輸送点、正貨輸入点ノ間ヲ動クトイフコ  
トハナイ。法定平價ハ貨幣法ノ変北シナイ限リ  
計算出來ル。従ツテ不換紙幣國デモ金本位カラ  
ノ離脱國ナラバ、ソノ法定平價ハ計算出來ル。  
之ハ計算シテモ、ソノ目的ハ何等違セラレナイ。  
即チ、ソノ法定平價ハ何等基準トハナラナイノ  
デアル。何トナレバ、為替手形以外ニ支拂方法  
カナイカラデアル。

又正貨現送点モ計算ハ出來ル。然シ現實ニ金

ヲ輸出スルコトハ出來ナイカラ、或ル為替相場  
ガ、正常ノ現送点ヲ越エテモ、ソノ変動ガ、現  
送点ニヨツテ左右サレルトイフコトハナイ。故  
ニコノ場合ノ為替相場ハ唯國際貸借ノ關係ヲ決  
定サレ、従ツテ為替手形ノ需給ニヨツテ、相場  
ガ上下スルノデアリ、他ニ何等ノ制限ガ加ハラ  
ナイ、デアルカラ大幅ノ変動モ起キテ來ルワケ  
デアル。今日ノ日本ノ對米為替ガ49兩ノ標準  
カラ29兩ニ下ツテキル様ニ。

### 第三節 両本位國

両本位國ナルモノハ現在デハナクナツテキル  
ガ、米國ガソノ所有シテキル銀ノ処分方法ノ如  
何ニヨリ或ハ両本位國ニナルカトモ思ハレルカ  
ラ、一應考ヘテ見ナケレバナラス。

然シ、完全ノ両本位國トナルコトノ不可能ハ  
前述シタ如クデアルカラ、銀價ガ下落スルト、  
銀本位國ト同ジ様ニナリ、金價ガ(銀價ニ比シ  
テ)下落スルト銀本位國ト同ジ様ニナツテ來ル。  
従ツテ何レカニナルカラ、為替相場ノ変動ハ、  
前述ノ何レカノ場合ニ従フワケデアル。

## 第四章 為替ニ關スル理論

### 第一節 購買力平價説

購買力平價説 (Theory of purchasing power parity) ハスエーデンノストツクホルム大學教授、グスタフ、カツセル (G. Cassel) ニヨツテ為替相場決定ノ理論トシテ唱ヘラレタモノデアル。彼ハコノ説ヲ歐洲大戰ノ最中發表シタ。(1916年)。彼ノ説ハ歐洲大戰が始ツテカラノ事實ヲ根據トシテキル。即チ大戰が始マルト、各國ハ金本位ヲ停止シテ不換紙幣國トナリ、金輸出ノ禁止ト共ニ法定平價ガナクナツタ。從ツテ gold point ヲ越シテ為替相場ハ変動スル様ニナツタ。

為替ノ変動ガカク乱調子ニナルト、豫メソノ変動ヲ知ルコトガ出来ナイカト云フコトガ考ヘラレル。對外價值ヲ規定スル理論ガ求メラレタ。即チ金ト云フモノト、為替相場ガ關係ガナクナレバ、對外價值ハ何カ他ノモノヲ標準トセズベナラス。國際貨幣説ハ對外價值ソノモノニ對外

價值決定ノ原因ヲ求メテキル。カツセルハコノ對外價值変動ノ原因ヲ他ノ方向ニ求メ、之ヲ割約スルモノヲ考ヘヨウトシタ。ソコデ、考ヘ及ンダノガ、對外價值ト對内價值トノ關係デアル。對外價值ソノモノノ中ニソノ変動ノ原因ヲ求メルナラ、對外價值ノ変動ガドコデ止マルカラ定メルコトハ出来ナイカラ、對内價值ノ変動ノ止マルトコロ 對外價值ノ変動モ止マルトスルノデアル。彼ニヨレバ、一國內ニオイテ外國貨幣ヲ求メルコトハ外國ノ商品ニ對スル需要デアル。對内價值ト對外價值トハ同様ニ決定ト變動トヲ行フ。コノ兩者ガ前提トスルトコロハ、兩者ノ適當ナ平均状態ニアルコトデアル。コノ場合ニハ兩者ノ價值ハ為替相場ニ何非影響シナイ。コノ様ナ balance ノトレタ状態ヲ一ツノ國ト他ノ國トニ考ヘル。例ヘバ或ル一定時期ニ日本トアメリカニ於ケルカ、ル状態ヲ示シタ物價ヲ考ヘ、之ヲ平價計算ノ基準トスル。コノ基準ノ時ニ兩國ノ間ニ成立シタ為替相場ヲトル。コノ時ニ於ケル兩國ノ物價ヲ簡單ノタメニ 100 トスレバ、ソレヨリ 1 年経タ後ノ物價ガ、日本デハ 500、アメリカデハ 200 トナツタトスレバ、

日本ノ貨幣ノ対内價值ハ  $\frac{1}{5}$ ニ下リ、アメリカノ  
ソレハ  $\frac{1}{2}$ トナツタワケデアル。購買力平價ハ  
即チ 為替相場ガ、日本トアメリカトノ間ニ、  
1:2トイフ割合ガ維持サレ得ナイ場合ニ用ヒ  
ラレルモノデ、200:500トイフノガ、コノ西  
者ノ貨幣ノ購買力ノ比例デアル。コノ比例ヲ  
1:2ノ割合ニ換ケ合ハセテ、新タニ購買力平  
價ガ算出サレルノデアル。即チ 100円ニ対スル  
50ドルハ、100円ニ対スル 20ドルトナルワ  
ケデアル。

實際ノ場合ハドウデアルカ。コノ計算假トノ  
間ニハ多カレ、少カレ開キガ生ズル。然レ、大  
体之ヲ中心ニシテ近ヅクモノト考ヘラレル。

概括的ニ云フト、コノ説ノ賛成者ハアメリカ、  
イギリスニ多ク、ドイツニハ反対者ガ多イ。平  
價計算ノ仕方ハ彼ノ著 "Money and Foreign  
Exchange after 1914" 1922ニ述ベラ  
レテキル。コノ理論ノ前提、一ハ対内價值ガ対  
外價值ニ影響ヲ及ボストイフコト、即チ、前者  
ノ変動ニ対シテ、ソレト同様ニ後者ノ変動ガ相  
應スルトイフコト、モウ一ツハ国内ノ貨幣ガ多  
クナレバ、貨幣價值ハ下ルトイフ貨幣数量説的

考ヘ方デアル。

### 批判

以エノカツセルノ理論ハ為替相場決定ノ理論  
トシテハ一面的ダト私ハ考ヘル。國際貨幣説ハ  
為替相場ノ決定ノ原因ヲ対外價值ソノモノニ求  
メテキル。ソレハ、例ヘバ、甲乙相互ノ行動ニ  
ツイテ、甲ノ行動ノ原因ヲ甲ノ性質ニ基クト考  
ヘル様ナモノデアル。トコロガ購買力平價説ハ  
甲ノ行動ハ、仲良ク行動スル乙ノ性質ニ基クト  
スルノデアル。乙ノ説ノ出タトコロハ國際貨幣  
ノ中ニ為替相場ノ決定原因ヲ求ムヨウトスル説  
ニ反対スルコトニ存シタノデアルガ、他方対外  
價值ガ対内價值ニ影響スル場合、即チ為替相場  
変動ニヨル物價変動ノ場合ヲ問題ニシテキナイ。  
然ツテ対内價值ガドノ程度ニ又、ドノ範圍ニ対  
外價值ニ影響スルカトイフコトヲ見ヨウトスル  
場合ニハ、コノ説ニヨルコトガ出キル。實際ノ  
場合ヲ見レバ、計算ノ結果ト現実ノ変動トノ間  
ニハ開キガアル。為替相場ノ方が物價ヲリード  
スル場合モアル。デアルカラ為替相場ガ安定ニ  
テキルトキ、物價ノ方が先ニ変動スル様ナ場合

後者ノ影響ガ前者ニシテイフ風ニ及ブカトイフ  
コトヲ見ルツメニコノ説ニヨツテ大体ノ見當カ  
付ケラレルワケテアル。

## 第二節 為替心理説

國際貸借説ハ戦前ニ於イテ、戦争終了後ニハ  
購買力平價説ガ、為替相場決定理論トシテ主張  
サレタノデアアルガ、其ノ後各國ノ為替相場ガ暴  
落スル事實ニ鑑ミテ、以上ノ説ヲ批判シツツ為  
替心理説 (*Theorie psychologique du*  
*change*) ガ新タニ打更テラレタ。コノ説ノ代  
表者ハパリ大学教授アフタリヨン (*Albert*  
*Aftalion*) テ、彼ハコノ説ヲ "*monnaie*  
*Prixet change*" 1927, ニヨツテ極メテ詳  
細ニ発表シタ。主観的ナ考ヘ方ニ立ツテアルモ  
ノデ、先ツ今迄ノ為替相場ノ理論ハ、色々ナ要  
素ノウチ唯一ツノモノヲ一方的ニ強調シタトコ  
ロニ欠点カアツタト批判シテアル。

彼ニヨレバ、國際貸借説ハ為替相場ノ決定要  
素トシテ、貸借差額トイフ單一ノ量的要素ノミ  
ヲ取リエテ他ノ一切ノ量的要素、例ハ、資本

逃避率ノ重要ナル要素ヲ無視シテキルコト、又、  
量的要素ノミヲ見テ、質的要素ヲ度外視シテキ  
ルトコロニ欠陥ガアル。

又、購買力平價説ハ前者トハ反対ニ質的要素  
ノミヲ見テ、量的要素ヲ看過シテキルトイフ。  
質的要素ヲノミ見ルトシテモ、コノ説ノ様ニ購  
買力ナル單一ノ為替ノ性質ニノミ限ツテハナラ  
ナイ。ソノ外ニ尚負債、為替投機、資本逃避等  
ヲ挙ゲルノデアアルカラ、コノ説モ一面的デア  
ルト云ハスベナラス。

次ニ彼ハ積極的ニ自説ヲ主張スルノデアアルガ、  
為替相場トイフモノハ、第一ニ個人的ナ評價力  
カラ成リ立ツモノトシテ考ヘラレネバナラヌト  
スル。之ハ謂ハバ、ウィーゼル (*Wieser*) 的  
ナ主観的説デアアル。然シ、個人的ナ評價ハ如何  
ニシテ為サレルカ、ソレニハ質的、量的ノニツ  
ノ方面カラ考ヘテ行カネバナラス。外貨ノ價值  
トハ、外貨ニヨツテ得ラレル満足、即チ、例ヘ  
バ、ドルニ対スル期待ノ結果デアアル。一般ニ物  
ノ價值ノ基礎トシテ認メラレルモノハ、我々個  
々人ガ、我々ノ使用シ得ル最終單位ニ與ヘル重  
要度デアアル。カ、ル重要度ハ單位數ノ増加ト共

ニ波バルカラニツノ要素、即チ、量的及ヒ質的  
ノ要素ニ依存スルコトニナル。

(1) 量的ノモノハ我々ノ使用シ得ル商品ノ大  
ナリ小ナリノ分量デアリ、ソノ稀少性デアル。

(2) 質的ノモノハソノ特性ニ依ヒ、我々個人  
ニトツテソノ最終單位ガ示シ得ル效用デアル。  
量的要素ト質的要素トハ最終效用ノ觀念ニオイ  
テ互ヒニ結合スル。

(説明) アフタリヨン「貨幣、物價、為替論」

松岡孝兒訳、8. 202 (説明終)。

以上ガ第一段ノ理論デアツテ、コトニオイテ、  
各人ノ個人的評價ガ成リ立ツ。ソレハ各個ニ異  
ルデアルガ、之等ガ市場ニ集マリ、一ツノ評  
價ニ綜合サレテ社会的評價ガ出来上ル。為替相  
場モ、カナル個人的評價ガ綜合サレタトコロニ  
成リエツノデアル。外貨ヲ買ハウトスレバ、外  
貨ニ対スル需要曲線ガ描カレル。対之、外貨ヲ  
賣ラウトスル人々カラ、供給トイフ一定ノ数量  
ガ考ヘラレル。之ヲ結合スレバ供給曲線ガ描カ  
レル。コノ demand curve ト supply curve  
トガ交又スル点ニ、均衡ガ得ラレル。然シ、為  
替相場ハ單ナル需要供給量ニヨツテ定マルモノ

デナク、必ず一定ノ價格ニオケル需要供給量ニ  
ヨツテ定マルモノデアル。即チ必ず一定ノ價格  
ガ前提サレル。コトニ質的ノ要素ガ考ヘラレル  
所以デアル。何故ナラバ、價格ハ結局、他人ノ  
心理的評價ニ基クカラデアル。彼ニヨレバ、カ  
ナル質的要素ガ特ニ強ク作用スルノハ投機取引  
ヤ國際投資ノ場合デアル。蓋シ、此等ノ取引ニ  
オイテハ本来量的要素即チ外貨ノ数量ハ不確定  
デアルカラデアル。

### 批判

アフタリヨンノ為替心理論ハ網羅的デアルト  
コロニ長所ヲ持ツテキル。人間ノ行フ評價ヲ色  
々ナ点カラ考ヘルト、質的ニハ總括スコトガ出  
来ル。然シソノ内容ヲハツキリト決定スルコト  
ノ出来ルモノデナケレバナラナイ。心理的評價  
ニ彼ノ如ク将来ノ事實ニ対スル予測 (Predictions)  
ヲ包含マセルコトハ、決定原因ヲ極メテ曖昧ナ  
モノニスル欠点ヲ有ツニ至ル。又一ツノ期待ハ  
始メカヲ決定サレテキルワケデハナイ。

然シ、彼ノ説ハ、今迄ノ為替理論ニ対スル批  
判トシテ見レバ、大キナ特徴ヲ有フモノト考ヘ

ラレル。

尚、クナップ (Knapp) の理論がアルが、大体貨幣説 = 近イト云フベキデア。之モ完全ナモノテハナイ。現代ニオイテハ國民經濟ハ益々國際性ヲ有ツニ至ツタコトハ、之ヲ現實ノ生治ニ即シテ見レバ、尠ルコトデア。コトニオイテ、対内價值ト対外價值トノ影響ヲ考ヘレバ、後者ノ前者ニ対スル影響ガ大キイモノトナツテ未ダコトハ充分考ヘラレルコトデア。

## 第五章 貨幣價值ノ成立 (對内價值)

貨幣ノ對内價值ハ、貨幣ノ物ニ対スル購買力デア。而シテソノ成立ニ関スル學說ハ古来カラ種々ニ別レテキル。

### 第一節 貨幣價值ニ関スル 諸學說

(234)

## 第一項 合意說 (Konventions Theorie)

之ハ古クハプラトン、アリストテレースニヨツテ唱ヘラレタモノデア。貨幣價值ハ人間ノ合意ニヨリ定マルトスルモノデア。然シナガラ貨幣ハ決シテ人工的ナモノデア。經濟ノ自然的結果トシテ發生シタモノデア。人間ノ合意ハ法律ニヨツテハ貨幣ノ價值ハ維持サレナイ。フランス革命ノトキハ、ニコムンヲモツテシテモ、ソノ維持ハ尠困難デアツタ。經濟的ナ意味ニオイテハ流通シテキルコトガ價值ヲ生ズルデア。日本ノ法律家ナドハ、現在ノ日本ハ金本位國ダトサヘ云フ。ソノ理由ハ貨幣法ガ停止サレテキナイトイフコトデア。然シ、之ニハ實質ガ伴ツテキナイコトハ勿論デア。

合意說ハ、貨幣ノ價值ハソノ場、ソノ場ノ合意ニヨリテ成リ立ツモノトシ、交換過程ヲ前提トシテキル。コノ思想ハ中世紀ニ至ツテカノニスト (教會法學者) ニヨツテ繼承サレタ。ミゼスハコノ合意說ガ貨幣ガ我々ノ交換現象ト

(235)



何等關係ナク成リ立ツモノトシテキルコトヲ以テ、非流通論的貨幣學說 (Akatalaktische geld Theorie) ノ純粹ナモノトシテキル。

### 第二項 流通論的貨幣學說

(Katalaktische geld Theorie)

前ニ述ベタグレシマムノ法則ガ一般ニ承認サレルニ至ツタコトハ貨幣モ亦一般商品ト同ジク、個々ノ人々ノ意志カラハ独立シタ經濟上ノ法則ニ従フコトヲ承認シタモノト見ラレル。即チ、貨幣價值、單ナル命令セ合意ニ基クノテハナフ、他ノ商品ト同ジクソレガ有ツテ居ル内部的ナ價值ニ基クノテアルト考ヘラレルニ至ツタ。コノコトハ既ニ 14 世紀ノ半バニパリ大学教授ビユリダン (Johann Buridan, um 1300 — 1358) ニヨリテ唱ヘラレ、後、ジョン・ロー (John Law) ニヨリテ、貨幣素材ノ價值ト貨幣價值トガ、無關係ニアラザルコトガ強調サレタ。重農學派ノ代表者タルゴー (Anne Robert Jacques Turgot) ハ貨幣價值ハ金屬ノ素材價值

カラ成リ立ツトイフ所謂金屬學派 (Metallismus) ヲ唱ヘタ。

### 第三項 金屬學派 (Metallismus)

コノ名稱ハクナツフ、著 "Staatliche Theorie des Geldes" 1904 年中ニ始メテ唱ハレタモノデアル。當時クナツフガメタリストト稱シタノハクナツフ自身ガ唱ヘル學說以外ノ學說ニ対スル總稱デアツタ。従ツテノノ内容モ種々雜多デアツテ、一概ニ決メ難イガ、要スルニ現在デハメタリストハ貨幣ノ本質ヲソノ素材タル金屬ニ求メテ以テ貨幣ノ價值ヲ金屬ニ置カスルトナスモノデアル。タトヘバ日本ノ円ノ價值ハ純金2分ニ相當スルダケノ購買力ヲトスルノデアル。

#### 金屬學說ノ内容

コノ名稱ノ下ニ呼バレルモノノ主ナモノヲ示セバ次ノ如クデアル。

(1) ショーン・ステューアートミル (John Stuart Mill) ノ學說。之ハ又實用學說。

(Kostentheorie) と呼ばれるモノデアル。  
即チ、貨幣価値ヲ決定スルモノハ貨幣ノ生産費  
デアルトスル。金ヲ鉱山カラ採ツテ来ルニ要ス  
ル費用ガ、金ヲ素材トスル貨幣ノ価値デアル。  
彼ハ財貨ニハ (1) 絶対ニ供給ニ制限アルモノ、  
(2) 一定ノ生産費ヲ以テ無限ニ生産シウルモノ、  
(3) 無限ニ生産シ得ルモノ、ソレニ伴ツテ單位当  
リノ生産費が増加スルモノ、例ヘバ農産物ノ如  
キモノ、ノ三種アリトシ、貨幣素材タル金屬ハ  
農産物ノ如キ種類ニ屬スルガ故ニ、コノ金屬ノ  
価値ハ終局ニオイテ、必要ナル供給ヲ得ンガタ  
メニ勵カネバナラヌ所ノ最劣等鉱山ノ生産費ニ  
比例スルト云ツテキル。

(2) ジェヴォンス (Jevons) ノ学説。  
彼モホアラヌル貨幣ノ標準タル本位貨ノ価値  
ヲ、ソノ素材ノ価値ニ依存スルモノトナシテキ  
ル。

#### 第四項 名目学説 (Nominalismus)

合意説ガ貨幣価値成立ノ根拠ヲ経済外的ニ求

メタニ反シテ、メタリストハ経済内ニ求メタコ  
ト、即チ、貨幣ノ有ツ商品性ニ認メタ点ニオイ  
テ、一步前進シタト云ヘル。金本位ノ場合ノ金貨  
ニハコノメタリストノ理論ハ確カニ當テハマル  
ガ、紙幣々補助貨幣ノ場合ニハ、ソノマ、ニ  
ハ當テハマラナイ。銀貨ガ標準的ナ、本位貨幣  
デアルトキハ、ソノ価値ハ生産費ニ基クト云ヘ  
ヨウガ、ソレガ補助貨幣トナルト、ソレヲ生産  
スル費用ト銀貨ノ貨幣価値トハ異ツテ来ル。コ  
ノ時、銀貨ハ素材トシテハ20銭ノ値シカナイ  
ガ、貨幣価値ハ50銭デアル。而シテソノ開キ  
30銭ハ何処カラ来ルカ。

コノコトハ銅貨、白銅貨、紙幣ノ場合デモ同  
ジデアル。然シ、兌換サレル場合ハ、紙幣ハ兌  
換ニヨリ、ソノ実質価値ヲ有フデアルガ、現  
在ノ幣ニ兌換停止ノ場合ハ、紙幣ニ実價ガナイ  
カラト云フテソノ受取リヲ拒ム入ハナイ。コノ  
点カラ見レバ、金屬学説ハソノ素材価値ヲ強調  
シズベテ、不完全デアル。之ニ反スル反駁ハ即  
チ名目学説 (Nominalismus) デアル。ソノ  
代表者ハ先ツクナツテデアル。

## 貨幣國定説

クナツフハ1905年ノ著書ノ同巻第一ニ貨幣  
價<sup>値</sup>ハソノ内容ニヨツテ成立スルノデアリ、法則  
ノ産物デアルコトヲ強調シテキル。而シテ、貨  
幣ノ發展ヲ叙シテ貨幣ハ國家ノ命令ニヨツテ漸  
次成立スルニ至ツタモノデアル。ト云ツテキル。  
之ハ素材學說カラ、前ノ合意説ニ戻ツタト云フ  
ベキデアル。私ハ貨幣價值ハソノ素材ニテハナ  
ク、名目的ノ價值ノ中ニ成リ立ツト云フ点ヲ強  
調シタトコロニクナツフノ特長ガアルト思フ。  
素材學說ハ19世紀ノ學說ノ大部分ヲ占メタト  
考ヘテヨイ。イギリスデモ、ドイツデモ同様デ  
アツタ。カ、ル時ニアタツテ、彼ガ名目説ヲ唱  
ヘ出シタトコロニ、彼ノ特長ガ認めラレナケレ  
バナラナイ。國定説ノ萌芽ハ既ニアリストテレ  
ースニアル。改メテコノ説ガ發生シタ事情ヲ考  
ヘレバ、ソレガ名目的デアルトコロニ大キナ目  
的ガアルト云フベキデアル。ノミナリズムハメ  
タリズムト全ク逆ナ考ヘ方ヲスル。而シテ前者  
ハ歐洲大戰後一層ノ弊カヲ有スルニ至ツタ。ト  
イフノハ大戰後ノ貨幣事情ハメタリズムノ考ヘ  
方ヲ全ク復ニ立タナイモノニシタカラデアル。

即チ兌換ノ停止ニヨツテ金ト貨幣トノ關係ガ絶  
ト切ラレタ。而モコノ場合、紙幣ハ金銀價值ヲ  
失ツタカトイフニソウデハナイ。コ、ニ国内的  
ニハ金ナシニ紙幣ニヨツテモ、流通スルコトガ  
出来。只對外的ニノミ金ガ流通スルモノデアル  
コトニナツタ。コノコトハ貨幣ハ金屬ニ對シテ  
關係ヲ有タナイト考ヘサセ、コ、ニ貨幣論ニモ  
變化ガ起キタノデアル。而シテ、種々ノ系統ノ  
貨幣理論ガ現ハレタ。

### (A) ベンディクセンノ學說

彼ハクナツフカラ影響ヲ受ケタコトハ明カデ  
アツテ、自ラソノ説ヲクナツフ説ノ經濟的補足  
デアルト云ツテキル。而シテ貨幣ヲ以テ言ハレ權  
ト見做シ、共同体カラウケル反對給付ノ表象デ  
アルトスル。例ヘバ、音樂會ノ入場券ハ入場ニ  
對スル請求權ヲ表ハスモノデ、券自体ガ價值ヲ  
有ツノデハナイ。丁度之ト目ジヤウニ貨幣ハ一  
ツノ價值票証デ、ソレ自体價值ノ対象物デハナ  
イ。從ツテ貨幣價值トハ1單位ガ財貨ノ幾何ヲ  
請求シ得ルカトイフコトデアルガ、之ニ對シテ  
ハ經濟社會ニオケル貨幣ト商品トノ對立ヲ以テ

説明セントスル。例へバ、コ、ニ菓子ガアル場合ニハ多クノ請求權ヲ出セバ尙前ハ少クナル。コノ点テ、彼ハ数量説的ナ考ヘ方ヲスル。

### (B) エルスターノ學說

彼ノ説モホッベンダイクセント同様デアル。先ツ団体經濟ノ観点カラ出發シテ貨幣ハコノ団体内ニ生ズル社會生産物 (*sozial Produkt*) ニ対スル参加可能性 (*Beteiligungsmöglichkeit am sozial Produkt*) デアルトスル。ドノ程度ニ参加スベキカハ貨幣ヲ多ク有ツカ、少ク有ツカニヨツテ定マルノデアル。ソノ点ニ於テ貨幣ハ又價值ノ尺度デアル。

### (C) リーフマンノ學說

彼ニヨレバ、貨幣ノ本質ハ一ツノ抽象的ナル計算單位ナルコトニ存スルトイフ。

### 批判

以上ノ諸説ハクナツア説ノ固定説的ナ考ヘ方デナク、名目説的ナ考ヘ方ヲ受ケ継イダモノデアル。コノ点テ、クナツアノ特色ハ名目説的ナ

トコロニアルト云ヘル。サレバ、ベンダイクセントハ、クナツアノ説ハ名目説ノ法制的ナ考ヘ方デアルカラ、自分ハ之ニ經濟的補尺ヲナスモノデアルト云ツテキル所以デアル。コノ考ヘ方ハ益々發展シタ。歐洲各國ガ金本位ノ回復ヲ向願ニシタトキ種々ナ論争ガオコサレタガ、ソノ結果ハ金本位ガ實施サレ、金ト關係ノナイ貨幣制度ハ吞食サレタガ、之ノコトハ決シテ、国内ニ於イテ、金ガナケレバ貨幣價值ハ成リ立たナイト云フコトヲ意味シナイ。ソノ例ハ大戰前ニモイクラカアツタ。大戰後ハ各國ニオイテ、金ノ国内流通ハナクナツテシマフタ。從ツテ、金ノ兌換請求ハ金ヲ以テ對外ノ支拂ニ充テルトイフトコロニソノ本質ガアルノ貨幣價值ノ成立ニ金ハ關係ガナクナツタワケデアル。金ヲ藏ツテオクトイフ人間モアル。日本銀行ハ金ヲ兌換シテ行ツタ物好キモアル。然シ、金貨ノ交動ヲ見込ンデ、思惑ノタメ、金兌換ヲマル人モアル。然シ、大量ニ金兌換ヲスルコトハナクナカ出承ナイ。尾行ガツイタリスル、鑄造セバ禁止云ニヒツカ、ル。金利ノ上デモ損ヲスルシ、保管費ガカ、ル。從ツテ、金兌換ハ唯、海外ヘ持ッ出

ストイフ必要カラダケオコルノデアル。カクシテ金ハ *international* ナモノトナル。国内的ニハ金が無クテモスムノデアルカラ、素材價値ノナイ貨幣ガ如何ニシテ貨幣價値ヲ有ツカトイフコトガ説明サレネバナラナクナリ。以上ノ様ナ名目學說ガ現ハレタノデアルガ、ソノ前提トナツテキル商品總量ト貨幣總量 (*Geldmenge*) トノ対立ガ問題デアル。コノ前提ハ突キ若メテ行クト、維持シカタイモノニナル。故ニ名目說、ミテハ不完全ト云ハナケレバナラナイ。

## 第二節 貨幣價値ノ成立

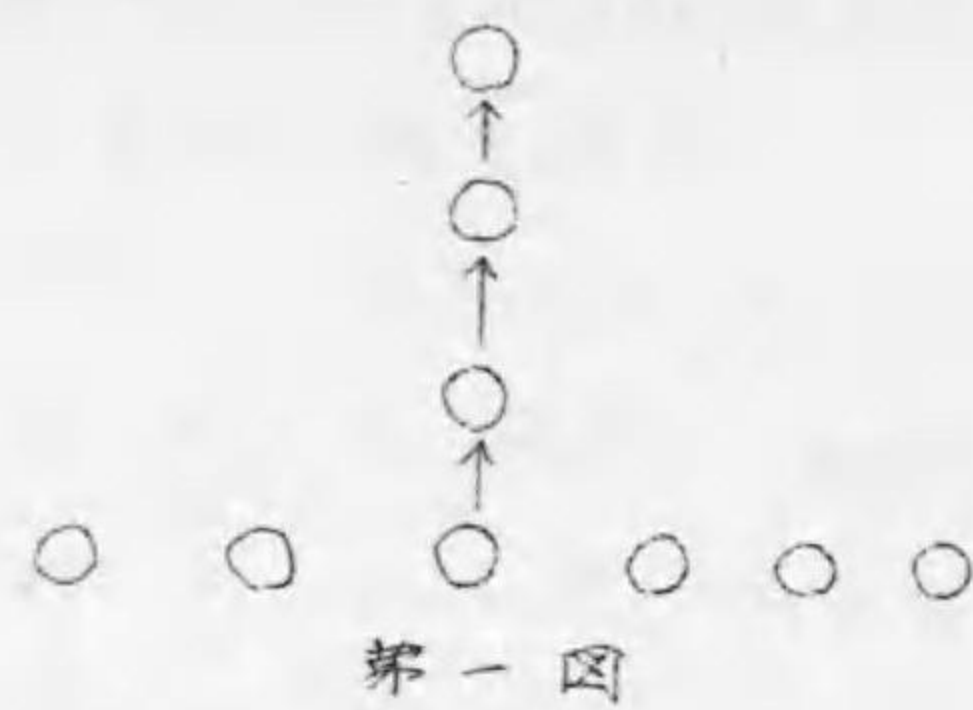
物ヲ考ヘヨウトスル場合ニハ一ツノ見方ガナケレバナラヌ。ソウデナケレバ、貨幣理論トイフノモ、<sup>成立ニ付ト云フハ</sup>貨幣理論トシテノ金屬學說ハ先ヅ、貨幣ヲ金屬片トシテ見ルノデアル。即チ貨幣ヲ個々のニ見ルノデアル。然シコノマ、デハ貨幣ヲ完全ニ理解スルコトハ出来ナイ。サレバ、之ト交ツタ別ノ見方ヲシナケレバナラヌ。貨幣ヲ統一的一體トシテ見ナケレバナラヌ。

空間的ニ見ルト、貨幣ハ組織體デアリ、私鑄

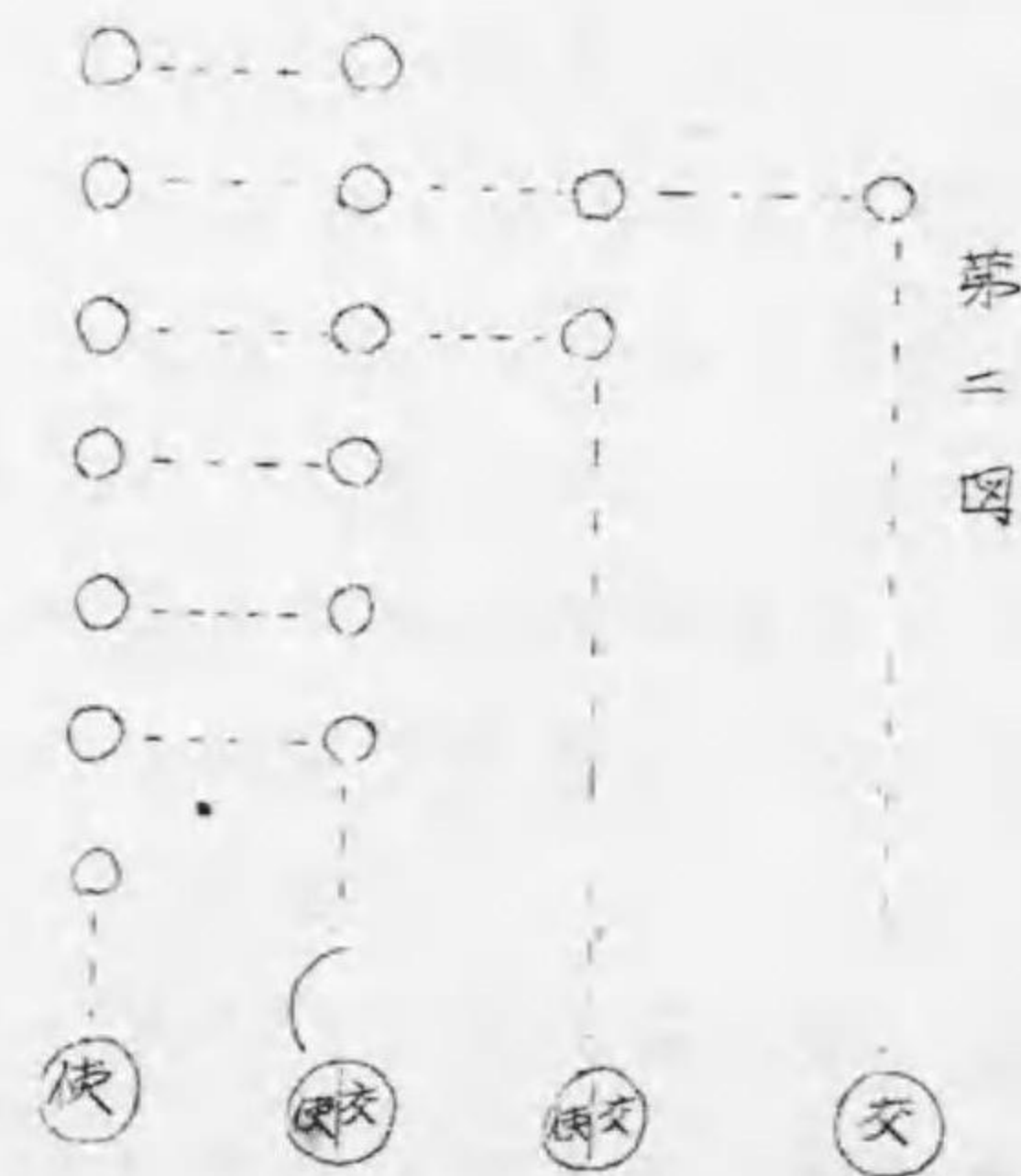
ヲ許サレズ。一ノ制度内ニオイテ飛行サレ、何如ニ流通シテモ決シテ、ソレハ眞徑ナル存在デハナイ。タトヘバソレハ日本ノ貨幣制度内ニ存スルノデアレバ、統一的一體ノ一片デアル。個々ノ貨幣ノ間ニハ發行年月ニヨツテ異ナルコトナク、完全ニ代替性が存スル。大キナ50錢デモ、小キナ50錢デモ、ソノ貨幣トシテノ價値ニハ交リハナイ。スコツランド人ノケナン坊ハ世界的ニ有名デ、彼等ハ他ノ人が時計ヲ持ツテキルノヲ見ルト、自分ノ時計ノゼンマイヲ止メルト云フガ、ソノケナン坊デナイ限リハ、同じ貨幣價値ヲ有ツナラ、ドンナ大キ異ナルモノヲモソノ收受ハ拒マナイノデアル。然ツテカ、ル貨幣ノ價値ハ決シテ、ソノ一ツ一ツヲ見ルコトニヨツテ説明サレルノデナク、貨幣ヲ唯全體トシテノミ見ルコトニヨツテ始メテソレハ理解サレルノデアル。帝大生ノ有ツ *dignity* ハ學生ノ一人一人ニツイテノミテハ分ラナイ。帝大生ヲ全體トシテ見テ始メテ *dignity* ガカルノデアル。

貨幣價値ハ空間的ニ統一的一體トシテ成リエツト共ニソレハ又時間的連續狀態ヲ成スノデア

ル。従って貨幣価値ヲ今日ノ貨幣ニ求メテモ駄目デアル。今日ノ價值ハ昨日ノ價值カラ由來スルモノデ、昨日ノ價值ハ昨日テ終リ、今日ハ今日テ、新シク成リ立ツノテハナイ。古代カラ今日迄價值ハ連續シテ來ルノデアルカラ、今日ノ貨幣價值ノ説明ハ廻ッテ行ハレヌバナラナイ。貨幣ガ出未上ツタトキ迄廻ラナケレバナラナイ。



ソレデハ一階最初ノ貨幣價值ハ如何ニシテ成立シタカ。



第一圖ノ如ク現在流通シテキル貨幣ノウケノ一ツカラ以前ニ廻ッテソノ價值ヲ定メナケレバナラナイ。貨幣成立迄ノ事情ヲ考ヘルト、種々ノ商品ガ流通シテ來ル間ニ或ル

モノガ交換手段トシテ特ニ用ヒラレルニ至ツタ。多數ノ商品ノウケ流通性ノアルモノガ、最後ニ残リ、貨幣ガ出未タ。金屬貨幣ノ場合ハ一部ハ未ダ使用價值ヲ有ツテキル。全然使用價值ノナイモノハ交換ノ媒介物トシテ現ハレテ來ル筈ハナイ。全然役ニ立タナイモノハ媒介物デハアリ得ナイ。即チ、交換價值ノ前提トナルモノハ使用價值デアアル。ソレデハコノ理論ト素材價值論トハ如何ナル差異ガアルカト云フト、前者ハ商品ガ貨幣トシテノ機能ヲ開始スル瞬間ニオイテ既ニ商品トシテノ價值ノ存在ヲ必要トスルト、イフ意味デアツテ、既ニ貨幣トシテノ機能ヲ開始シタ時以後ハ、タトヘソノ交換價值ノ發生原因タル使用價值トシテノ素材價值ヲ失ツテモ、尚充ルナル貨幣價值ヲ有ツテ續ケルモノトスルノデアアル。貨幣ガ貨幣トシテ成立シタトキハ交換價值ハ自体ガ一ツノ在立ノ役割ヲ有ツコトニナル。米ガ使用價值ト同時ニ交換ノ媒介物トナレバ、米ノ價值ヲ維持スルモノハ米ノ交換媒介物トシテノ價值ナノデアアル。第二圖ニ於イテ、第二ノ列ニアル商品ノ價值ヲ支ヘルモノハ交換及ビ使用ノニツノ價值デアアル。

コノ條ナ事情ハ恰モ汽車ノレールノポイント  
 ノ作用ニ考ヘ合ハサレル。ポイントヲ曲ケルコ  
 トニヨツテ、汽車ヲ他ノ線ニ入レルコトガ出来  
 ル。例ヘバ東海道線ニアル汽車ヲ横須賀線ニ入  
 レヨウトスルトキハ、ポイントヲ曲ゲネバナラ  
 ス。然シソレヲマケ、汽車ガ横須賀線ニ入ツテ  
 シマヘバ、ポイントヲ元ニ戻シテ汽車ハ進行ス  
 ル。横須賀線ニ入ツクノハ東海道線カラデア  
 ト云フノハ、丁度貨幣價值ノ成立ニハ使用價值  
 ガ前提サレルト云フコトヲ意味スル。然シ、東  
 海道線ハ横須賀線ニ入ルタメニ必要ナノデアツ  
 テ、汽車ガ横須賀線ニ入ツタ後ハポイントヲ元  
 ニ戻シ、汽車ハ横須賀線ヲ進行スル。ソレト同  
 ジ様ニ貨幣價值ノ成立ニハ使用價值ガ前提トサ  
 レルガ、成立後ニハコノ使用價值ハナクナツテ  
 モヨイ。

前ノ時代ノ價值ハ現代ニ於イテ必ズシモ維持  
 サレル必要ハナイ。前時代ノ價值ハ次第ニ小サ  
 クナル傾向ガアル。現代ノ或ル人ノ子供ガ財産  
 ヲ有ツトスルト、ソレハ子供ガ前代カラノ價值  
 ヲ受け継イダモノデアルガ、貨幣ノ購買力ハ次  
 第ニ小サクナツテ行ク。ソレト同比例テ我々ノ

経済行為ノ價值ハ多クナツテ行ク。昔ハ重ト云  
 フモノガ通用シテキタガ、現在デハ重ガナクナ  
 リ、銭ガ最低量目デアル。即チ最低單位ガ大ト  
 ナリ、貨幣ノ價值ガ下ツテ来タコトヲ意味スル。



而シテ金ガ貨幣トナリキツテシマウト金ノ價  
 値ヲ決定スルモノハ金ノ生産費デナク、金ノ貨  
 幣價值デアル。1936年ノ産金量ハ既存ノ貨  
 幣金ニ対シテ590デアルカラ、金ノ生産費ノ  
 役割ハ殆ンドナイト云ツテヨイ。

川ノ上流テ荷物ヲ積ムトキ、最初ハ筏、次ニ  
 ハ舟、遂ニハ汽船ヲ用フル様ニナルガ、コノ場  
 合、荷物ハ依然トシテ同ジデアルガ、ソレヲ載  
 セルモノガ違ツテ来ル。即チ、昔ノ貨幣價值ハ  
 物品ト云フモノニヨツテ盛ラレテキタガ、ソレ  
 ガ次第ニ金屬ニ移ツテ来タ。然シソノ價值ノ変  
 動ハ否定スルコトハ出来ナイ。ソレハドコカラ  
 来ルカ。

## 第六篇

### 貨幣價值變動理論

#### 第一章 貨幣價值變動 ノ原因

貨幣ノ價值ハ、ソレガハクナルカ、大キクナ  
ルカト云フコトハ否定出来ナイガ、何故カウイ  
フ關係ガ出テ来ルカ、説明サレネベナラヌ。ソ  
ノ理論トシテ有カナモノニ貨幣數量説ガアル。

#### 第一節 貨幣數量説 (Quantity theory of money)

先ツ數量説ヲドウ限定スルカ、問題デアル。  
シュポートホフ (Spiethof) ノ定義ニ從ツテ  
考ヘルト、貨幣ト商品トヲ直接ニ対立セシメ、  
貨幣ノ數量ノ増減ハ、直接ニ商品價值ノ騰落ノ  
原因デアルトスルノガ、貨幣數量説ノ本来的ナ

型式デアアル。ソレニハ大体次ノ様ナ區別ガアル。  
即チ簡單ナモノト、マヤ複雑ナモノトデアアル。

#### 第1. 機械的數量説

機械的ト云フノハ、貨幣ノ數量トソノ價值ト  
ノ間ニ正確ナ反比例關係ノ存スルコトヲ主張ス  
ル故デアツテ、數量説ノ最初ノ型式デアアル。

(1) リカルド (David Ricardo) ハ  
ソノ代表者デアツテ、彼ハソノ原論ノ中ニ貨幣  
價值トソノ數量トノ間ノ機械的的比例關係ヲ述ベ  
テキル。

(2) ミル (J. S. Mill) ハ以上ノ比例  
關係ノ上ニ、貨幣ノ流通速度ヲモ考慮ニ入レテ  
キル。即チ一枚ノ紙幣ガ5度流通スルトキハ貨  
幣ガ5枚アルコトノ同ジコトデアルト。

#### 第2. ファイツィヤ (Irving Fisher) ノ 貨幣數量説

彼ハ米國エール大学ノ教授デアアル。彼ハ先ツ  
貨幣ヲ以テ流通ノ要具トナシ、交換ノ媒介物ヲ  
以テソノ本原的機能トシテキル。從ツテ彼ノ云  
フ貨幣數量説ヲ構成スル貨幣ハ当然流通貨幣



(Number of dollars in Circulation)

デアル。而シテ彼ハ貨幣ヲ貨幣(正貨、鑄貨、紙幣)ト貨幣ノ代用物即チ預金貨幣トニ區別スル。然レ、之ヲケテハ流通スル貨幣量ヲ表ハシ得ナイ。何故ナレバ一定量ノ貨幣トハ、ソノ總計量ノミヲ指スノデハナク、之ヲ繰リ返ヘレ使用スルコトニヨツテ、如何程デモ大キナ金額ノ取引ヲモ決濟シ得ルカラデアル。故ツテ、眞ニ貨幣ノ流通速度(Velocity of Circulation)ヲモ考慮ニ入レナケレバナラヌ。カクシテ彼ハ次ノ様ナ式ヲ作ツタ。

- 貨幣數量 =  $MV + M'V'$
- $M$  ----- 流通貨幣ノ總量
- $V$  ----- 同上流通速度
- $M'$  ----- 預金貨幣ノ總量
- $V'$  ----- 同上流通速度

而シテ以上ノ意味ノ貨幣ノ存在量ニ對立スル財貨ノ數量ハ次ノ式ニヨツテ表ハサレル。財貨ノ數量トハ取引サレタ商品ノ數量デアル。

$$C^1 p^1 + C^2 p^2 + C^3 p^3 + \dots + C^n p^n$$

但シ、 $C^1, C^2, C^3$  ----- 各商品ノ量  
 $p^1, p^2, p^3$  ----- 各商品ノ價格

故ニ $C$ ヲ商品量ノ總量、 $P$ ヲコノ商品ノ平均價格トスレバ、上ノ式ハ

$$CP$$

ヲ以テ表ハサレル。而シテ此ハ結局商品ノ取引高(Trade)ノ總計デアル故、之ヲ $T$ ト置キ代ハレバ、

$$TP$$

トナル。コノ $TP$ ハ $TP$ 前ノ貨幣總量ニ對立スルコトヲ前提トシタカラ、次ノ様ナ式ヲ得ル。

$$MV + M'V' = TP$$

$$\therefore P = \frac{MV + M'V'}{T}$$

$MV + M'V'$ ハ貨幣ノ總量デアルカラ、之ヲ $M$ トスレバ

$$P = \frac{M}{T}$$

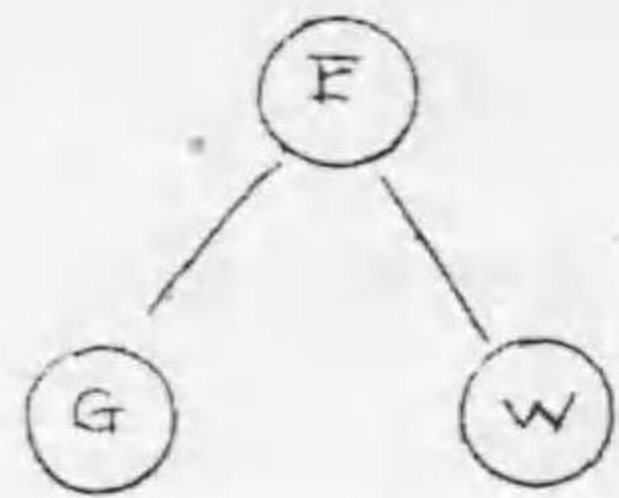
デアル。カクシテ財貨ノ取引高ヲ一定トスレバ、物價ハ貨幣ノ存在量ニ正比例スルト云フ結論ガ得ラレル。

批判

先ツ、貨幣ト商品トノ對立關係ヲ考ヘナケレバナラナイ。フィッシャーハコノ兩者ハ直接對

貨幣  
(5)  
二十  
外

立スルモノトシテホル。例ヘバ、日本銀行カラ  
2倍ノ貨幣ガ発行サレ、バ物價ハ2倍ニ上ルカ。  
ソレハ實現サレナイコトデアル。又スベテノ貨  
幣ガスベテノ商品ヲ買フト云フコトハナイ。実  
際ニハ流通ニナイ貨幣ヲモ考ヘナケレバナラヌ。



從ツテ、フィッシーマーノ考  
ヘルマウナ直接的ナ対立ハ  
貨幣ト商品ノ間ニハ存シナ  
イ。貨幣ノ数量ノ増加ハ先  
ツ所得ノ増加トナリ、コノ

増加シタ所得ガ、商品ノ價格ヲ騰貴セシメルコ  
トトナルト考ヘラレル。

フィッシーマーノ説ニハ又論理的ナ飛躍ガアル  
ト思フ。彼ガ依フタ式ハ第実上ハイロイロナ場  
合ニ考ヘラレル。即チ貨幣ノ數量ガ2倍ニモ、  
3倍ニモ増加シタトキニモコノ式ガ成リ立ツト  
考ヘラレル。ソレハ靜態的ニノミ考ヘラレテキ  
ル。各々ノ場合ノ相互ノ時間的ナ連絡ハ考ヘラ  
レテホナイ。動態的ニ成リ立ツ式ヲ動態的ナモ  
ノトシテ解説スルトコ、ニ飛躍ガアル。一ツ  
ツノ式ハ正シイガ、ソノ相互ノ連絡ガナイノデ  
アル。

又、フィッシーマーハ他ノ要素、タトヘバ、

Velocityノ變動ヲ考ヘナイ。他ノ條件ニシテ  
等シイト云フ假定ハコノ式ソノモノガ抽象的デ  
アルコトヲ示スノデアル。

ケメラー貨幣數量説 — 略 —

## 第二節 貨幣價值變動ノ理論

ソレデハ貨幣價值ノ變動ヲ具體的ニハドウイ  
フ風ニ説明スルカ。ソノ原因ハ貨幣ノ需要  
(Geldbedarf)ト貨幣ノ存在量(Geldvorrat)  
トニ求ムベキタト私ハ考ヘル。

(1) 貨幣價值ハ先ツ貨幣需要ニヨツテ変北ス  
ルノデアルガ、コ、ニ云フ需要トハ何カ。ソレ  
ハ各個人ガ取引ヲ行フ際ニ、ドレダケノ貨幣ガ  
必要カトイフ需要デアル。コノ需要ヲ個人相互  
間ニツイテ見レバ、ソノ存在量ニ対シテ需要ガ  
超過スルカ、或ヒハ不足スルカノ一方向  
ガ興ヘラレルコトナルガ、コノモノコソガ、  
個人ノ貨幣ニ対スル主觀的評價ニ影響ヲ與ヘ、  
貨幣ノ客觀的交換價值ニ作用ヲ及ボスノデアル。

(四) 貨幣ノ存在量トハ各々ノ經濟主体ノ貨幣  
所有量ヲ指スモノデ、或ル人ハ多ク有テ余ヲ、  
需專ヲ有タズ。ソノ爲メニ銀行ニ、自分ノ所有  
スル貨幣ヲ預ケル。カクテ貨幣ノ需要ニ對スル  
貨幣ノ存在量ノ個々ノ過不足ガ相殺サレテ、コ  
レニモ一定ノ方向ガ興ヘラレルコトナル。即  
チ社会的ニ見テ、貨幣ノ存在量ガ多イカ、需專  
量ガ多イカト云フ結果ガ出テ来ルワケデアル。  
カ、ル場合ニハ貨幣ノ一單位ニ對スル主觀的評  
價ガ変ツテ来ル。存在量ガ需要ニ對シテ多クナ  
レバ、今迄一錢ヲシテモ血眼ニナル人が五錢ヲ  
シテモ平氣ニナル。物ヲ買ヒニ行ツテモ態度ガ  
変ツテ来ル。ソノ逆ニナルト又逆ナ現象ガオキ  
テ来ル。

之等ハ貨幣ト商品トノ關係ハ直接的デナク、  
消費ヲ通ジテ兩者ハ關係スルト云フコトヲ示ス  
モノデアル。而シテ一部分ノ貨幣ノ特殊ナ変化  
ハ、漸次ニ一般的ニ他ニ波及スルノデアル。貨  
幣價值變動ノ以上ノニツノ原因ハ戰爭トカ恐慌  
トカノ特殊ナ場合デナイ限りハ極メテ緩慢ニ交  
化スルカラ貨幣價值ノ變動モ一般ニ緩慢ナノデ  
アル。

### 第三節 貨幣價值變動ノ

#### 特殊原因

兌換券發行マ物ノ生産狀態ニ變化ガナイ場合  
デモ、貨幣價值ノ變化スルコトガアル。ソレハ  
特殊原因デ、次ノ様ナモノガ基ガラレル。

#### (1) 信用ノ程度

即チ貨幣發行ニ對スル信用ガ失ハレルト貨幣  
價值ハ變動スル。例ヘバ、前ニ述ベタ様ナアツ  
シニマ貨幣マ歐洲大戦時ノ各國ノ貨幣ハ、政府  
ノ財政的基礎ガ薄弱トナツタトコロカラ大ニ  
暴落シタ。

#### (四) 政 患

中世ノ諸侯達ガ *local money* ヲ發行シテキ  
タトキ、旧貨ヲ回收シテ、紙カヲ減ラシテ、改  
鑄スルトイフコトヲ屢々行ツタ。ソノ時ハ必ズ  
貨幣ノ價值ハ下リ物價ハ上ツタモノデアル。

抑々貨幣價值ニ對スル政患ノ影響ハ間接的デ  
アル。タトヘバ、金本位制ノ國ニオイテ、從來  
ノ金貨ノ紙カヲ二分ノ一ニ減ラストスルト、ソ  
レニヨリテ貨幣ハ二倍ノ量ガ出テ来ルコトニナ

ル。コノ増加シタ貨幣ノタメニ物價ガ上ルノデア  
ル。デアルカラ、改悪ニヨツテ得ラレタ余剰  
ヲ使ハナケレバ、貨幣價值ニハ何等ノ変動モ起  
ラナイ。平價引下ゲノ場合モコレト同ジデアツ  
テ、平價切り下ゲガ直接ニ貨幣價值ノ下落デア  
ルト考ヘルノハ誤リデアル。

トコロガ改竄々、切下ゲハ余計ナ通貨ヲ出ス  
コトヲ目的トスルカラ、之ニヨツテ通貨ガ膨脹  
ヲ来タシテ、物價ガ変動スルノデアル。硬貨ノ  
場合ハ改悪。平價切下ゲノ場合ハ紙幣ノ増発ト  
云フコトニナリ、インフレーションガ起ルノデ  
アル。デアルカラ、平價切下ゲガ悉表サレタ原  
因カラ物價ガ上ルノデナク、上ニ述ベタ様ニ経  
路ヲ経テ、物價ガ上ルノデアル。

## 第二章 貨幣價值變動ノ影響

### 第一節 対内價值變動ノ影響

貨幣ノ対内價值ノ下落ハ物價ノ騰貴トナツテ  
アラハレル。ソレハドウイフ影響ヲ及ボスカヲ

考ヘテ見ナケレバナラス。

先ツ、生産方面カラ見ルト、一般ノ物價騰貴  
ハ利潤ヲ高メ、生産ヲ奨励スルコトニナリ、資  
本ガ膨脹シテ来ル。従ツテ労働者ノ賃銀モ之ニ  
伴ツテ昂騰シ、所得ノ増加トナル。

然シ消費方面カラ見ルト、貨幣ノ購買力が減  
少シ、物價ガ上ルノデアルカラ、之ト同ジ比例  
デ、所得ノ増加ガナケレバ、生活ハ困難トナル。

一般ニインフレーションノ賛成者ハ事業家デ  
反対者ハサラリーマン、官吏々年金生活者デア  
ル。債権債務ノ關係ガ之ニヨツテ大イニ変動ス  
ルコトハ勿論デアル。例ハバ、金ヲ借リテ1年  
後ニ之ヲ返ヘストキ、インフレーションニヨッ  
テ、貨幣ノ價值ガ2分ノ1ニ減ツテ終ツダトシ  
タラ、之ハ債権者ニトツテハ有利ダケ、債務者  
ニトツテハ甚ダ不利デアル。カウイフ不都合ヲ  
避ケルタメニ、物價指數ヲ標準トシテ貨幣價值  
ヲ評價シテ行クトイフ、イハユル指數本位制ガ  
考案サレタガ、之ハ実行困難デアル。物價指數  
ハ前ニ述ベタ様ニ大体ノ傾向ヲ示スニスキナ  
イ。

而シテ、貨幣價值ノ安定、物價ノ安定トイフハ

價值ノ永ス不変ヲ維持スルノチナク、一定ノ時期ニ安定シテキナケレバナラナイコトヲ云フノチ、一般ニ貨幣價值ノ下落シナイ方が生産ヲ刺激スル。即チ利益ヲ少シク増シテ行クコトガ出来ル。一方、年金生活者々金利生活者ニハ働クトイフ方面ノ刺激ヲ與ヘルコトニナル。従ツテ安定トハ絶對的安定ヲ意味スルモノデハナイ。

### 第二節 對外價值變動ノ影響

對外價值ノ變動ハ輸出入ニ影響スル。即チ對外價值ノ下落ハ振宛國ノ外國為替手形ノ價格ヲ騰貴サセルタメ、輸入ガ困難トナリ、反対ニ輸出ハ却ツテ促進サレル。

對外價值昂騰ノ場合ハ之ト逆ナ現象ヲ呈スルワケデアル。

唯例外ト考ヘラレルノハ支那ノ銀相場デアル。銀ノ相場ガ安クナルト、支那ノ商品ハ外國ヘ賣レ、ソノ逆ノトキハ逆ニ外國カラ商品ガ入ツテ来ルワケデアルガ、實際ハ銀ガ安イトキハ支那ノ商品ガ賣レズ、銀ガ高イトキハ却ツテ輸出ガ増

加ス。ソレハドウイフ訳カト云フト、銀ハ一般物價ト同ジ動キ方ヲスルカラデアル。銀ガ高イトキハ一般物價モ高イトモデアル。即チ、外國ニオイテハ景況ノ好イ時デアル。銀ガ安イトキハ外國ハ不景況ノ時デアルカラ、支那カラ外國ヘ商品ハ賣レナイ。ソレハ銀ガ國際商品デアル一般物價ハ各種ノ商品價格カラ成ルノチアルカラ。銀ト物價ハ当然ニ同ジ様ナ動キ方ヲスル。グラフヲ見ルトコノコトハ明瞭ニワカル。各國ハ銀ヲ貨幣トシテ用フルコトナク、唯補助貨トシテ用フルダケデアル。チアルカラ、銀ガ上ツタカラ物價ガ上ルノチナク、銀ト物價トハ同ジ様ニ上下スルノチアル。詳シイコトハ「経済学論集」ニ私が書イテオイタカラ、之ニツイテ見ラレタイ。

### 第三章 對内價值ト對外價值トノ關係

貨幣ノ對内對外ノ兩價值ガ相互ニ影響ヲ及ボシ合フコトハ前ニ述べタ通りデアルガ、一方ノ

変動ハ輸出輸入ノ關係ヲ通ジテ、他方ノ変動ヲ惹キオコシ、兩者ハ常ニ均衡状態ヲ得ントスルノデアル。他ノ原因ガ作用スル場合ハ一方ノ上下ガ他方ノ上下ヲ惹キオコストイフ過程ハ修正シテ考ヘラレネバナラヌ。

現代ノ國民經濟ノ状態デハ対外、対内價值ノウチ、イツレノ変動ヲ重要視シナケレバナラナイカ。対内價值ハアル程度マテ統制出來ルカラ対外價值ノ変動ハ特ニ重要ニナツテ來ルト云フノハ現代ハ世界經濟ノ時代デアルカラ。然シ対外價值ノ安定ハソレ自体ガ目的ナノデハナクテ、対内價值ノ安定ガ終局ノ目標デアル。

#### 第四章 貨幣價值安定政策

##### 第一節 貨幣ノ対内價值安定政策 — 物價安定政策 —

現在ノ金本位諸國ノ国内通貨量ハスベテ中央銀行ノ通貨政策ニヨツテ左右サレルモノデアルガ、前ニ述ベタ銀行制度ノ下ニ中央銀行ハ如何

ナル手段ニヨツテ貨幣數量ヲ調節シ、以テ物價ノ安定ヲハカルカヲ我々ハ見ナケレバナラヌ。普通ニ中央銀行ノ通貨政策トシテ上げラレルモノハ割引政策ト公開市場政策トデアル。

##### 第一項 割引政策

(Discount policy)

中央銀行ハ手形割引乃至ハ証券担保貸付ヲ通ジテ市場ニ貨幣ヲ供給スルノデアルガ、ソノ際割引利率ヲ上下シテ供給量ヲ市場ノ景況ニ應ジテ、調節スル操作ヲ割引政策トイフ。ソレハ即チ、中央銀行ノ利子政策デアル。

一般ニ中央銀行ノ割引政策ト云ハレルモノニハ対外的ナモノト対内的ナモノトガ存スル。コノデハ対内的割引政策ヲ問題ニスル。割引利率ヲ高メルト市場ノ資金需要ガ減退ヲ來タシ、貨幣數量ガ收縮シ、之ニヨツテ、貨幣價值ハ騰貴シ、物價ハ低落スル。利率引下ケノ場合ハソレト反対ノ現象ガ惹キオコサレル。斯様ニ通貨量ノ調節ヲ通ジテ、貨幣價值ノ変動ヲ支配スルノガ割引政策ノ目標デアルガ、コノ政策ガ必ズシモ常

ニ有效デアルトハ限ラナイ。即チ、ソノ時々ノ  
一時的ナ經濟狀態ニ左右サレルコトガ多イノデ  
アル。

## 第二項 公開市場政策

割引政策ハ市中銀行ノ金利ガ中央銀行ノソレ  
ニ順應シナケレバ有效ナモノデアリ得ナイカラ、  
コノ政策ハ概シテ消極的デアル。コ、ニオイテ  
割引政策ノ效カヲ確保シヨウトシテ出現シタモ  
ノガ、積極的ナ公開市場政策デアル。ソレハ中  
央銀行自身が直接市場ニ出勤シテ公債ソ、他ノ  
手持有債証券或ハ手形ノ賣却、買上ヲ通シテ、  
貨幣數量ヲ調節スル操作デアル。1922年ア  
メリカニオイテ始メテ行ハレタモノデ、以後各  
國ノ中央銀行ニヨツテ採用サレタモノデアル。  
日本銀行モソノ引受ケタ赤字公債ヲ市場ニ賣却  
シテ、インフレーションノ發展ヲ抑圧シタコト  
ハ周知ノ事實デアル。最近デハ賣リノミデナク、  
買操作ヲモ行ツテキル。

然シ、公開市場政策ノ有効性ハ種々ナ條件ノ  
下ニ考ヘラレルノデアリテ、コノ政策ガ利子政

策ヲ伴ハズニ、單独ニ行ハレルトキハ、ソノ目  
的ヲ完全ニ達スルコトハ出来ナイ。從ツテニッ  
ノ政策ハ共同ニ遂行サレテ始メテ、ソノ效カヲ  
發揮スルコトが出来ルノデアル。

## 第二節 貨幣ノ對外價值安定政策

### —外國為替相場ノ安定政策—

國內物價安定ノタメニ、為替相場安定ガ大イ  
ニ意義アルコトハ前ニ述べタガ、ソノ政策トシ  
テハ應急的ナ性質ノモノト、恒久的性質ノモノ  
トガアル。

## 第一項 應急的政策

### 第一、金利ノ引上

一國ノ為替相場ガ急激ニ低落スル場合ニハ、  
ソノ國ノ金利ノ引上ゲヲナスコトガアル。金利  
ノ引上ハ手形割引率合ノ騰貴トナルカラ、ソノ  
國ノ手形ノ高イ割引率ノ利益ニ榮ラウトシテ、  
割引率ノ低イ諸外國ニオイテ、ソノ國ヘノ手形  
ノ需要ガ増シテ来テ、ソノ價格ヲ騰貴サセルコ

トニナル。

然シ、金利引上げガ、コノ様ナ目的ヲ達シウルノハ、ヨーロッパ各國ノ様ニ、相互ニ密接ニ影響シ合フトコロヲ行ハレル場合デアル。日本ノ様ニ地理的ニ孤立シ、外國トノ金融關係カ余リ密接デナイトコロデハ、コノ政策ノ影響ハサウ大キクハナイ。

### 第二、公債募集

例ヘバ、日本ノ円ガ悪クナツタト云フコトハドル、或ハポンドニ対スル關係ニオイテ云ハレルデアル。ドルノ供給ガ狭イトキハドルノ價ハ上リ、円價ハ下ル。円ヲ上ゲルタメニハドルノ供給ヲ潤沢ニセネバナラナイガ、ソレニハ為替資金ヲ豊富ニセネバナラス。外債ノ募集ハソノ手段ノ一ツデアル。外債ヲ募集スレバ、國際貸借上ハ、債務國ハ貸方トナツテ、ソノ國ノ為替相場ハ引上げラレル。トコロガ之ヲ償還スルトキハ借方勘定トナルカラ為替相場ハ下ルコトニナル。故ニ之ハ恒久的政策ト云フコトハ出来ナイ。

### 第三、クレジットノ設立

クレジットノ設定ニ、為替資金調達ノ一手致デアル。タトヘバ、1億ドルノクレジットヲ設定シタ場合、ソノ全部ヲ借ルノデハナク、ドル手形ノ需要ガアツタトキ、ソノ支拂ヲコノ設定サレタクレジットカラ為スワケデアル。

### 第二項 恒久的政策

#### 第一目 為替ノ裁定

( Arbitration of Exchange )

各地ニ於ケル為替相場ノ差異ヲ利用シテ、為替ヲ有利ニ取組ム方法ヲ、為替裁定トイフ。即チ為替ヲ買フトキハ、安い方ヲ買ヒ、賣ルトキハ高い方ヲ賣ル。一種ノ銷取リデアル。然シニソノ相場デ、大キナ差ヲ依ルトイフコトハ出来ナイ。甲ノ國カラ乙ノ國ヘ送金シヨウトスルトキ、送金為替 ( Remittance ) ニヨルカ、逆為替ニヨルカ、ソノ何レカノ有利ナ方法ヲ選



ブコトが為替裁定ノ一例デ、ニツノ相場ノ開キハ僅カデアリ。送金ノ金額カ少額デアルトスハ却ツテ手数ヲ増スバカリダガ、取引金額が大ナルトモハ多ク利用サレル。

## 第二目 為替管理

(Exchange Control)

為替管理トハ外国為替(外貨証券ヲモ含ム)ノ所有並ビニ賣買取引ヲ制限スルコトデ、為替相場ノ変動ヲ抑制スル方法ノ一ツデアリ。之ハ勿論根本的ナ手段デナイノデアツテ、之ニヨツテ相場ヲドコマデモ維持スルコトハ出来ナイ。謂ハ、過渡的ナ手段ナノデアリ。換言スレバ、ソレハ為替ノ需要供給ヲ調節スルコトデアリ。

而シテ、統制ノ基準ハ夫々ノ状態ニ應ジテ異なるガ、無意味ナ資本ノ逃避ハ第一ニ防ガナケレバナラナイ。

管理ノ方法ハ種々アルガ、英國流ノ方法トドイツ流ノ方法トニ大体區別出来ル。ドイツ流ノ場合ニハ列举主義デ、一々ノ場合ヲ決定スル。英國流ノ規定ハ極メテ寛大デアリ、結局目的ト

スルトコロハ為替投機恩恵ト云々ノ資本逃避ノ防止デアリ。之ハ大キクツカンドモ主義デアリ。ドイツノ流儀ハ細カクツカンドモ離サナイト云フマリアデアリ。

日本ノ管理方法ノ規定ニアツテハ、イロイロ議論ガオコツタガ、結局ドイツニ倣ツタ。

## 第三目 為替平衡會計

(Exchange Equalization Account)

之ハ1932年4月英國ノ蔵相チエンバレンニヨツテ提案サレタモノデ、為替相場安定ヲ強化スル目的ヲ持ツテキル。然ラバ、何故カウイフ手續ガ採ラレタカ。

元来英國ハ、國際資金ノ中心地デアリ。短期資金ノ世界取引市場デアリ。日本ノ日清戦役ノ公債モコ、デ取引サレタ。トコロガ短期資金ト云フノハイツテモ引キ出サレル可能性ニアル。

1931年5月! オーストリアノクレディット・アンシュタットノ破綻ニヨツテ惹キオコサレタ混乱ハ、全歐洲ノ金融界ニ波及シ、ソノ結果ト

シテ英國ノ金融資本が不健全ナルコトが分リ、  
列國ハ之ニ危機ヲ感じテ金引上ゲノタメニ、ロ  
ンドン市場ニ殺到シタ。即チ同年7月カラ8月  
ニカケテ、スイス、フランス、アメリカノ取  
付が盛ニ行ハレタ。9月ニ至リテイギリスハ  
遂ニ金本位離脱ヲ余儀ナクサレタ。然シ取付ケ  
ヲシタ各國ハソノ金ノ持ッテ行キ所ガナク、一時  
ハアメリカヘ持ッ込マレタガ、アメリカモ33  
年4月ニ金本位ヲ停止シタ程タカラ安定ナモノ  
デハアリ得ナカツタ。カクテ、再ビ英國ニ金流  
入ノ勢ガ弱リ、一旦下落シタポンド貨ハ再ビ即  
騰ノ趨勢ヲ辿ツタ。然シ、コノ相場変動ノ激シ  
イ状態ガ續イテハ、英國ノ産業モ健全ナ飛達ヲ  
ナスコトが出来ナイノデ、為替相場ノ安定ハ是  
非トモ必要デアツタ。元來 歐洲各國ハ大戰後  
下落シタ諸國ノ為替相場ヲ引キ上ゲヨウト考ヘ  
テホタノデアツタガ、31年以後ハ自國ノ為替  
相場ヲ引キ下ケテ、商品ヲ安く賣ツテ、外國市  
場ヲ開拓シヨウト努メルニ至ツタ。ソレハ国内  
不況打開ノクメデアツタ。英國ノ為替平衡會計  
モカウイフ事情カラ設定ケレタモノデアツタ。  
本國ニ於イテモ 1934年1月31日平價切下

ゲノ結果生ジタ評價益金ヲ以ツテ平衡資金ノ改  
定ノ案ガ提出サレタガ、4月27日ニ至リテ正  
式ニ創設サレタ。

日本ノ金資金特別會計ノ設定モ同様ナ用フ為  
スモノデアル。要之、日本ノ為替相場ノ変動  
ヲ抑ヘヨウトスルモノデアル。然シ実債カラニ  
テハ下落ニ對スル対策ニアツテ、英國  
ノ如キ場合トハ逆ナ意義ヲ持ツテキル。

又、金額カラズツテモ、英國ノソレハ5億  
ク400万ポンド、フランスハ100億フラン、  
アメリカハ50億ドルデアルカラ、之等ト日本  
トハ到底比較ニナラナイ。従ツテ之ヲ以テ、円  
相場ヲ高く維持スルコトハ出来ナイ。

(説明) 時間ノ切迫シタタメ、荒木教授  
ハ、以上ノ諸点ニツイテハ概括的ニミ  
触レラレタノデ、筆記者モ、教授ガ話サ  
レタトコロダケヲコ、ニ收メタ。(説明  
終)。

### 第三項 為替相場変動ノ影響回避 方法

為替平衡資金ノ運用ニヨツテ為替相場安定ヲ策シテモ、尚、ソレガ変動スルトイフ場合ニハ安心シテ取引スルコトが出来ナイ。ソレデハコノ変動カラ来ル不利益ヲ免レル方法ハナイモノデアラウカ。ソノ一ツハ為替銀行ト、為替ノ豫約 (Exchange Contract) デアル。

#### 第一、為替豫約 (Exchange Contract)

之ハツマリ、為替ニヨツテ取引ヲ行フ輸出入業者ガ、為替ノ変動カラ蒙ル危険ヲ為替銀行ニ負ハセルノデアル。然シ、銀行ガ変動ニヨリ輸出入業者ノソレト同ニハ困ガアル。前者ハ例ヘバ上ルダラウト予想シテナス豫想ト、後者ハ下ルダラウト考ヘル。カウイフ豫想ノ開キガアレバユソ、銀行モソノ危険負担ヲ敢ヘテスルノデ、コノ開キノアル所ニ両者ノ利害ガ合致スル。

#### 第二、利付為替手形 (Interest bearing Bill)

之ハ振出国ノ貨幣單位ヲ以テ記載セラレル為替手形デアリ、其ノ支拂人が支拂ニ當ツテ、其ノ振出シノ日ヨリ支拂當日迄ノ、及び、再ビ、振出地ニ還スルマデノ日數ニ相当スル利子ヲ元金ニ加算シテ支拂フ手形ヲ云フ。

例ヘバ、日本ノ商人ガ英國カラ品物ヲ買ツタトスルト、英國商人ハ利付為替ヲ振り出ス。英國商人ハ荷物ヲ送り出スト共ニ、英國ノ銀行ハ行ツテ、コノ為替ヲ買ツテ呉レト云フ。利付為替デアルカラ、銀行ハ之ヲ只テ買フ。ソノ為替ハ船荷証券ト共ニ、日本ニアル英國銀行ノ支店ニ送付サレル。支店ハ日本ノ商人ニ支拂ヲ要求スル。コノ時コノ利付ヲ買取ツタ人ハ、ソノ期限ノ日マデナラバ、何時支拂ツテモヨイ。即チ利付為替ノ債務者ハ英國ノ為替相場ガ上ツテキルガ、今ハ山ダカラモ少シ待ツテキテ、下ツタラ、支拂ハウトイフ計算ヲスル。支拂當日迄ノ金利ヲ負担シテモ尚相場ノ下落ニヨリ利益ガソレヲ償フコトが出来ルソデアル。而シテ、例ヘバ 100 ポンドヲ支拂ツタトモカラ、ソレガ郵便デ、先方ニ送ラレルマデノ日數ノ利子が、ソレニ加算サレル。

## 第七篇 貨幣政策一般

### 第一章 物價統制

#### — 生産統制 —

物價政策ハ貨幣政策トシテ考ヘラレテキルガ、  
カク考ヘルコトニヨツテ問題ガ容易トナル。即  
チ全般的問題トシテ取上ゲルコトガ出来ル。貨  
幣價值ノ変化ニヨル物價ノ変動ハ全般的ナル  
カラ、物價ヲ上ゲル、下ゲルノ政策ハ貨幣側ノ  
操作ニヨツテ惹起シ得ルコトハ確カナルガ、  
貨幣側ノ変動ニヨツテモ物價ハ変動スルカラ、  
各々ソノ半面タルニスギヌコトヲ注意セヌベナ  
ラス。

コレヲ貨幣問題トシテ考ヘレバ、第一インフ  
レーションノ問題トナル。

### 第二章 貨幣政策

#### 第一節 インフレーション政策

(274)

インフレーションハデフレーションニ対立シ、  
最近ハソノ中間ニレフレーションナル概念ヲ挿  
入シテキル。

インフレーショントハ、貨幣ノ供給量ガソレ  
ニ対スル需要量カラ超過シテ、ソノ結果一般的  
物價騰貴ヲ惹キオコス場合ナル。

「通貨数量ハ年々3%ずつ増ス」とイフカツセ  
ルノ言ガ正シトスレバ、ソノ場合ノ3%ハ直  
チニインフレーションヲ意味スルノデハナク、  
ソレニ相当スル商品價值ノ増加ガアレバ、イン  
フレーションニハナラス。商品<sup>45</sup>が增加セヌカ、  
又ハ3%以上ニ通貨が増セバインフレーション  
ニナルト云ハヨウ。

インフレーションノ特色 (S418 参照)

1. 新ニイ購買カガ出テ来ル。コレニヨツテ  
商品需要が増ス-----所得ノ増加-----  
然シ、物價モ上ツテ行クカラ、一定ノ時間ガ経  
過シタ後ニハソノ利益ハ消滅スル。

2. 故ニ、インフレーションハ常ニ経續シテ  
行ハレヌベナラス。

物價ハ段々上ツテ来テ効カハ消滅シテシマフ

(275)

カラ、ソノ時ハ又新ラシク通貨ヲ増シテ購買カ  
ヲ増加セヌベナラス。

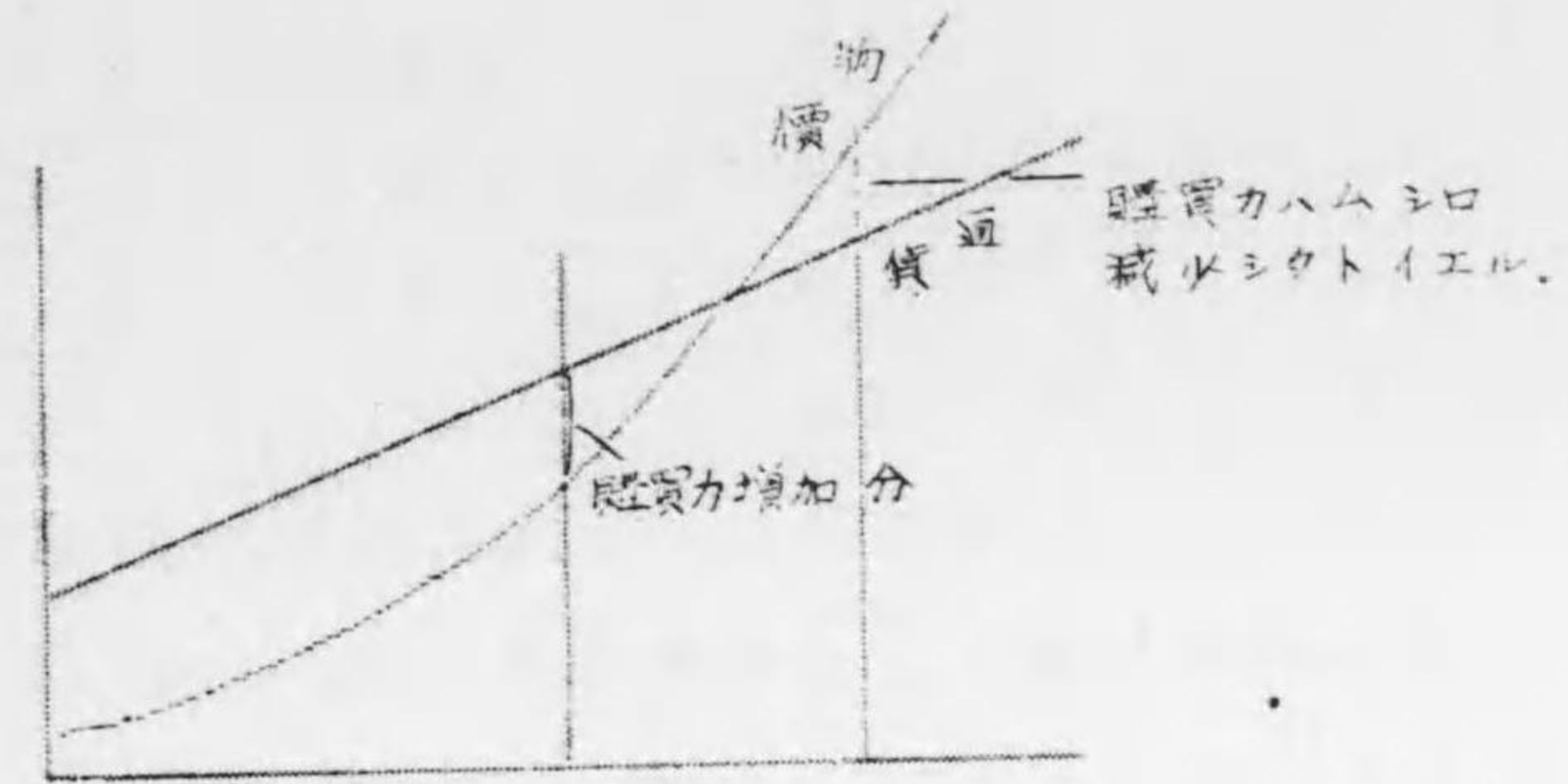
故ニインフレーションヲ打テ切ルトイフコト  
ハ困難デアル。(教科書、5419)。

一般製造業者ガインフレ論者デアルノハコレ  
ニヨル。

コレヲ「インフレーションノインフレーション  
性」トイフ。

以上ダケ考ハルト、インフレーションハサシ  
テ弊害モナイマウデアル。若シ緩慢ニマツテ行  
ケバ、カナリ效果的デアラウ。ダガ事実トシテ  
ハインフレーションハ同一ノ効果ヲ維持センガ  
タメニハ幾何級数的ニ(1-2-4-8-...)ニ  
進マヌベナラス。

ノミナラズ、通貨増大量ト物價騰貴率トハ比  
例シナイ。物價騰貴率ノ方が、最初ハ通貨ヲ造  
フガ漸次急速ニナツテ来テ、後ニハ通貨量ニ追  
ヒ付ク様ニナツテ来ル。



コウナルト通貨ハ増シテモ、購買力強エナイ。  
ドイツノ大戦後ノインフレーションヲ見テモ  
1922年6月頃カラ物價ノ方が上廻ルマウニナ  
ツタ。

ソノ原因ハ、人々が物價先高ヲ見越シテ、所  
謂「金カラ物ヘ」ト物ニ対スル必要以上  
ノ需要ガフエテ来ル。人々ハ貨幣カラ逃ゲヨウ  
トスル。費手ノ側カラホツテモ、先高ヲ見越シ  
テ賣惜シムカ又ハ高價ヲ賣付ケル、カクテ思慮  
ガ盛ントナリ、貨幣價値ハ益々低落スル。

ドイツノ例デモ、食糧品店ハナルベク、産品  
ヲ賣ルヲ欲セナカツタ。トハイハ全然賣ラナク  
テハ自分ノ生活用品ガ買ヘヌノデ、ソノ費用ダ  
ケノ食料品ヲ賣ツテ、ソノ金ヲ直々ニ持ツテ目  
的ノ店ニカケツケルコトトシタ。政府ハコノ對

策トシテ、一定ノ時間ヲ限ツテ強制的ニ店ヲ開  
カセタ。賣惜シミヲシテ罰金ヲ課セラレテモニ  
三日放ツテ<sup>貨幣價值</sup>ガ低落シテカラ支拂ヘバ何トモ  
ナカツタノデ余リ効果ハナカツタ。

人ニヨツテハインフレーションノコノ破局ハ  
可成リ時間ヲ要スル(開戦ヨリ10年後)モノ  
ダカラ、サホド恐ルハニ當ラズト樂觀論ヲナス  
モノモアル。

然シ、ドイツノ経済ハ、當時世界ニモ信用ガア  
リ、敵國人デサヘ、ドイツノ有價証券ヲ買ツタ  
モノモアル。ソレデサヘ、アノ慘禍ヲミタノダ  
ソノ後、歐洲デインフレーションガ激化セヌノ  
ハ、彼等ガ過去ノ経験ニヨツテ直々ニ金カラ物  
ヘノ運動ヲオコスカラデアル。矢張り余リ樂觀  
論ヲナスノハ當ルマイ。

カ、ル、インフレーションノ慘禍ヲ経験シタ  
モノハ、安定シタバツクヲ有スル貨幣ヲ欲スル  
マウニナツタ。カクテ、ロツゲンマルク、カラ  
レンテンマルク等ガ考ヘラレテ来ル。價值安定  
ノ要求。

## 第二節 デフレーション政策

デフレーションハ、インフレーションノ逆デ、  
貨幣ノ供給量ガ、ソノ需要量ヨリ減少シテ一般  
物價ノ下落ヲ惹キオコス場合ヲ云フノデアル。  
従ツテ、物價ガ上リスベタトキニ、此ノ政策ガ  
適用サレル。

インフレーショント反対ノ操作デアルカラ、  
効果モ反対デアル。生産業者ニトツテハ好マシ  
カラヌモノデアル。従ツテ実行困難デアル。彼  
等ガ強硬ニ反対、妨害スルカラ、大抵ノ場合、  
最後ノトコロデ失敗シテ来ル。カクテ再びイン  
フレーションニ轉換スル。(日本ノ例ヲミヨ)

コレハ大戦後問題トナツタ政策デアリ、消極  
的、整理的意義ヲ有スルモノト云ヘヨウ。

## 第三節 レフレーション政策

積極政策、消極政策、共ニ以上ノ如ク対極的  
ナ相容レヌ政策デアルガ、コレヲ折衷シテコノ  
両者ノ長所ヲ助長シ短所ヲ補ハントスル政策ガ

生じた。

この語の起源は新ラシイ、数年前に始りて英  
ノエコノミストデ用ヒラレタト云フ。

教科書 S. 425 以下参照。

アメリカハ 1921. — 1922 年ノ物價水準マ  
デハイインフレーションヲマリ、ソレ以上ハイ  
ンフレーションヲマラマトイフ政策ヲトツタ。故  
ニレフレーションヲ別ニ「統制インフレーション」  
トモ称スル。コレヲインフレーショント別  
個ノモノト云フガ、ソレハイインフレーショント  
本質的ニハ異ナラマモノデアラウ。事實上、仲  
々目的ノ点デインフレーションヲ打切ルモノデ  
ハアルマイ。

(説明) 貨幣政策ハ以上ヲ終ルコトトスル。

(説明終)

## 平價切下政策

(教科書 462 以下参照)

インフレーションノ結果トシテ貨幣價值ハ下  
ル。コノ場合平價切下ゲク問題トナル。

(Devaluation)

意義——貨幣價值ト金トノ關係ヲ変ヘテ貨  
幣價值ヲ下ゲル。平價切下ゲトイフガ、貨幣法  
規ノ改正ハ行ツテキナイ。

適用ノ場合ハイインフレーションノ結果、既ニ  
貨幣價值ガ下落シテキルトキデ、ソレ以上ニ引  
キ上ケルコトハ弊害ガ認めラレルトキデアル。

條件

1) 例ヘバ、戦後ドイツノ場合、激落シタマ  
ルクヲソノマ、デ昔ノ價值ニ歸スルコトハ出  
来ヌ。コレニ反シ、イギリスデモ相当ニ下ツ  
タガ、平價切下ゲハ行ハナカツタ。又フラン  
スデモ一旦  $\frac{1}{10}$  マデ下ツタガ、ソノ後、 $\frac{1}{5}$   
マデ回復シタ。コレ以上引上ケルコトハヨク

ナイト云々のデ  $\frac{1}{5}$  デ平價切下ゲヲナシタ。

2) 新貨幣制度への希望が存在スルコト。

3) 事实上ソコニ貨幣價值ノ安定ガ存シナケレバナラス。ドンドン下ガテキル最中デハ一度ニ度ト切下ゲヲセネバナラス。ドイツデモ安定ニタトコロヲ狙ツテ平價切下ゲヲ行ツタノデアアル。

(註) 順序ハ教科書ト逆ニ述ベラレタ。

(註終リ)。

最近デハ平價切下ゲノ意義ハ交ツテ来タ。ソレハ 1934 年ノアメリカノ切下ゲ以乘デアアル。

ソノ後ハベルギーモフランスモ皆、金本位制ニハ復帰シテキナイ。即チ、第一、第二ニ條件ヲ充タシテキナイ。

ソノ目的ハムシロ次ノ様ナコトニアル。

即チ、當時ノ不景氣デ商品ガ賣レナカツタ。外國ニ安ク賣ラネバナラスガ、ソノタメニハ、貨幣ノ對外價值ヲ引下ゲルコトニヨツテ相対的ニ安價ニスル必要ガアツタ。

大戦直後ニハ為替平衡資金ハ為替ヲ高ク保持スルタメニ用ヒラレタガ、今々、ソレハ為替ヲ

低位ニ維持スルタメニ戻ハレルマウニナツタ。

ソノ資金ヲ取ルタメニハ金ヲ銀價換ヘシテ銀價益ヲ捻出スルコトトナル。(最近ノ日銀)。コレニハ平價切下ゲヲスルコトニヨツテ出来ル。(アメリカハ 50 億ドル) コノタメニ平價切下ゲガ行ハレルコトトナツタ。即チ為替政策ニ基ク平價切下ゲデアアル。

最近ノ平價切下ゲノ目的。

1. 外國貿易促進ノタメニ為替ヲ低位ニオクコト。

2. 評價益ヲ得テ平衡資金ヲ得ルコト。

然ラバ、ドノ程度ニ平價切下ゲヲシテ評價益ヲ出スカバ問題トナル。平價切下ゲニヨツテ為替低下ハ前述セル如ク直チニ國內物價ニ影響スルモノデハナイガ、一般ニハ<sup>平價切下ニヨツテ</sup>影響スルモノト信ゼラレテキルシ、又間接的ニ貨幣ノ數量ヲ通ジテ國內ニ影響スルモノデアアル。(評價益ヲ増セバ、通貨流通量ハ増大シ得ル。即チ、貨幣ノ數量ノ増大ヲ媒介トシテ影響スル。日本デモ 3 億ノ金準備ガ殖エ、日本銀行券ノ増発ノ可能性ガ生ズル如ク)



然ラバ如何ナル貨幣制度ハ安心ナルカトイ  
フ問題ガ生ズル。

金本位ヲヨシトスル理由。

(1) 自分ハ、先ヅ対外的貨幣價值ノ維持ニ重点  
ヲ置カネハナルマイト思フ。(前述)ソレガタ  
メニハ金本位制ガヨイト思フ——

以上ハ理論的ニ觀察シテノコトデアルガ、

(2) 又、金ニ対スル一般ノ人々ノ信賴ノ強カカ  
ラ考ヘテモ、實際上金ト離レルコトハヨクナ  
イト思フ。之ハ事實上ノ觀察デアル。

最近金本位制トシタノモ金ガ尋シナクナツ  
タカラデハナク、金ガ欲シイカラデアル。ソ  
ニテ金ハ依然國際貨幣デアル。

(3) 又、金ノ本来有スルトコロノ諸性質、又生  
産ノ適度ナルコト等、(今マデハ金ノ不足ト  
云フコトガ叫バレ、金本位反対論ノ支柱トナ  
ツタガ、最近ノ金増産ハコノ心配ヲ打ち消シ  
テキル。今ハ金過剰ヲサヘ心配シテキル人ガ  
アル。)

サレバトテ現在ノ金本位制ハ昔トハ違ツテ来  
ルコト勿論デアル。トハ云ヘ金ト離レルコトハ

出来ヌト思フ。

### 貨幣改革案

教科書 S. 497 以下参照。

金本位ニハナクテ、何カ他ノ方法ハナク  
云フコトガ考ヘラレル。コトニ「貨幣改革案」  
ノオコル根據ガアル。(S. 497 ~ 8 参照)

フィッシャー (Irving Fisher)

ノ補登弗案

第1ノ案ハ、

経済界ノ購買力ガ安定スルマウニ那ノ方ノ金  
ノ量ヲ増減シ、以テ物價安定ヲ縛ントスル。

即チ物價指數ニ對應シテ金ノ量ヲ変化シテ行  
ク。今マデハ貨幣政策トハ反対ニ貨幣ノ側ノ金  
量ヲ変動スルノデアツタ。

実行上ノ困難ガ大キイ。

第2案 金銀金本位制。マーシマルノ提案ニ  
カ、ル。

金銀両者ノ貨幣數ヲ調節スレバ、貨幣價值ノ変化ヲ救ムルコトガ出来ル。両本位制トハ今ガフ。金本位制デアル (*Symmetallism*) 金ト銀トハ常ニ一諾ニ食ツ付イテキル。両者合シテ完全ナ通貨トスル。カクスレバ、各一方ノ價值ノ変動ガ相殺サレ、制限シ合ツテソノ合一本ノ変動ハ緩和サレルダラウトイフノデアアル。

コレモ實際問題トシテ困難デアル。

### 第3章 ケーンズ案 教科書

S, 503 以下参照。

### 第4章 指数本位制

### 第5章 ケセルノ自由貨幣

コレハ貨幣價值ノ安定ノ方法デハナイ。資本主義ノ修正ノタメニ貨幣ノ蓄積ヲ排除スルタメニ貨幣ヲ持ツテキルト致々ソノ價值ガ減ズルマウニシタモノデアアル。

所持者ハ紙幣ノ裏面ニ一定期間毎ニ切手ヲ貼ラネバナラス。ダカラ蓄積シナイダラウ。資本主義ノ弊害モ防ゲルダラウトスル。

又最近ノモノニハ色々ナモノガアル。ドイツノ雜誌ノ調査ニヨルト主ナルモノダケデ百種以上ノ案ガアル。然シ實際的ニハ用ヒラレテキナイ。

今後如何ナル貨幣制度ガ行ハレルカハ問題ダガ、現在デハ金本位デアリ、何等カ金ニモトヅク制度ガ行ハレルマウニ思フ。

以上。貨幣論終リ。

## 最近ノ經濟事情

最近ノ經濟事情ノ概ニ 最近ノ經濟上ノ變動ハ 若シテ、ソレニ從ツテ、金融關係ノ論議ヲ種々行ハレタ。今日ハソノ金融トイフ方面乃至關係ニ重点ヲ置キテ、小シオ話シヌル。

前内閣ニヨツテ前買財經三原則ガ樹テラレタ。ソレハ、國際收支ノ適合、物資需給ノ調整、生産力ノ拡大デアアル。

順序カラ云ハルニ第一ニ 生産力ノ拡大デアアル。之ニツイテハ一ハ物ノ方面カラ、他ハ金融方面カラ考ヘラレル。物ノ方面カラ云ハルニ、滿洲ノ開發、國防充實ノ五ヶ年計畫、熟練工養成等、金融方面カラ云ハルニ、資金ノ統制即チ、臨時資金調整法、産金法ノ施行等ガソレニ含まレル。

第二ハ、物資需給ノ調整ヲ、物價対策委員會ガ前内閣ニヨツテ設定サレ、現内閣カ之ヲ繼承シタカ、ソノ内容ハ交形ニタ。

第三ハ、國際收支ノ適合デアアル。最近貿易ノ場合ガ悪化シ、貿易外收入ガ少クナツテ來タ。

殊ニ國防關係ノ物資輸入ノ増加ニ對シテ、輸入ガ減少シテ來タノデ、コノ差額ノ増大ヲ何トカシテ防ガナケレバナラナクナツタ。上半期ハ入超、下半期ハ出超トイフノガ、日本ノ貿易上ノ元來ノ特性デアアル。トコロガ本年ニナツテ三菱經濟研究所ノ調査ニヨツテモ、下半期ハ依然トシテ入超デアアル。6月迄ノ入超ハ5億円台デアツタガ、ソノ後ニモ増シテ、今後モ益々増大ノ傾向ニアル。貿易外收支ハ昨年ニ較ベテ漸次ヨクナルコトニ期待サレ、昨年、1億2,000万円ノ收入ニ對シテ、2億位ノ収取ガ期待サレテキルガ、樂觀ハ出来ナイ。

コノ悪化ハ国内物價ニイロイロ影響ヲ有ツ、之ニ對スル方策ハ為替管理法ノ強化デアアル。為替管理ハ既ニ昭和七年ニ、資本並遷防止法ニヨリテ行ハレ、昭和八年ニ至リテ為替管理法ニ変ツタ。本年七月七日ノ省令ニヨリ、為替金額ハ30,000円カラ1,000円ニ制限サレタ。

無為替輸入ニ取締ヲ受ケルコトニナツタ。從來ハ之ハ自由デアツタ。然シ、之ヲ許セバ、国内ノ商品ノ販賣ノ利益ヲ以テ、對外支拂ニ充テ、カクテ、配當ノ形式デ、外國ニ流レルコトニナ

ル。今度ノ臨時議會ニ於ケル改正ヲ見ルト、邦  
貨表示ノ權、債務ニツイテモ、許可ガナサレ  
ナケレバナラナイ。貿易商ハ注文ヲ受ケテモ、  
為替ガ許可サレナイカラ、目前ニ利益ノ見込ミ  
ガアツテモ、ソノ利益ハ獲ラレナイ。然シ、イ  
ケナイト思ハレルノハ為替ノ許可ヲ得スルトス  
ルト、ソレニヨツテ、間接ニ輸入ハ制限サレル  
ガ、ソノ結果、国内物價ガ騰リ、輸入業者ノ利  
益ハマスマス増ミテ、ソノタメニ許可ヲ得ヨウ  
トシテ却ツテ輸入ガ増加セシメラレル傾キノア  
ルコトデアル。

輸入品臨時措置法ハ直接的貿易管理デアル。  
為替管理ハステニ買ツタモノノ支拂決済ニ向ス  
ルモノデアツテ、事後ノモノデアル。トコロガ  
前者ハ後者ノ更ニ強化サレタモノデ、輸入物ニ  
ツイテノ直接的ニ規定デアル。之ニヨレバ緊急  
ノ物ノ輸入ハ許可サレルガ、不急不要品ノ輸入  
ハ許サレナイ。之ハ前議會ニオイテモ貿易産業  
措置法トシテ審議サレタガ、委員会制度ニヨル  
手續ノ煩瑣トイフ欠点ガアツタ。

一、全然外國ノ物資ノ供給ヲ仰ガナイト云

アワケニハ行カナイ、災ツテ、輸入品ノ残リト  
イフコトニモ假度ガアル。據ニ現在ニオイテハ  
必要ナモノハ買入レナケレバナラナイ、ソノコニ  
必ス貿易差額ガ出テ来ル。入超ノ場合ニハ、ソ  
ノ差額ノ決済ハ、結局、トコロ金ノ現送ニヨツ  
テ行ハレル。決済ハ借入金ニヨルコトモアルガ、  
ソノ結果ハ好マシクナイ。又、在外資金ニヨル  
コトモアルガ、日本デハ困難デアル。

日本ヨリノ金現送ハ大阪支幣局——神戸——  
サンフランシスコ——ニューヨークノ経路デ  
行ハレル。一回ノ輸送金額ハ大体 1.5—6.00  
万円デ、第10次位マテ行ハレ、第7次位カラ  
其ノ額ハ発表サレナイ。金塊ノ大イサハ2尺四  
方位デアル。輸送費ハ10万円位デ、ソノウチ  
運賃ハ8万円デ、残り2万円ハ保険料、手数料  
等デアル。コノ輸送ハ有利デアルカラ、多クノ  
汽船会社ハ競争シテ、之ヲ引受ケヨウトスル。

現送サレタ金ノ90幾90ガ日本ノクレディ  
ットニテ入り、残りハ輸送費ソノ他トシテ控除  
サレル。金塊ニ対シテハ先ヅ  $\frac{99996}{100,000}$  = 相当  
スル純分ダケノ米貨ガ支拂ハレ、残りノ  $\frac{2}{100,000}$   
ハ純分ガ調ベラレテ後支拂ハレル。金ノオンス